

航空局業務成績評定要領

制定 平成19年3月30日 国空予管第936号 国空建第173号

改正 平成21年3月26日 国空予管第1075号 国空技企第175号

（目的）

第1 この要領は、「航空局工事等監督検査事務処理要領」（昭和55年2月7日付空経第48号）第41条に定める成績評定表の作成（以下「評定」という。）に必要な事項を定め、厳正かつ的確な評価を図り、もって受注者の適正な評価、適正な選定及び指導育成に資することを目的とする。

（評定の対象）

第2 評定の対象は、原則として1件の業務料が100万円を超える次の各号に掲げる業務について行うものとする。

ただし、当該業務を発注した機関（以下「発注機関」という。）の長が必要ないと認めたものについては、評定を省略することができる。

- 一 設計・測量・調査等業務：航空局で発注した業務のうち、次に掲げる業務以外
- 二 建築設計業務：「公共工事建築設計委託業務共通仕様書」（平成15年3月31日付け国空建第223号制定）に定める設計業務

（評定の内容）

第3 評定は、業務成績について行うものとし、業務の実施状況、目的物の品質等の評価する。

（評定者）

第4 第3の評定を行う者（以下「評定者」という。）は、業務の契約についての検査を行う者（以下「検査職員」という。）及び調査を行う者（以下「調査職員」という。）とする。

- 2 前項に掲げる評定者については、別に定めるものとする。

（評定の方法）

第5 評定は、業務毎に独立して行うものとする。

- 2 評定は、次の各号に基づき行うものとする。
 - 一 設計・測量・調査等業務：別添1「設計・測量・調査等業務成績評定

実施要領」によるものとする。

二 建築設計業務：別添２「建築設計業務成績評定実施要領」によるものとする。

３ 評定の結果は、次の各号に掲げる様式及びその他これに類する表（以下「評定表等」という。）に記録するものとする。

一 設計・測量・調査等業務：別記様式第１－１①、②「設計・測量・調査等業務成績評定表」

二 建築設計業務：別記様式１－２「建築設計業務成績評定表」

４ 調査職員が２名以上任命されている場合は、それらの者が協議し評定を行うものとする。

（評定の時期）

第６ 評定の時期は、調査職員においては業務が完了したとき、検査職員においては検査実施時にそれぞれ評定を行うものとする。

（評定表の提出）

第７ 評定者は、評定を行ったときは、遅滞なく、支出負担行為担当官若しくは契約担当官又はこれらの代理官（以下「本官という。」）の契約した業務並びに分任支出負担行為担当官又は分任契約担当官（以下「分任官」という。）の契約した業務については当該業務を担当する発注機関の長に評定表を提出するものとする。

２ 分任官の契約した業務について評定表の提出を受けた発注機関の長は、速やかに航空局長及び地方航空局長に報告するものとする。

（評定の結果の通知）

第８ 発注機関の長は、評定者から評定表等の提出があったときは、遅滞なく、当該業務の受注者に対して、第３の評定の結果を、別紙第１「業務成績評定通知書」により通知するものとする。

（評定の修正）

第９ 発注機関の長は、第８の通知をした後、当該評定を修正する必要があると認められる場合は、評定を修正し、その結果を当該業務の受注者に通知するものとする。

（説明請求等）

第10 第８又は第９による通知を受けた者は、通知を受けた日から起算して１４

日（「休日」を含む。）以内に、書面により、通知を行った発注機関の長に対して評定の内容について説明を求めることができる。

2 発注機関の長は、前項による説明を求められたときは、別紙第2「業務成績評定に係る説明書（回答）」により回答するものとする。

3 発注機関の長は、前項により回答する場合、別添3「航空局成績評定評価委員会規則」に基づき設置される評価委員会に意見を求めることができる。

4 発注機関の長は、説明の申請者に回答を行ったときは、申立者の提出した書面及び回答を行った書面を、閲覧による方法により速やかに公表するものとする。

（再説明請求等）

第11 第10第2項の回答を受けた者は、説明に係る回答を受けた日から起算して14日（「休日」を含む。）以内に、書面により、発注機関の長に対して、再説明を求めることができる。

2 発注機関の長は、前項による再説明を求められたときは、航空局及び地方航空局に設けられた成績評定審査委員会の審議を経て別紙第3「業務成績評定に係る再説明書（回答）」により回答するものとする。

3 発注機関の長は、再説明の申立者に回答を行ったときは、再説明の申立者の提出した書面及び回答を行った書面を速やかに公表するものとする。

附則1

この要領は、平成19年4月1日から適用する。

附則2

この要領は、平成21年4月1日から適用する。

(別添 1)

設計・測量・調査等業務成績評定実施要領

第 1. 本要領にて業務成績の評定の対象とする業務は、「航空局業務成績評定要領」（平成 19 年 3 月 30 日 国空予管第 936 号、国空建第 173 号）第 2 ー に規定された設計・測量・調査等業務とする。

第 2. 総括調査員評定基準

(1) 評定方法

総括調査員は、評定趣旨を十分に理解し尊重した上で、それぞれ総合的に判定を行う。

(2) 評定点範囲

採点表（総括調査員用）の該当評価項目について、それぞれ総合的に判断して評定するものとする。

第 3. 主任調査員及び検査職員評価基準

評定にあたっては、当該業務の履行状況に応じ、各評価項目の評定を行うものとする。（評価項目の追加、削除、もしくは評価比重の変更は行わない）

第 4. 事故等による減点等

(1) 事故等による減点

当該業務遂行中に受注者に起因する事故等が発生し指名停止等の措置を行った場合には、当該業務の総合評定点に対して、別表ー 1 を参考として 1 5 点まで減点することができる。

別表ー 1 受注者に起因する事故等が発生した場合の減点基準

区 分	口頭注意	文書注意	指名停止 1 ヶ月まで	指名停止が 1 ヶ月を超える
考 査 点	ー 3 点	ー 5 点	ー 1 0 点	ー 1 5 点

【適応事例】

- ・入札前に提出した当該業務の技術提案書等が虚偽であった事実が判明した。
- ・発注者の承諾なしに当該業務に関する権利義務、成果物を第三者に譲渡又は承継、公開した。
- ・産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等、関係法令に違反する事実が判明した。
- ・一括再委託、請負を行った。
- ・打ち合わせ協議または検査の実施にあたり、職務の執行を妨げた。
- ・当該業務において過積載等の道路交通法違反により、逮捕または送検等された。
- ・当該業務において安全管理の処分が不適切であったために、死傷者を生じさせた業務関係者事故、または重大な損害を与えた公衆災害を起こした。

(2) 瑕疵修補及び損害賠償による減点

成果品に、受注者の責任に起因する瑕疵が存在し、契約書のかし担保条項等に記された手続きに従い、瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合には、当該業務の総合評定点に対して、別表－２を参考として２０点まで減点することができる。ただし、ここでいう瑕疵修補とは、軽微なミスの修正ではない大幅な修補をいう。また、航空局業務成績評定要領（以下、「評定要領」という。）第８に定める評定の結果の通知後に当該事象が発生した場合は、評定要領第９に定める評定の修正を行うものとする。

別表－２ 瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合の減点基準

区 分	瑕疵修補又は損害賠償の実施	故意又は重大な過失により瑕疵修補又は損害賠償の実施
考 査 点	－１０点	－２０点

(3) 低入札価格調査における虚偽説明等による減点

「建設コンサルタント業務等に係る低入札価格調査の運用について」（平成１９年１０月５日付け国空予管第５６１-５号、国空建第１０２-２号）記５の規定により業務成績評定点を減点する場合は、当該業務の総合評定点に対して、別表－３を参考として１０点まで減点することができる。また、評定要領第８に定め

る評定の結果の通知後に当該事象が発生した場合は、評定要領第 9 に定める評定の修正を行うものとする。

なお、この場合、評定要領別紙第 1 及び別記様式第 1－1 に定める設計・測量・調査等業務成績評定表及び業務成績評定通知書別表においては、「その他（低入札価格調査における虚偽説明等による減点）」として記入するものとする。

別表－3 低入札価格調査における虚偽説明等が明らかとなった場合の減点基準

区 分	調査対象者の故意又は重大な過失による虚偽説明等の場合
考 査 点	－ 1 0 点

(4) 業務コスト調査における虚偽説明等による減点

「業務コスト調査について」（平成 21 年 1 月 19 日付け国空予管第 772 号、国空技企第 123 号）記 5 の規定に基づき業務成績評定点を減点する場合は、当該業務の総合評定点に対して、別表－4 を参考として 1 0 点まで減点することができる。また、この場合評定要領第 9 に定める評定の修正を行うものとする。

なお、この場合、評定要領別紙第 1 及び別記様式第 1－1 に定める設計・測量・調査等業務成績評定表及び業務成績評定通知書別表においては、「その他（業務コスト調査における虚偽説明等による減点）」として記入するものとする。

別表－４ 相当の理由なく期限内に業務コスト調査マニュアルに基づいて作成された調査票等の提出がないとき又は調査票等に虚偽の記入があることが判明した場合の減点基準

区 分	調査票等の一部記入ミス ^(注1) があるとき	調査票等に多数記入ミス ^(注1) があるとき	受注者の故意又は重大な過失による虚偽報告の場合
	調査票等に軽微な不備 ^(注2) があるとき	調査票等の一部不備 ^(注2) があるとき	相当の理由なく期限内に調査票等の提出がないとき
考 査 点	－３点	－５点	－１０点

(注１) 業務コストに影響を与えない軽微なミスは含まない。

(注２) 調査票等の不備とは、提出期限を過ぎても提出すべき調査票等が揃っていない状態をいう。

第５．「単純調査業務」について

「調査業務、計画業務」のうち、高度な技術力をそれほど必要としない単純なデータ処理業務や資料収集・整理業務等について、「単純調査業務」と定義する。なお、「単純調査業務」の対象業務については、以下に示す例を参考とされたい。

・「単純調査業務」の例

共通

単純なデータ収集整理業務
 単純なデータ処理業務
 書類編集的な業務
 文献収集業務
 水理・水文観測業務
 数量の算出
 記録等資料の分類・整理
 図面集、写真集等の作成
 一般的な現地踏査
 一般的な交通量観測業務
 台帳整理等を目的とした資料収集業務
 クラック等変状の計測調査

情報	定期的なデータメンテナンス 資料収集的な業務
環境	単純なデータ作成のみの業務 大気汚染、水質汚濁、騒音、振動等調査・分析方法 が J I S 等で規定されている測定業務

第 6．適用する採点表について

（１）業務種類別の適用採点表

対象業務の内容により、以下の①～⑤より適用する。

- ①「地質調査、単純調査業務、測量業務」採点表
- ②「調査業務、計画業務」採点表
- ③「設計業務」採点表
- ④「工事管理業務等」採点表
 - ・ 工事管理業務
 - ・ 調査計画資料作成業務 等
- ⑤「積算技術業務等」採点表
 - ・ 積算技術業務
 - ・ 技術審査業務 等

なお、評定要領 別紙第 1「業務成績評定通知書」に添付する別表について、①～③に該当する業務にあつては別表①、④・⑤に該当する業務にあつては別表②の項目別評点表を使用するものとする。

（２）対象業務が複数の業務にまたがる場合の取扱い

対象業務が、上記（１）①から⑤のうちの複数の業務にまたがる場合においては、業務の目的、金額を勘案し、原則として主たる業務の採点表を適用する。

ここで、「主たる業務」の取扱いについては、以下を参考とされたい。

- ・ 上記（１）①から⑤の対象部分のどれかが 1 0 0 万円を超えるときに

は、その業務を「主たる業務」とみなすものとする。

- ・ 上記（１）①から⑤の対象部分の複数が１００万円を超えるとき、もしくはどれもが１００万円を超えない場合には、業務の目的、金額を勘案して、「主たる業務」を１つ選定するものとする。

これらの取扱いは、主任調査員及び検査職員で統一するものとする。

（３）採点表の選定について

対象業務が複수에またがる場合の取り扱いや単純調査業務の選定は、主任調査員が決定する。

第7. 総合評定点について

総合評定点を算出する際には、対象業務に応じて評価項目ごとに以下の重み付けを考慮する。

評価項目		地質調査、単純調査等業務、 測量作業				調査業務、計画業務				設計業務			
		業務 評定	技術者評定			業務 評定	技術者評定			業務 評定	技術者評定		
			管理	担当 (注1)	照査		管理	担当 (注1)	照査		管理	担当 (注1)	照査
専門 技術力	提案力、改善力	2	2	2	—	2	2	2	—	2	2	2	—
	業務執行技術力	4	4	4	—	4	4	4	—	4	4	4	—
	施工時への配慮 (注2)	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	—
	コスト把握能力 (注2)	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	—
管 理 技術力	工程管理能力	2	2	—	—	2	2	—	—	2	2	—	—
	品質管理能力	2	2	—	2	2	2	—	2	2	2	—	2
	迅速性、弾力性、 調整能力	1	1	—	—	1	1	—	—	1	1	—	—
コミュニケーション力	説明力、協調性、 プレゼンテーション力	1	1	1	—	1	1	1	—	1	1	1	—
取組姿勢	責任感、積極性、 倫理観	2	2	2	—	2	2	2	—	2	2	2	—
成果品の品質		7	7	4	1	7	7	4	1	8	8	5	1
合 計		21 (100%)	21 (100%)	13 (100%)	3 (100%)	21 (100%)	21 (100%)	13 (100%)	3 (100%)	24 (100%)	24 (100%)	16 (100%)	3 (100%)

評価項目		工事管理業務等			積算技術業務等		
		業務 評定	技術者評定		業務 評定	技術者評定	
			管理	担当		管理	担当
専門 技術力	目的と内容の理解	6	6	6	6	6	6
	的確な履行	36	36	36	24	24	24
	業務目的の達成度	18	18	18	30	30	30
管 理 技術力	業務実施体制 の的確性	14	14	14	14	14	14
	打ち合わせ の理解度	7	7	7	7	7	7
	指揮系統の迅速性、 確実性	14	14	14	14	14	14
取組姿勢	責任感、積極性、 倫理観	5	5	5	5	5	5
合 計		100	100	100	100	100	100

- 注) 1. 担当技術者として評価する場合、「地質調査、単純調査等業務、測量作業」、「調査業務、計画業務」、「設計業務」においては、3名までとする。また、「工事管理業務等」、「積算技術業務等」においては、従事した全ての者とする。
2. 「施工時への配慮」及び「コスト把握能力」は、設計業務のみ評定の対象とする。

参考：採点上の補足

1. 業務執行に係る過失に伴う減点について

採点表の評価細目で「その他」を選択する場合は、その理由を記載する。

以下、例を示す。

（業務実施上の過失の評価例）

- ・ その他（プロポーザル方式又は総合評価落札方式において契約図書に反映された技術提案の実施が不十分であった。）
- ・ その他（総括調査員の再三の指示にもかかわらず、改善されなかった。）

2. 高度な技術レベルが求められる場合等について

採点表の評価細目で、“高度な技術レベル”“難易度の高い業務”の項目があるが、評価対象となった業務の内容により判断するものとする。

(別添 2)

建築設計業務成績評定実施要領

(評定業務)

第1 本要領にて業務成績の評定の対象とする業務は、「航空局業務成績評定要領」(平成19年3月30日 国空予管経第936号、国空建第173号)第2 第二号に規定された建築設計業務とする。

(評定の方法)

第2 評定は、別添の採点表を用いて行うものとし、評価項目、評価の視点及び評価細目の変更、追加、削除並びに配点の変更は行わないものとする。

(調査職員の評点)

第3 調査職員の評点は、次の各号に掲げる手順により作成するものとする。

- 一 総括調査員は、採点表の①総括調査員用を用いて、総括調査員評定点を作成する。
- 二 主任調査員は、採点表の②－1～②－7主任調査員用（各分野）を用いて、主任調査員の各分野評定点を作成する。
- 三 調査員は、採点表の②－1～②－7調査員用（各分野）を用いて、調査員の各分野評定点を作成する。
- 四 各分野評定点の合計は、各分野評定点に各分野比率を乗じて得た点の総計とし、小数第二位を四捨五入する。なお、各分野比率は、表－1を参考として、合計が1.0になるように業務量に応じて比例配分する。

表－1 発注方法による各分野比率例

業務内容		総括 調査員	建築			電気設備		機械設備	
			意匠	構造	積算	電気設備	積算	機械設備	積算
創意工夫の余地の大きい業務（新築）	設計業務（設計・積算込）（全分野）	0.3	0.7						
		—	0.3	0.15	0.1	0.15	0.075	0.15	0.075
	〃 〈構造分野除く〉	0.35	0.65						
		—	0.35	—	0.12	0.175	0.09	0.175	0.09
	〃 〈設備分野除く〉	0.45	0.55						
		—	0.545	0.275	0.18	—	—	—	—
	〃 〈構造・設備分野除く〉	0.55	0.45						
		—	0.75	—	0.25	—	—	—	—
	〃 〈建築分野除く〉	0.35	0.65						
		—	—	—	—	0.335	0.165	0.335	0.165
	設計業務（設計のみ）〈建築・設備分野〉	0.35	0.65						
		—	0.4	0.2	—	0.2	—	0.2	—
	〃 〈構造分野除く〉	0.4	0.6						
		—	0.5	—	—	0.25	—	0.25	—
	〃 〈建築分野のみ〉	0.5	0.5						
		—	0.665	0.335	—	—	—	—	—

創意工夫の余地の小さい業務（新築）	設計業務（設計・積算込）（全分野）	0.25	0.75						
		—	0.3	0.15	0.1	0.15	0.075	0.15	0.075
	〃　　＜構造分野除く＞	0.3	0.7						
		—	0.35	—	0.12	0.175	0.09	0.175	0.09
	〃　　＜設備分野除く＞	0.4	0.6						
		—	0.545	0.275	0.18	—	—	—	—
	〃　　＜構造・設備分野除く＞	0.45	0.55						
		—	0.75	—	0.25	—	—	—	—
	〃　　＜建築分野除く＞	0.3	0.7						
		—	—	—	—	0.335	0.165	0.335	0.165
	設計業務（設計のみ）＜建築・設備分野＞	0.3	0.7						
		—	0.4	0.2	—	0.2	—	0.2	—
	〃　　＜構造分野除く＞	0.35	0.65						
		—	0.5	—	—	0.25	—	0.25	—
	〃　　＜建築分野のみ＞	0.4	0.6						
		—	0.665	0.335	—	—	—	—	—
	積算業務（単独発注）＜建築分野のみ＞	0.55	0.45						
		—	—	—	1.00	—	—	—	—
設備改修工事の設計業務の例 （創意工夫の余地の大きい業務）	0.3	0.7							
	—	0.30	—	0.10	0.20	0.10	0.20	0.100	

（検査職員の評点）

第4 検査職員の評点は、次の各号に掲げる手順により作成するものとする。

- 一 検査職員は、採点表の③－1～③－7 検査職員（各分野）を用いて、検査職員の各分野評定点を作成する。
- 二 検査職員の評定点は、各分野評定点到各分野比率を乗じて得た点の総計とし、小数第一位を四捨五入して整数にする。なお、各分野比率は、表－1 を参考として、合計が1.0 になるように業務量に応じて比例配分する。

（総合評定点）

第5 総合評定点は、次の各号に掲げる手順により作成するものとする。

- 一 総合評定点は、調査職員の評定点到検査職員の評定点を加えて得た点の総計とし、小数第一位を四捨五入して整数にする。
- 二 当該業務遂行中に受注者に起因する事故等が発生し、当該業務に関し指名停止等の措置を行った場合には、当該業務の総合評定点对して、表－2 を参考として－15 点まで減点することができる。

表－2 受注者に起因する事故等が発生した場合の減点基準

区 分	文書注意	指名停止 1 ヶ月まで	指名停止が 1 ヶ月を超える
減 点	－5 点	－10 点	－15 点

- 三 成果品に、受注者の責任に起因する瑕疵が存在し、契約書のかし担保条

項等に記された手続きに従い、瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合には、当該業務の総合評定点に対して、表－３を参考として－２０点まで減点することができる。ただし、ここでいう瑕疵修補とは、軽微なミスの修正ではない大幅な修補をいう。また、総合評点が採点された後に当該事象が発生した場合は、遡って減点を実施するものとする。

表－３ 瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合の減点基準

区 分	瑕疵修補又は損害賠償の実施	故意又は重大な過失により 瑕疵修補又は損害賠償の実施
減 点	－１０点	－２０点

設計・測量・調査等業務成績評定表

(「工事管理業務等」、「積算技術業務等」以外)

平成 年 月 日

(発注機関名):

業務名									
契約金額	当初:				最終:				
履行期間	当初:	～			最終:	～			
完了 年 月 日	平成 年 月 日								
完了 検査 年 月 日	平成 年 月 日								
契約相手方住所氏名									
管理技術者氏名									
照査技術者氏名									
担当技術者氏名 ①									
担当技術者氏名 ②									
担当技術者氏名 ③									
調査職員：所属・氏名									
検査職員：所属・氏名									
評価項目		主任 調査員 評定点	総括 調査員 評定点	検査 職員 評定点	業務評定 (注1)	技術者評定			
						管理技術者 主任技術者	担当技術者	照査技術者	
専門技術力	提案力、改善力		—	—				—	
	業務執行技術力							—	
	施工時 への 配慮 (注2)	概略設計 予備設計		—	—				—
		詳細設計		—	—				—
	コスト把握能力(注2)			—	—			—	—
管理技術力	工程管理能力			—	—			—	—
	品質管理能力			—	—			—	
	迅速性、弾力性、調整能力			—	—			—	—
コミュニケーション力	説明力、協調性、 プレゼンテーション力			—				—	
取組姿勢	責任感、積極性、倫理観				—			—	
成果品の品質			—						
①小計(注3)									
②業務執行上に係る過失に伴う減点		—		—					
③事故等による減点		—	—	—					
④瑕疵修補又は損害賠償による減点		—	—	—					
⑤その他()		—	—	—					
総合評定点=①+②+③+④+⑤		—	—	—					

注) 1. 各評価項目の評定点は、小数第二位を四捨五入して表示している。

2. 「施工時への配慮」及び「コスト把握能力」は、設計業務のみ評定の対象とする。

3. ①小計は、小数第一位を四捨五入し整数とする。

設計・測量・調査等業務成績評定表

（「工事管理業務等」、「積算技術業務等」用）

平成 年 月 日
（発注機関名）：

業務名					
契約金額	当初：		最終：		
履行期間	当初：	～	最終：	～	
完了年 月 日	平成 年 月 日				
完了検査年 月 日	平成 年 月 日				
契約相手方 住 所 氏 名					
管 理 技 術 者 氏 名	（注1）				
担 当 技 術 者 氏 名	（注1）				
調 査 職 員 ： 所 属 ・ 氏 名					
検 査 職 員 ： 所 属 ・ 氏 名					
評価項目		主任 調査員 評定点	総括 調査員 評定点	検査 職員 評定点	業務評定 管理技術者評定・担当技術者評定 （注2）
専門技術力	目的と内容の理解		—	—	／
	的確な履行		—	—	／
	業務目的の達成度		—		／
管理技術力	業務実施体制の的確性		—		／
	打ち合わせの理解度		—	—	／
	指揮系統の迅速性、確実性		—	—	／
取組姿勢	責任感・積極性		—	—	／
①小計（注3）			—		／
②業務執行上に係る過失に伴う減点		—		—	
③事故等による減点		—	—	—	
④瑕疵修補又は損害賠償による減点		—	—	—	
⑤その他（ ）		—	—	—	
総合評定点=①+②+③+④+⑤		—	—	—	

注）1. 管理技術者及び担当技術者が複数名配置されている場合は、全て記載する。

2. 各評価項目の「業務評定」「管理技術者評定」は、小数第二位を四捨五入して表示している。

3. ①小計は、小数第一位を四捨五入し整数とする。

建築設計業務成績評定表

平成 年 月 日
(発注機関名):

業 務 名		
契 約 金 額	当初:	最終:
履 行 期 間	当初: ~	最終: ~
完 了 年 月 日	平成 年 月 日	
完 了 検 査 年 月 日	平成 年 月 日	
契 約 相 手 方 住 所 氏 名		
管 理 技 術 者 氏 名		
担 当 主 任 技 術 者 氏 名	意匠: 構造: 積算:	
	電気設備: 機械設備:	
調 査 職 員 : 所 属 ・ 氏 名	印	
検 査 職 員 : 所 属 ・ 氏 名	印	
①	調査職員の評定点	点
②	検査職員の評定点	点
③	調査職員と検査職員との総計 $③ = ① \times \alpha + ② \times \beta$	点
④	事故等による減点	点
⑤	瑕疵修補又は損害賠償による減点	点
⑥	総合評価点 $⑥ = ③ - ④ - ⑤$	点
(注) $\alpha = 0.6$ $\beta = 0.4$		

※ 2人以上の検査職員により検査を行う場合の検査職員所属・氏名欄には、総括検査職員(検査の結果を総括する職員をいう。以下同じ。)が定められたときは、総括検査職員及びそれ以外の検査職員の別を明示して記入押印すること。

※ 調査・検査の対象を設計業務等の分野等により分割して調査・検査を行ったときは、それぞれの調査職員・検査職員が担当した分野等名を記載した内訳書を添付すること。

別表①
項目別評価点

評価項目	評価の視点		業務評定 (評定点/満点)	技術者評定		
				管理技術者 (評定点/満点) (注1)	担当技術者 (評定点/満点) (注1)	照査技術者 (評定点/満点) (注1)
専門技術力	提案力 改善力		点/ 点	点/ 点	点/ 点	点/ 点
	業務執行技術力		点/ 点	点/ 点	点/ 点	点/ 点
	施工時 への 配慮 (注2)	概略設計 予備設計	点/ 点	点/ 点	点/ 点	点/ 点
		詳細設計	点/ 点	点/ 点	点/ 点	点/ 点
	コスト把握能力 (注2)		点/ 点	点/ 点	点/ 点	点/ 点
管理技術力	工程管理能力		点/ 点	点/ 点	点/ 点	点/ 点
	品質管理能力		点/ 点	点/ 点	点/ 点	点/ 点
	迅速性 弾力性 調整能力		点/ 点	点/ 点	点/ 点	点/ 点
コミュニケーション力	説明力 協調性 プレゼンテーション		点/ 点	点/ 点	点/ 点	点/ 点
取組姿勢	責任感 積極性 倫理観		点/ 点	点/ 点	点/ 点	点/ 点
成果品の品質			点/ 点	点/ 点	点/ 点	点/ 点
評定点の小計(注3)			点/ 点	点/ 点	点/ 点	点/ 点
業務執行に係る過失に伴う減点			点/ 点	点/ 点	点/ 点	点/ 点
事故等による減点			点/ 点	点/ 点	点/ 点	点/ 点
瑕疵修補又は損害賠償による減点			点/ 点	点/ 点	点/ 点	点/ 点
その他()			点/ 点	点/ 点	点/ 点	点/ 点
総合評定点(注3)			点/ 100 点	点/ 100 点	点/ 100 点	点/ 100 点

※「地質調査、単純調査、測量業務」「調査業務、計画業務」、「設計業務」用

注) 1. 各項目の評定点及び満点は小数第二位を四捨五入して表示している。

2. 「施工時への配慮」及び「コスト把握能力」は、設計業務のみ評定の対象とする。

3. 評定点の小計は小数第一位を四捨五入し、整数としている。

別表②
項目別評価点

評価項目	評価の視点	業務評定・技術者評定	
		業務評定・管理技術者・担当技術者	
専門技術力	目的と内容の理解	点/	点
	的確な履行	点/	点
	業務目的の達成度	点/	点
管理技術力	業務実施体制の的確性	点/	点
	打ち合わせの理解度	点/	点
	指揮系統の迅速性・確実性	点/	点
取組姿勢	責任感、積極性	点/	点
評定点の小計(注)		点/	100 点
業務執行に係る過失に伴う減点			点
事故等による減点			点
瑕疵修補又は損害賠償による減点			点
その他()			点
総合評定点			点/ 100 点

※「工事管理業務等」、「積算技術業務等」用
注) 評定点の小計は小数第一位を四捨五入し整数とする。

評価項目			評 価 の 視 点	(4) 工事管理業務等				(5) 積算技術業務等			
				主任調査員	総括調査員	検査職員	評定点	主任調査員	総括調査員	検査職員	評定点
プロセス評価	専門技術力	目的と内容の理解	業務主旨の理解	①			⑬=Σ ① +②× (3/6) +③× (3/50)	①			⑬=Σ ① +②× (9/18) +③× (9/50)
		的確な履行	法令・技術基準の知識	①				①			
			業務内容についての判断	①				①			
			関係者とのコミュニケーション	①							
		業務目的の達成度	必要事項の記載	①				①			
			的確な取りまとめ	②		○		②		○	
		小 計			④		③	⑬	④		③
	管理技術力	業務実施体制の的確性	業務実施体制の的確性	⑤		○	⑭=⑤× (7/14)+⑥× (7/50)+Σ ⑦				⑭=⑤× (7/14)+⑥× (7/50)+Σ ⑦
								⑤		○	
		打ち合わせの理解度	打ち合わせの理解度	⑦				⑦			
		指揮系統の迅速性、確実性	指揮系統の迅速性、確実性	⑦				⑦			
		小 計			⑧		⑥	⑭	⑧		⑥
	取組姿勢	責任感、積極性	責任感、積極性	⑨				○			
		小 計		⑨			⑨	⑨			⑨
		計			⑩		⑪	⑮=⑬+⑭+⑨	⑩		⑪
	過業務に執行に伴う減点	業務執行上の過失			○				○		
中立性、公平性に係る過失			○			○					
守秘性に係る過失			○			○					
小 計			⑫		⑫		⑫		⑫		
合計						⑮=⑬+⑫				⑮=⑬+⑫	
総合評定点の算定			事故等による減点			⑰	事故等による減点			⑰	
			瑕疵修補又は損害賠償による減点			⑱	瑕疵修補又は損害賠償による減点			⑱	
			その他 ()			⑲	その他 ()			⑲	
			総合評定点 (⑮+⑰+⑱+⑲)			⑳	総合評定点 (⑮+⑰+⑱+⑲)			㉑	

$$\textcircled{10} = \textcircled{4} + \textcircled{8} + \textcircled{9} \quad \textcircled{11} = \textcircled{3} + \textcircled{6}$$

第9. 採点表

(1) 地質調査、単純調査等業務、測量作業 ①〔主任調査員用〕

(1/4)

評価項目			評価の視点	配点	得 点 率					得点	評 価 細 目
					優 標準 劣						
					1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	専門技術力	提案力 改善力	業務着手段階における業務特性等の考慮	20	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」					20	■ ・当該作業（業務）の仕様や発注者からの指示等を満たす提案がなされた。 ■ ・当該作業（業務）の特性を考慮しつつ、新たな、あるいは高度な調査・解析の手法・技術に関する提案がなされた。注)
			業務遂行段階における提案	40	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」					40	■ ・作業（業務）遂行段階で新たな視点からの提案がなされた。 ■ ・関連する多面的な視点から検討された、あるいは高度な技術レベルに基づく提案がなされた。注)
			業務遂行上必要となる課題の提案	20	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」					20	■ ・当該作業（業務）で不足する課題が抽出された。 ■ ・検討課題と共に今後実施すべき検討事項・方針等が提案された。
			業務内容等改善の提案	20	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」					20	■ ・作業（業務）の作業効率を向上させる提案が、自主的になされた。 ■ ・作業（業務）の内容・精度を向上させる提案が、自主的になされた。
		小 計	100	①					100		
	業務執行技術力	目的と内容の理解	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					20	■ ・業務計画書に必要事項が記載されていた。 ■ ・当該作業（業務）の目的、内容が理解されていた。 ■ ・業務計画書の実施方法等に、業務内容を具体化する記述があった。 ■ ・特記仕様書等に示された当該作業（業務）と関連する他の作業（業務）、事業が理解されていた。	
		必要情報の把握	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					20	■ ・作業（業務）着手時点において、適切に資料等が整備された。 ■ ・作業（業務）実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。 ■ ・作業（業務）遂行段階で、新たに必要とされた情報収集の努力がなされていた。 ■ ・作業（業務）遂行段階で、当該作業（業務）に有意な情報が自主的に提供された。	
		作業（業務）項目	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					20	■ ・作業（業務）項目は、特記仕様書等の設計図書の項目を満足していた。 ■ ・採用された作業（業務）手法の技術的内容は、作業（業務）の目的に適合していた。 ■ ・作業（業務）目的に照らし必要な作業（業務）項目が不足無く設定され、作業（業務）項目間の整合も図られていた。 ■ ・提案された作業（業務）手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。注)	
		打ち合わせ資料の内容	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					20	■ ・打ち合わせ資料に大きなミスがなかった。 ■ ・打ち合わせ資料に、作業（業務）を進めるにあたっての課題等が適切に盛り込まれていた。 ■ ・打ち合わせ資料に、作業（業務）を進めるにあたっての課題解決策や提案等が適切に盛り込まれていた。 ■ ・適用する諸基準類のない作業（業務）、若しくは難易度の高い作業（業務）等を進めるにあたり、的確な理論展開による説明が盛り込まれていた。	
		十分な技術力	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					20	■ ・作業（業務）に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 ■ ・特記仕様書等に示された当該作業（業務）固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。（測量においては、作業に応じた機器等が配置されていたことも併せて評価する） ■ ・作業（業務）遂行段階において、発生した課題や発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 ■ ・新たな、あるいは高度な調査・解析の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。注)	
		小 計	100	①					100		

注) 考查基準の巻末「参考：採点上の補足」を参照のこと。

評価項目			評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
					標準						
					優	標準	劣				
				1.0	0.8	0.6	0.4	0.2			
プロセス評価	管理技術力	工程管理能力	実施手順 工程計画	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					30	■ ・契約書等に記載された期限以内（ex. 契約締結後14日以内）に業務工程表が提出され、速やかに作業（業務）の着手がなされた。 ■ ・業務実施方針及び工程表には、設計図書に示された事項が適切に反映されていた。 ■ ・業務実施方針又は詳細な工程表には、作業（業務）実施上のポイントとなる工程目標等が具体的に示されていた。 ■ ・作業（調査）項目間の実施手順等が適切に計画されていた。
			実施体制	10	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					10	■ ・契約図書に基づき、管理技術者届け及び業務計画書が提出された。 ■ ・業務計画書に示された業務組織計画に基づく実施体制により、作業（業務）が履行された。 ■ ・配置された担当技術者若しくは照査技術者は、作業（業務）内容に応じた技術者が配置され、適正に履行された。 ■ ・業務計画書（業務組織計画）に示された実施体制は、本作業（業務）の履行に対して十分な体制であった。
			打合せ内容の 理解、記録	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					20	■ ・打合せ記録簿が、打合せ後速やかに提出された。 ■ ・打合せ記録簿の記載内容が打ち合わせ結果を適切に反映し、打合せ後の進め方や懸案事項等が的確に整理されていた。 ■ ・受注者内（再委託先等を含む）で意志疎通がなされ、指示や打ち合わせ事項が、その後の資料等に適切に反映されていた。 ■ ・打合せ時に生じた不明点等の協議・確認が適切になされ、打合せ内容が理解された（打合せ後に不明点等に対する問い合わせ等を発注者に行うことはなかった）。
			工程管理	40	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					40	■ ・指示や注意を行う必要のあるような工程の遅れや、履行期限内に納品されない等はなかった。 ■ ・設計図書に基づく作業状況の報告、履行報告等を適切な時期に提出していた。 ■ ・関連する他の業務や工事等に影響を及ぼすことなく完了できた。 ■ ・履行中のポイントとなる工程目標等も含め、全体を通して工程計画どおり完了できた。
		小 計	100	①					100		
	品質管理能力	ミス防止の 実施	100	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」					100	■ ・チェックリスト等の品質管理の記録により、品質の管理がされたことを確認できた。 ■ ・品質管理のためのシステムが構築されている部署で作業（業務）が行われ、かつ、それらの成果への反映について確認できた。（ex. ISO9001等の認証取得状況と成果への反映の確認）	
		小 計	100	①					100		

評価項目			評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
					標準						
					1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	管理技術力	迅速性 弾力性 調整能力	当初計画の変更	40	評価細目チェック数⇒「0.6」 〃1⇒「0.8」、〃2⇒「1.0」					40	■ 作業（業務）遂行中に生じた、当初工程計画や作業（業務）内容の変更要請、あるいは調査職員の指示等に迅速に対応した。 ■ その結果生じた検討（作業）内容が特に優れていた。
			関連事業者間の調整	30	評価細目チェック数⇒「0.6」 〃1⇒「0.8」、〃2⇒「1.0」					30	■ 発注者からの指示、あるいは発注者との協議結果に基づき、関連事業者間の調整に係わる提案資料が作成された。 ■ 作成された資料の内容が特に良くとりまとめられていた。
			地元住民との合意形成	30	評価細目チェック数⇒「0.6」 〃1⇒「0.8」、〃2⇒「1.0」					30	■ 発注者からの指示、あるいは発注者との協議結果に基づき、地元住民等との合意形成（円滑な業務履行の確保に資する地元等への配慮等を含む）に係わる提案資料が作成された。 ■ 作成された資料の内容が特に良くとりまとめられていた。
		小 計	100	①					100		
	コミュニケーション力	説明力 協調性 プレゼンテーション力	理解しやすい説明 プレゼンテーション（資料）	30	評価細目チェック数⇒「0.2」 〃1⇒「0.4」、〃2⇒「0.6」 〃3⇒「0.8」、〃4⇒「1.0」					30	■ ・日時・場所・参加者・目次・頁等が明記された資料となっていた。 ■ ・図表等を用いることにより、理解しやすい資料となっていた。 ■ ・資料の内容が簡潔明瞭であり、理解しやすい資料となっていた。 ■ ・資料の要約が作成されており、容易に内容を捉えることができた。
			理解しやすい説明 プレゼンテーション（対応）	30	評価細目チェック数⇒「0.2」 〃1⇒「0.4」、〃2⇒「0.6」 〃3⇒「0.8」、〃4⇒「1.0」					30	■ ・打合せ開始時に、打合せの趣旨・目的が説明された。 ■ ・質問に対する確な回答がなされた、又は即答できない場合には回答期限が提示された。 ■ ・一般論と当該作業（業務）固有の議論が明確に区別されていた。 ■ ・曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。
			説明を補う努力	20	評価細目チェック数⇒「0.2」 〃1⇒「0.4」、〃2⇒「0.6」 〃3⇒「0.8」、〃4⇒「1.0」					20	■ ・説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力されていた。 ■ ・説明が不十分の場合、他のメンバーにより補足説明がなされた。 ■ ・相手の理解度に応じ、説明のポイント・速さ等が工夫されていた。 ■ ・説明を補足するための的確な資料が、周到に用意されていた。
			円滑な業務遂行への努力	20	評価細目チェック数⇒「0.6」 〃1⇒「0.8」、〃2⇒「1.0」					20	■ ・密に作業（業務）の進捗状況等が発注者に報告されていた。 ■ ・作業（業務）遂行上、課題や問題点が発生した場合に迅速に報告がなされた。
			小 計	100	①					100	

評価項目			評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
					優	標準		劣			
					1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	取組姿勢	責任感 積極性 倫理観	責任感	100	評価細目チェック数⇒「0.2」 〃1⇒「0.4」、〃2⇒「0.6」 〃3⇒「0.8」、〃4⇒「1.0」					100	■ ・管理技術者、照査技術者、担当技術者として、責任逃れの言動は無かった。 ■ ・打合せにおいて確認・解決すべき事項について見逃しがなかった。 ■ ・作業（業務）遂行に誤りが無いよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 ■ ・作業（業務）遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。
			積極性								
		倫理観	小 計	100	①					100	
結果評価	成果品の品質	目的の達成度	40	評価細目チェック数⇒「0.2」 〃1⇒「0.4」、〃2⇒「0.6」 〃3⇒「0.8」、〃4⇒「1.0」					40	■ ・設計図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ■ ・作業（業務）遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ■ ・作業（業務）成果は、作業（業務）目的に照らし満足できる内容のものであった。 ■ ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い作業（業務）に対し必要な作業（業務）成果が得られた。注1）	
		的確なとりまとめ	30	評価細目チェック数⇒「0.2」 〃1⇒「0.4」、〃2⇒「0.6」 〃3⇒「0.8」、〃4⇒「1.0」					30	■ ・設計図書にある検討項目、作業（業務）遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 ■ ・理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 ■ ・簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。 ■ ・設計図書にある事項、作業（業務）遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。	
		ミスの有無	30	評価細目チェック数⇒「0.2」 〃1⇒「0.4」、〃2⇒「0.6」 〃3⇒「0.8」、〃4⇒「1.0」					30	■ ・チェック方法に努力と工夫が見られた成果品であった。 ■ ・成果品の品質に大きく影響しない（簡易に修正できる）表記・計算等のミスも認められなかった。 ■ ・誤字・脱字、表記等、軽微なミスも認められなかった。 ■ ・必要書類も整備されていた。	
		小 計	100	①					100		

注) 考查基準の巻末「参考：採点上の補足」を参照のこと。

評価項目			評価の視点	配点	得 点 率					得点	評 価 細 目
					優 標準 劣						
					1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	業務執行技術力	100	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して「0.2」「0.4」、「0.6」（基準点）「0.8」、「1.0」を付与する。					100	☐ ・当該作業（業務）の目的と内容の理解について、特に評価できるものであった。 ☐ ・当該作業（業務）に必要な情報の把握について、特に評価できるものであった。 ☐ ・当該作業（業務）に対する検討項目及び検討手法について、特に評価できるものであった。 ☐ ・当該作業（業務）の打合せ資料の内容について、特に評価できるものであった。 ☐ ・当該作業（業務）に必要とされる技術力を十分に発揮し、特に評価できるものであった。 ☐ ・その他（理由： ）
			1.0					100			
		小 計	100	②					100		
	取組姿勢	責任感 積極性 倫理観	責任感 積極性 倫理観	100	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して「0.2」「0.4」、「0.6」（基準点）「0.8」、「1.0」を付与する。					100	☐ ・企業として積極的に技術の研鑽に取り組んでいる。 ☐ ・当該作業（業務）遂行にあたって、取り組みへの積極性・責任感に対して評価できるものであった。 ☐ ・地域への貢献等に関して、特に評価できるものであった。 ☐ ・作業（業務）遂行中、新たに発生した課題等に対して、社内全体として体制の拡充を図る等により、作業（業務）を完成させた。 ☐ ・その他（理由： ）
			1.0					100			
		小 計	100	②					100		
業務執行に係る過失に伴う減点	業務執行上の過失			評価細目チェック数1つ毎に3点減点					0	☐ ・業務執行上、指摘又は指導等を行ったが、改善されなかった。 ☐ ・関係者から苦情が寄せられる等、問題が認められた。又は、問題発生時の情報連絡等、対応が適切に行われなかった。 ☐ ・業務処理のミスにより大きな手戻りが生じた。 ☐ ・業務実施体制に問題があった。 ☐ ・その他（理由： ）	
	守秘性に係る過失			評価細目チェック数1つ毎に3点減点（チェックは1つまで）					0	☐ ・業務に関する情報漏洩があり、受注者の責任によるものと発注者が判断した。 ☐ ・その他（理由： ）	
				⑦							

評価項目			評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
					標準						
					1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	作業（業務）項目 作業（業務）手法	50	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					50	・作業（業務）項目は、特記仕様書等の設計図書の項目を満足していた。 ・採用された作業（業務）手法の技術的内容は、作業（業務）の目的に適合していた。 ・作業（業務）目的に照らし必要な作業（業務）項目が不足無く設定され、作業（項目）項目間の整合も図られていた。 ・提案された作業（業務）手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。注)
			十分な技術力	50	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					50	・作業（業務）に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 ・特記仕様書等に示された当該作業（業務）固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。（測量においては、作業に応じた機器等が配置されていたことも併せて評価する） ・作業（業務）遂行段階において、発生した課題や発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 ・新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。注)
		小 計	100	③					100		
	コミュニケーション力	説明力 協調性 プレゼンテーション力	説明力 協調性 プレゼンテーション力	100	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					100	・質問に対する確かな回答がなされ、一般論と当該作業（業務）固有の議論が明確に区別されていた。 ・曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。 ・説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力され、相手の理解度に応じ、説明のポイント・速さ等が工夫されていた。 ・説明当事者の説明が十分なされた。説明が不十分な場合、他のメンバーにより補足説明がなされた。
			小 計	100	③					100	
	結果評価	成果品の品質	目的の達成度	40	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					40	・設計図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ・作業（業務）遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ・作業（業務）成果は、作業（業務）目的に照らし満足できる内容のものであった。 ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い作業（業務）に対し必要な作業（業務）成果が得られた。注)
的確なとりまとめ			30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					30	・設計図書にある検討項目、作業（業務）遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 ・理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 ・簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。 ・設計図書にある事項、作業（業務）遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。	
ミスの有無			30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					30	・チェック方法に努力と工夫が見られた成果品であった。 ・成果品の品質に大きく影響しない（簡易に修正できる）表記・計算等のミスも認められなかった。 ・誤字・脱字、表記等、軽微なミスも認められなかった。 ・必要書類等も整備されていた。	
小 計			100	③					100		

注) 考查基準の巻末「参考：採点上の補足」を参照のこと。

評価項目			評価の視点	配点	得 点 率					得点	評 価 細 目
					優 標準 劣						
					1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	専門技術力	提案力 改善力	業務着手段階における業務特性等の考慮	20	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」					20	■ ・当該業務の仕様や発注者からの指示等を満たす提案がなされた。 ■ ・当該作業（業務）の特性を考慮しつつ、新たな、あるいは高度な調査・解析の手法・技術に関する提案がなされた。注)
			業務遂行段階における提案	40	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」					40	■ ・業務遂行段階で新たな視点からの提案がなされた。 ■ ・関連する多面的な視点から検討された、あるいは高度な技術レベルに基づく提案がなされた。注)
			業務遂行上必要となる課題の提案	20	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」					20	■ ・当該業務で不足する課題が抽出された。 ■ ・検討課題と共に今後実施すべき検討事項・方針等が提案された。
			業務内容等改善の提案	20	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」					20	■ ・業務の作業効率を向上させる提案が、自主的になされた。 ■ ・業務の内容・精度を向上させる提案が、自主的になされた。
		小 計	100	①					100		
	業務執行技術力	目的と内容の理解	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					20	■ ・業務（調査）計画書に必要事項が記載されていた。 ■ ・当該業務の目的、内容が理解されていた。 ■ ・業務（調査）計画書の実施方法等に、業務内容を具体化する記述があった。 ■ ・特記仕様書等に示された当該業務と関連する他の業務、事業が理解されていた。	
		必要情報の把握	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					20	■ ・業務着手時点において、適切に資料等が整備された。 ■ ・業務実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。 ■ ・業務遂行段階で、新たに必要とされた情報収集の努力がなされていた。 ■ ・業務遂行段階で、当該業務に有意な情報が自主的に提供された。	
		検討項目 検討手法	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					20	■ ・検討項目は、特記仕様書等の設計図書の項目を満足していた。 ■ ・採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 ■ ・業務目的に照らし必要な検討項目が不足無く設定され、検討項目間の整合も図られていた。 ■ ・提案された業務手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。注)	
		打ち合わせ資料の内容	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					20	■ ・打ち合わせ資料に大きなミスがなかった。 ■ ・打ち合わせ資料に、業務を進めるにあたっての課題等が適切に盛り込まれていた。 ■ ・打ち合わせ資料に、業務を進めるにあたっての課題解決策や提案等が適切に盛り込まれていた。 ■ ・適用する諸基準類のない業務、若しくは難易度の高い業務等を進めるにあたり、的確な理論展開による説明が盛り込まれていた。	
		十分な技術力	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					20	■ ・業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 ■ ・特記仕様書等に示された当該業務固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。 ■ ・業務遂行段階において、発生した課題や発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 ■ ・新たな、あるいは高度な調査・解析等の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。注)	
		小 計	100	①					100		

注) 考查基準の巻末「参考：採点上の補足」を参照のこと。

評価項目			評価の視点	配点	得 点 率					得点	評 価 細 目
					標準						
					1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	管理技術力	工程管理能力	実施手順 工程計画	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					30	■ 契約書等に記載された期限以内（ex. 契約締結後14日以内）に業務工程表が提出され、速やかに業務の着手がなされた。 ■ 業務実施方針及び工程表には、設計図書に示された事項が適切に反映されていた。 ■ 業務実施方針又は詳細な工程表には、業務実施上のポイントとなる工程目標等が具体的に示されていた。 ■ 作業（調査、検討）項目間の実施手順等が適切に計画されていた。
			実施体制	10	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					10	■ 契約図書に基づき、管理技術者届け及び業務計画書が提出された。 ■ 業務計画書に示された業務組織計画に基づく実施体制により、業務が履行された。 ■ 配置された担当技術者若しくは照査技術者は、業務内容に応じた技術者が配置され、適正に履行された。 ■ 業務計画書（業務組織計画）に示された実施体制は、本業務の履行に対して十分な体制であった。
			打合せ内容の 理解、記録	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					20	■ 打合せ記録簿が、打合せ後速やかに提出された。 ■ 打合せ記録簿の記載内容が打ち合わせ結果を適切に反映し、打合せ後の進め方や懸案事項等が的確に整理されていた。 ■ 受注者内（再委託先等を含む）で意志疎通がなされ、指示や打ち合わせ事項が、その後の資料等に適切に反映されていた。 ■ 打合せ時に生じた不明点等の協議・確認が適切になされ、打合せ内容が理解された（打合せ後に不明点等に対する問い合わせ等を発注者に行うことはなかった）。
			工程管理	40	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					40	■ 指示や注意を行う必要のあるような工程の遅れや、履行期限内に納品されない等はなかった。 ■ 設計図書に基づく作業状況の報告、履行報告等を適切な時期に提出していた。 ■ 関連する他の業務や工事等に影響を及ぼすことなく完了できた。 ■ 履行中のポイントとなる工程目標等も含め、全体を通して工程計画どおり完了できた。
		小 計	100	①					100		
		品質管理能力	ミス防止の 実施	100	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」					100	■ 「業務計画書」における「成果品の品質を確保するための計画」に記述された内容とその活動を適切に実施した等、品質の管理がされたことを確認できた。 ■ 品質管理のためのシステムが構築されている部署で業務が行われ、かつ、それらの成果への反映について確認できた。 (ex. ISO9001等の認証取得状況と成果への反映の確認)
			小 計	100	①					100	

評価項目			評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
					標準						
					1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	管理技術力	迅速性 弾力性 調整能力	当初計画の変更	40	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」					40	■ 業務遂行中に生じた、当初工程計画や業務内容の変更要請、あるいは調査職員の指示等に迅速に対応した。 ■ その結果生じた検討内容が特に優れていた。
			関連事業者間の調整	30	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」					30	■ 発注者からの指示、あるいは発注者との協議結果に基づき、関連事業者間の調整に係わる提案資料が作成された。 ■ 作成された資料の内容が特に良くとりまとめられていた。
			地元住民との合意形成	30	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」					30	■ 発注者からの指示、あるいは発注者との協議結果に基づき、地元住民等との合意形成（円滑な業務履行の確保に資する地元等への配慮等を含む）に係わる提案資料が作成された。 ■ 作成された資料の内容が特に良くとりまとめられていた。
			小 計	100	①					100	
	コミュニケーション力	説明力 協調性 プレゼンテーション力	理解しやすい説明 プレゼンテーション（資料）	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					30	■ 日時・場所・参加者・目次・頁等が明記された資料となっていた。 ■ 図表等を用いることにより、理解しやすい資料となっていた。 ■ 資料の内容が簡潔明瞭であり、理解しやすい資料となっていた。 ■ 資料の要約が作成されており、容易に内容を捉えることができた。
			理解しやすい説明 プレゼンテーション（対応）	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					30	■ 打合せ開始時に、打合せの趣旨・目的が説明された。 ■ 質問に対する確な回答がなされた、又は即答できない場合には回答期限が提示された。 ■ 一般論と当該業務固有の議論が明確に区別されていた。 ■ 曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。
			説明を補う努力	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					20	■ 説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力されていた。 ■ 説明が不十分の場合、他のメンバーにより補足説明がなされた。 ■ 相手の理解度に応じ、説明のポイント・速さ等が工夫されていた。 ■ 説明を補足するための的確な資料が、周到に用意されていた。
			円滑な業務遂行への努力	20	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」					20	■ 密に業務の進捗状況等が発注者に報告されていた。 ■ 業務遂行上、課題や問題点が発生した場合に迅速に報告がなされた。
			小 計	100	①					100	

評価項目			評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
					標準						
					優	標準	劣				
1.0	0.8	0.6	0.4	0.2							
プロセス評価	取組姿勢	責任感 積極性 倫理観	責任感 積極性	100	評価細目チェック数⇒「0.2」 〃1⇒「0.4」、〃2⇒「0.6」 〃3⇒「0.8」、〃4⇒「1.0」					100	■ ・管理技術者、照査技術者、担当技術者として、責任逃れの言動は無かった。 ■ ・打合せにおいて確認・解決すべき事項について見逃しが無かった。 ■ ・業務遂行に誤りが無いよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 ■ ・業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。
			小 計		100	①			100		
			結果評価	成果品の品質	目的の達成度	40	評価細目チェック数⇒「0.2」 〃1⇒「0.4」、〃2⇒「0.6」 〃3⇒「0.8」、〃4⇒「1.0」				
的確な とりまとめ	30	評価細目チェック数⇒「0.2」 〃1⇒「0.4」、〃2⇒「0.6」 〃3⇒「0.8」、〃4⇒「1.0」					30	■ ・設計図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 ■ ・理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 ■ ・簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。 ■ ・設計図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。			
ミスの有無		30			評価細目チェック数⇒「0.2」 〃1⇒「0.4」、〃2⇒「0.6」 〃3⇒「0.8」、〃4⇒「1.0」					30	■ ・チェック方法に努力と工夫が見られた成果品であった。 ■ ・成果品の品質に大きく影響しない（簡易に修正できる）表記・計算等のミスも認められなかった。 ■ ・誤字・脱字、表記等、軽微なミスも認められなかった。 ■ ・必要書類も整備されていた。
小 計	100				①			100			

注) 考査基準の巻末「参考：採点上の補足」を参照のこと。

評価項目			評価の視点	配点	得 点 率					得点	評 価 細 目
					標準				劣		
					1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	業務執行技術力	100	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して「0.2」「0.4」、「0.6」（基準点）「0.8」、「1.0」を付与する。					100	■ ・当該業務の目的と内容の理解について、特に評価できるものであった。 ■ ・当該業務に必要な情報の把握について、特に評価できるものであった。 ■ ・当該業務に対する検討項目及び検討手法について、特に評価できるものであった。 ■ ・当該業務の打合せ資料の内容について、特に評価できるものであった。 ■ ・当該業務に必要とされる技術力を十分に発揮し、特に評価できるものであった。 ■ ・その他（理由： ）
									1.0		
		小 計	100	②				100			
	取組姿勢	責任感 積極性 倫理観	責任感 積極性 倫理観	100	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して「0.2」「0.4」、「0.6」（基準点）「0.8」、「1.0」を付与する。					100	■ ・企業として積極的に技術の研鑽に取り組んでいる。 ■ ・当該業務遂行にあたって、取り組みへの積極性・責任感に対して評価できるものであった。 ■ ・地域への貢献等に関して、特に評価できるものであった。 ■ ・業務遂行中、新たに発生した課題等に対して、社内全体として体制の拡充を図る等により、業務を完成させた。 ■ ・その他（理由： ）
									1.0		
		小 計	100	②				100			
業務執行に係る過失に伴う減点	業務執行上の過失				評価細目チェック数1つ毎に3点減点					0	☐ ・業務執行上、指摘又は指導等を行ったが、改善されなかった。 ☐ ・関係者から苦情が寄せられる等、問題が認められた。又は、問題発生時の情報連絡等、対応が適切に行われなかった。 ☐ ・業務処理のミスにより大きな手戻りが生じた。 ☐ ・業務実施体制に問題があった。 ☐ ・その他（理由： ）
	守秘性に係る過失				評価細目チェック数1つ毎に3点減点（チェックは1つまで）					0	☐ ・業務に関する情報漏洩があり、受注者の責任によるものと発注者が判断した。 ☐ ・その他（理由： ）
					⑦						

評価項目			評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
					標準						
					1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	検討項目 検討手法	50	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					50	■ ・検討項目は、特記仕様書等の設計図書の項目を満足していた。 ■ ・採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 ■ ・業務目的に照らし必要な検討項目が不足無く設定され、検討項目間の整合も図られていた。 ■ ・提案された業務手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。注)
			十分な技術力	50	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					50	■ ・業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 ■ ・特記仕様書等に示された当該業務固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。 ■ ・業務遂行段階において、発生した課題や発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 ■ ・新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。注)
		小 計	100	③					100		
	コミュニケーション力	説明力 協調性 プレゼンテーション力	説明力 協調性 プレゼンテーション力	100	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					100	■ ・質問に対する的確な回答がなされ、一般論と当該業務固有の議論が明確に区別されていた。 ■ ・曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。 ■ ・説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力され、相手の理解度に応じ、説明のポイント・速さ等が工夫されていた。 ■ ・説明当事者の説明が十分なされた。または、説明が不十分な場合、他のメンバーにより補足説明がなされた。
			小 計	100	③					100	
	結果評価	成果品の品質	目的の達成度	40	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					40	■ ・設計図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ■ ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ■ ・業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 ■ ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。注)
的確なとりまとめ			30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					30	■ ・設計図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 ■ ・理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 ■ ・簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。 ■ ・設計図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。	
ミスの有無			30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					30	■ ・チェック方法に努力と工夫が見られた成果品であった。 ■ ・成果品の品質に大きく影響しない（簡易に修正できる）表記・計算等のミスも認められなかった。 ■ ・誤字・脱字、表記等、軽微なミスも認められなかった。 ■ ・必要書類等も整備されていた。	
小 計			100	③					100		

注) 考查基準の巻末「参考：採点上の補足」を参照のこと。

評価項目			評価の視点	配点	得 点 率					得点	評 価 細 目
					優 標準 劣						
					1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	専門技術力	提案力 改善力	業務着手段階における業務特性等の考慮	20	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」					20	■ ・当該業務の仕様や発注者からの指示等を満たす提案がなされた。 ■ ・当該業務の特性を考慮しつつ、新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に関する提案がなされた。(注)
			業務遂行段階における提案	40	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」					40	■ ・業務遂行段階で新たな視点からの提案がなされた。 ■ ・関連する多面的な視点から検討された、あるいは高度な技術レベルに基づく提案がなされた。(注)
			業務遂行上必要となる課題の提案	20	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」					20	■ ・当該業務で不足する課題が抽出された。 ■ ・検討課題と共に今後実施すべき検討事項・方針等が提案された。
			業務内容等改善の提案	20	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」					20	■ ・業務の作業効率を向上させる提案が、自主的になされた。 ■ ・業務の内容・精度を向上させる提案が、自主的になされた。
		小 計	100	①					100		
	業務執行技術力	目的と内容の理解	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					20	■ ・業務計画書に必要事項が記載されていた。 ■ ・当該業務の目的、内容が理解されていた。 ■ ・業務計画書の実施方法等に、業務内容を具体化する記述があった。 ■ ・特記仕様書等に示された当該業務と関連する他の業務、事業が理解されていた。	
		必要情報の把握	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					20	■ ・業務着手時点において、適切に資料等が整備された。 ■ ・業務実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。 ■ ・業務遂行段階で、新たに必要とされた情報収集の努力がなされていた。 ■ ・業務遂行段階で、当該業務に有意な情報が自主的に提供された。	
		検討項目 検討手法	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					20	■ ・検討項目は、特記仕様書等の設計図書の項目を満足していた。 ■ ・採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 ■ ・業務目的に照らし必要な検討項目が不足無く設定され、検討項目間の整合も図られていた。 ■ ・提案された業務手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。(注)	
		打ち合わせ資料の内容	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					20	■ ・打ち合わせ資料に大きなミスがなかった。 ■ ・打ち合わせ資料に、業務を進めるにあたっての課題等が適切に盛り込まれていた。 ■ ・打ち合わせ資料に、業務を進めるにあたっての課題解決策や提案等が適切に盛り込まれていた。 ■ ・適用する諸基準類のない業務、若しくは難易度の高い業務等を進めるにあたり、的確な理論展開による説明が盛り込まれていた。	
		十分な技術力	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					20	■ ・業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 ■ ・特記仕様書等に示された当該業務固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。 ■ ・業務遂行段階において、発生した課題や発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 ■ ・新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。(注)	
		小 計	100	①					100		

注) 考查基準の巻末「参考：採点上の補足」を参照のこと。

評価項目		評価の視点	配点	得 点 率					得点	評 価 細 目	
				優 標準 劣							
				1.0	0.8	0.6	0.4	0.2			
プロセス評価	専門技術力	施工時への配慮 〔設計時評価〕 (設計業務を対象に評定する。)	施工に関する一般的な知識	60	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					60	■ ・設計、図面作成において留意すべき、施工に関する一般的な知識を有していた。 ■ ・施工方法の検討において一般的に留意すべき点を理解していた。 ■ ・施工方法の内容及び長所・短所に関する一般的な知識を有していた。 ■ ・施工方法が周辺環境におよぼす一般的な影響を理解していた。
			施工条件の把握	40	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					40	■ ・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 ■ ・当該地域の環境特性を把握していた。 ■ ・担当者の施工に係わる要求事項を把握していた。 ■ ・契約図書及び発注者に指示された施工に係わる関係機関等の情報を把握した。
			小 計	100	①					100	
		施工時への配慮 〔設計時評価〕 (設計業務を対象に評定する。)	施工に関する一般的な知識	40	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					40	■ ・設計、図面作成において留意すべき、施工に関する一般的な知識を有していた。 ■ ・施工方法の検討において一般的に留意すべき点を理解していた。 ■ ・施工方法の内容及び長所・短所に関する一般的な知識を有していた。 ■ ・施工方法が周辺環境におよぼす一般的な影響を理解していた。
			施工条件の把握	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					30	■ ・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 ■ ・当該地域の環境特性を把握していた。 ■ ・担当者の施工に係わる要求事項を把握していた。 ■ ・契約図書及び発注者に指示された施工に係わる関係機関等の情報を把握した。
			施工計画 (施工方法、仮設備計画)	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					30	■ ・必要事項を記載した施工計画が提案された。 ■ ・施工条件を的確に踏まえた施工方法、仮設備計画が提案された。 ■ ・工事が周辺環境に及ぼす影響を考慮した上で、施工方法、仮設備計画が提案された。 ■ ・当該工事箇所における施工上の留意事項が、重要度別かつ施工段階毎に適切に整理する提案がなされた。
	小 計	100	①					100			
	コスト把握能力 (設計業務を対象に評定する。)	コスト把握能力	100	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					100	■ ・工事費に関するコスト把握能力を有していた。 ■ ・現地条件などの固有条件がコストに及ぼす影響を理解していた。 ■ ・コスト縮減に係わる提案があった。 ■ ・ライフサイクルコストや新技術・新工法等の総合的なコストを念頭においたコスト縮減に係わる提案があった。	
		小 計	100	①					100		

評価項目		評価の視点	配点	得 点 率					得点	評 価 細 目	
				標準							
				1.0	0.8	0.6	0.4	0.2			
プロセス評価	管理技術力	工程管理能力	実施手順 工程計画	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					30	■ ・契約書等に記載された期限以内（ex. 契約締結後14日以内）に業務工程表が提出され、速やかに業務の着手がなされた。 ■ ・業務実施方針及び工程表には、設計図書に示された事項が適切に反映されていた。 ■ ・業務実施方針又は詳細な工程表には、業務実施上のポイントとなる工程目標等が具体的に示されていた。 ■ ・作業（調査、検討、設計）項目間の実施手順等が適切に計画されていた。
			実施体制	10	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					10	■ ・契約図書に基づき、管理技術者届け及び業務計画書が提出された。 ■ ・業務計画書に示された業務組織計画に基づく実施体制により、業務が履行された。 ■ ・配置された担当技術者若しくは照査技術者は、業務内容に応じた技術者が配置され、適正に履行された。 ■ ・業務計画書（業務組織計画）に示された実施体制は、本業務の履行に対して十分な体制であった。
			打合せ内容の 理解、記録	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					20	■ ・打合せ記録簿が、打合せ後速やかに提出された。 ■ ・打合せ記録簿の記載内容が打ち合わせ結果を適切に反映し、打合せ後の進め方や懸案事項等が的確に整理されていた。 ■ ・受注者内（再委託先等を含む）で意志疎通がなされ、指示や打ち合わせ事項が、その後の資料等に適切に反映されていた。 ■ ・打合せ時に生じた不明点等の協議・確認が適切になされ、打合せ内容が理解された（打合せ後に不明点等に対する問い合わせ等を発注者に行うことはなかった）。
			工程管理	40	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					40	■ ・指示や注意を行う必要のあるような工程の遅れや、履行期限内に納品されない等はなかった。 ■ ・設計図書に基づく作業状況の報告、履行報告等を適切な時期に提出していた。 ■ ・関連する他の業務や工事等に影響を及ぼすことなく完了できた。 ■ ・履行中のポイントとなる工程目標等も含め、全体を通して工程計画どおり完了できた。
		小 計		100	①					100	
		品質管理能力 概略設計 予備設計	ミス防止の 実施	100	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」					100	■ ・「業務計画書」における「成果品の品質を確保するための計画」に記述された内容とその活動を適切に実施した等、品質の管理がされたことを確認できた。 ■ ・品質管理のためのシステムが構築されている部署で業務が行われ、かつ、それらの成果への反映について確認できた。 (ex. ISO9001等の認証取得状況と成果への反映の確認)
			小 計		100	①					100
		品質管理能力 詳細設計	ミス防止の 実施	100	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					100	■ ・業務計画書等に、照査体制、照査計画等が記載されていた。 ■ ・業務計画書等に照査担当者が配置されていた。 ■ ・照査報告書等の品質管理の記録により、照査が実施されたことを確認できた。 ■ ・品質管理のためのシステムが構築されている部署で業務が行われ、かつ、それらの成果への反映について確認できた。 (ex. ISO9001等の認証取得状況と成果への反映の確認)
			小 計		100	①					100

評価項目			評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
					標準						
					優	標準	劣				
1.0	0.8	0.6	0.4	0.2							
プロセス評価	管理技術力	迅速性 弾力性 調整能力	当初計画の変更	40	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」					40	■ ・業務遂行中に生じた、当初工程計画や業務内容の変更要請、あるいは調査職員の指示等に迅速に対応した。 ■ ・その結果生じた検討内容が特に優れていた。
			関連事業者間の調整	30	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」					30	■ ・発注者からの指示、あるいは発注者との協議結果に基づき、関連事業者間の調整に係わる提案資料が作成された。 ■ ・作成された資料の内容が特に良くとりまとめられていた。
			地元住民との合意形成	30	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」					30	■ ・発注者からの指示、あるいは発注者との協議結果に基づき、地元住民等との合意形成（円滑な業務履行の確保に資する地元等への配慮等を含む）に係わる提案資料が作成された。 ■ ・作成された資料の内容が特に良くとりまとめられていた。
			小 計	100	①					100	
	コミュニケーション力	説明力 協調性 プレゼンテーション力	理解しやすい説明 プレゼンテーション（資料）	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					30	■ ・日時・場所・参加者・目次・頁等が明記された資料となっていた。 ■ ・図表等を用いることにより、理解しやすい資料となっていた。 ■ ・資料の内容が簡潔明瞭であり、理解しやすい資料となっていた。 ■ ・資料の要約が作成されており、容易に内容を捉えることができた。
			理解しやすい説明 プレゼンテーション（対応）	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					30	■ ・打合せ開始時に、打合せの趣旨・目的が説明された。 ■ ・質問に対する確な回答がなされた、又は即答できない場合には回答期限が提示された。 ■ ・一般論と当該業務固有の議論が明確に区別されていた。 ■ ・曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。
			説明を補う努力	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					20	■ ・説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力されていた。 ■ ・説明が不十分の場合、他のメンバーにより補足説明がなされた。 ■ ・相手の理解度に応じ、説明のポイント・速さ等が工夫されていた。 ■ ・説明を補足するための的確な資料が、周到に用意されていた。
			円滑な業務遂行への努力	20	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」					20	■ ・密に業務の進捗状況等が発注者に報告されていた。 ■ ・業務遂行上、課題や問題点が発生した場合に迅速に報告がなされた。
			小 計	100	①					100	

評価項目			評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
					優 標準 劣						
					1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	取組姿勢	責任感 積極性 倫理観	責任感 積極性	100	評価細目チェック数⇒「0.2」 〃1⇒「0.4」、〃2⇒「0.6」 〃3⇒「0.8」、〃4⇒「1.0」					100	■ ・管理技術者、照査技術者、担当技術者として、責任逃れの言動は無かった。 ■ ・打合せにおいて確認・解決すべき事項について見逃しがなかった。 ■ ・業務遂行に誤りが無いよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 ■ ・業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。
			小 計	100	①					100	□
結果評価	成果品の品質	目的の達成度	40	評価細目チェック数⇒「0.2」 〃1⇒「0.4」、〃2⇒「0.6」 〃3⇒「0.8」、〃4⇒「1.0」					40	■ ・設計図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ■ ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ■ ・業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。	
		的確な とりまとめ	30	評価細目チェック数⇒「0.2」 〃1⇒「0.4」、〃2⇒「0.6」 〃3⇒「0.8」、〃4⇒「1.0」					30	■ ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。注) ■ ・設計図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 ■ ・理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 ■ ・簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。 ■ ・設計図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。	
		ミスの有無	30	評価細目チェック数⇒「0.2」 〃1⇒「0.4」、〃2⇒「0.6」 〃3⇒「0.8」、〃4⇒「1.0」					30	■ ・チェック方法に努力と工夫が見られた成果品であった。 ■ ・成果品の品質に大きく影響しない（簡易に修正できる）表記・計算等のミスも認められなかった。 ■ ・誤字・脱字、表記等、軽微なミスも認められなかった。 ■ ・必要書類も整備されていた。	
		小 計	100	①					100		

注) 考查基準の巻末「参考：採点上の補足」を参照のこと。

評価項目			評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
					標準				劣		
					1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	業務執行技術力	100	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して「0.2」「0.4」、「0.6」（基準点）「0.8」、「1.0」を付与する。					100	☐ ・当該業務の目的と内容の理解について、特に評価できるものであった。 ☐ ・当該業務に必要な情報の把握について、特に評価できるものであった。 ☐ ・当該業務に対する検討項目及び検討手法について、特に評価できるものであった。 ☐ ・当該業務の打合せ資料の内容について、特に評価できるものであった。 ☐ ・当該業務に必要とされる技術力を十分に発揮し、特に評価できるものであった。 ☐ ・その他（理由： ）
		小 計	100	②					100		
	取組姿勢	責任感 積極性 倫理観	責任感 積極性 倫理観	100	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して「0.2」「0.4」、「0.6」（基準点）「0.8」、「1.0」を付与する。					100	☐ ・企業として積極的に技術の研鑽に取り組んでいる。 ☐ ・当該業務遂行にあたって、取り組みへの積極性・責任感に対して評価できるものであった。 ☐ ・地域への貢献等に関して、特に評価できるものであった。 ☐ ・業務遂行中、新たに発生した課題等に対して、社内全体として体制の拡充を図る等により、業務を完成させた。 ☐ ・その他（理由： ）
		小 計	100	②					100		
業務執行に係る過失に伴う減点	業務執行上の過失				評価細目チェック数1つ毎に3点減点					0	☐ ・業務執行上、指摘又は指導等を行ったが、改善されなかった。 ☐ ・関係者から苦情が寄せられる等、問題が認められた。又は、問題発生時の情報連絡等、対応が適切に行われなかった。 ☐ ・業務処理のミスにより大きな手戻りが生じた。 ☐ ・業務実施体制に問題があった。 ☐ ・その他（理由： ）
	守秘性に伴う過失				評価細目チェック数1つ毎に3点減点（チェックは1つまで）					0	☐ ・業務に関する情報漏洩があり、受注者の責任によるものと発注者が判断した。 ☐ ・その他（理由： ）
					⑦						

評価項目			評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
					優標準劣						
					1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	検討項目 検討手法	50	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					50	■ 検討項目は、特記仕様書等の設計図書の項目を満足していた。 ■ 採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 ■ 業務目的に照らし必要な検討項目が不足無く設定され、検討項目間の整合も図られていた。 ■ 提案された業務手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。注)
			十分な技術力	50	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					50	■ 業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 ■ 特記仕様書等に示された当該業務固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。 ■ 業務遂行段階において、発生した課題や発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 ■ 新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。注)
		小計	100	③					100		
	コミュニケーション力	説明力 協調性 プレゼンテーション力	説明力 協調性 プレゼンテーション力	100	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					100	■ 質問に対する的確な回答がなされ、一般論と当該業務固有の議論が明確に区別されていた。 ■ 曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。 ■ 説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力され、相手の理解度に応じ、説明のポイント・速さ等が工夫されていた。 ■ 説明当事者の説明が十分なされた。または、説明が不十分な場合、他のメンバーにより補足説明がなされた。
			小計	100	③					100	
	結果評価	成果品の品質	目的の達成度	40	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					40	■ 設計図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ■ 業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ■ 業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 ■ 高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。注)
的確なとりまとめ			30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					30	■ 設計図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 ■ 理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 ■ 簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。 ■ 設計図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。	
ミスの有無			30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」					30	■ チェック方法に努力と工夫が見られた成果品であった。 ■ 成果品の品質に大きく影響しない（簡易に修正できる）表記・計算等のミスも認められなかった。 ■ 誤字・脱字、表記等、軽微なミスも認められなかった。 ■ 必要書類等も整備されていた。	
小計			100	③					100		

注) 考査基準の巻末「参考：採点上の補足」を参照のこと。

(4) 工事管理業務等 ① 〔主任調査員用〕

(1/2)

評価項目		評価の視点		配点		得点率					得点	評価細目	
						優 標 準 劣							
						重み	実点	1.0	0.8	0.6			
プロセス評価	専門技術力	目的と内容の理解	当該業務の主旨を十分に理解しているか？	10	6	評価細目チェック数 =0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」 〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」 〃=4⇒「1.0」					6.0	☒ ・当該業務の目的、内容が理解されていた。 ☒ ・業務計画書に記載された内容を的確に理解していた。 ☒ ・業務計画書の実施方法等に、業務内容を具体化する記述があった。 ☒ ・提出資料等に当該業務の特徴、注意すべき事項などが適切に記述されていた。	
		小 計		10	6	①					6.0		
		的確な履行	法令・技術基準の知識は十分か？	20	12	評価細目チェック数 =0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」 〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」 〃=4⇒「1.0」					12.0	☒ ・業務に必要な法律・政令・通達等が十分に理解されていた。 ☒ ・業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 ☒ ・特記仕様書等に示された当該業務固有の条件が十分に理解されていた。 ☒ ・業務上必要となる、図面及び技術的資料について留意すべき、専門的知識を十分有していた。	
			業務内容についての判断は的確か？	20	12	評価細目チェック数 =0⇒「0」 〃=1⇒「0.2」 〃=2⇒「0.4」 〃=3⇒「0.6」 〃=4⇒「0.8」 〃=5⇒「1.0」					12.0	☒ ・業務着手時点において、業務に必要な資料等が整備されていた。 ☒ ・業務遂行段階で、業務に必要な資料収集がなされていた。 ☒ ・業務遂行段階で、当該業務に有意な情報が自主的に提供された。 ☒ ・業務遂行段階において発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 ☒ ・業務（現場）で発生した諸問題に対して十分対応できる能力を有していた。	
			関係者とのコミュニケーションは適切か？	20	12	評価細目チェック数 =0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」 〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」 〃=4⇒「1.0」					12	☒ ・日々の業務内容を調査（監督）職員に報告するなど常に連絡を密にしていた。 ☒ ・緊急性のあるもの、ないものとの判断が適切に行われ、調査（監督）職員に分かりやすく伝えられた。 ☒ ・現場での問題点などを迅速に調査（監督）職員に伝え、問題解決に繋がる提案をした。 ☒ ・関係者（工事請負業者等）との対話を心がけ、トラブルがなかった。	
		小 計		60	36	①					36.0		
		業務目的の達成度	必要事項が適切に記載されているか？	20	12	評価細目チェック数 =0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」 〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」 〃=4⇒「1.0」					12.0	☒ ・契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ☒ ・調査職員からの指示事項が、漏れなく実施された。 ☒ ・業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 ☒ ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し十分な業務成果が得られた。	
			業務に求められる的確な取りまとめがされているか？	10	6	評価細目チェック数 =0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」 〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」 〃=4⇒「1.0」					6.0	☒ ・業務上作成、提出すべき資料に漏れが無かった。 ☒ ・業務上作成する資料について、十分な理解の上で、適切に取りまとめられていた。 ☒ ・業務上作成する資料が簡潔で理解しやすい表現となっていた。 ☒ ・業務上、入手した情報を総合的に活用し、重要な点が理解しやすく取りまとめられていた。	
		小 計		30	18	① ②					18.0		
		専門技術力 計			100	60	④					60	
管理技術力	業務実施体制の的確性		40	14	評価細目チェック数 =0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」 〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」 〃=4⇒「1.0」					14.0	☒ ・業務計画書等、必要書類が遅滞なく提出されていた。 ☒ ・当該業務に必要な資格取得者が適切に配置されていた。 ☒ ・業務計画書に示された業務組織計画に基づく実施体制により、業務が適切に履行された。 ☒ ・履行期間を通じて安定的で十分な業務実施体制が確保されていた。		

(4) 工事管理業務等 ① 〔主任調査員用〕

(2/2)

評価項目		評価の 視点		配点		得 点 率					得点	評価細目
						優 標 準 劣						
				重み	実点	1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス 評価	管理 技術力	打合せ内容 の理解	発注者との 打ち合わせ は適切か？	20	7	評価細目チェック数 =0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.6」 〃=2⇒「1.0」					7.0	☒ ・打合せ記録が適切に整理され、遅滞なく作成されていた。 ☒ ・受注者内の意思疎通が正確で、指示や打ち合わせ事項が的確に業務に反映された。
		指揮系統の 迅速性 確実性	情報伝達の 基本は守ら れている か？	40	14	評価細目チェック数 =0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」 〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」 〃=4⇒「1.0」					14.0	☒ 関係者間の情報伝達が遅滞なく、確実に交わされていた。 ☒ ・情報伝達の誤認等による問題が発生しなかった。 ☒ ・当該業務に関する社内の情報伝達内容が書類により記録されていた。 ☒ ・問題が発生した場合のバックアップ体制が確立していた。又は、対応が迅速に行われた。
	管理技術力 計			100	35	⑧					35.0	
	取組姿勢	責任感、 積極性	100	5	評価細目チェック数 =0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」 〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」 〃=4⇒「1.0」					5.0	☒ ・管理技術者、担当技術者として、責任逃れの言動は無かった。 ☒ ・打合せにおいて確認・解決すべき事項について見逃しがなかった。 ☒ ・業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。 ☒ ・業務の内容・精度を向上させる新たな取組が自主的になされた。	
	取組姿勢 計			100	5	⑨					5	
計					100	⑩					100	

評価項目	評価の 視点	配点		得 点 率					得点	評価細目
				優 標 準 劣						
		重み	実点	1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
業務執行に係る過失に伴う減点	業務執行上の過失		-15	評価細目チェック数 1 つ毎に 3 点減点					0	☐ ・業務執行上、指摘又は指導等を行ったが、改善されなかった。 ☐ ・関係者から苦情が寄せられる等、問題が認められた。又は、問題発生時の情報連絡等、対応が適切に行われなかった。 ☐ ・業務処理のミスにより大きな手戻りが生じた。 ☐ ・業務実施体制に問題があった。 ☐ ・その他（理由： ）
	中立性・公平性に係る過失		-3	評価細目チェック数 1 つで 3 点減点（チェックは 1 つまで）					0	☐ ・中立性・公平性に関して、第三者から苦情があり、請負者に帰する過失があった。 ☐ ・その他（理由： ）
	守秘性に係る過失		-3	評価細目チェック数 1 つで 3 点減点（チェックは 1 つまで）					0	☐ 業務に関する情報漏洩があり、受注者の責任によるものと発注者が判断した。 ☐ ・その他（理由： ）
計			-21	⑫					0	

(4) 工事管理業務等 ③ [検査職員用]

(1/1)

配分		評価の 視点		配点		得 点 率					得点	評価細目
						優 標 準 劣						
						重み	実点	1.0	0.8	0.6		
プロセス評価	専門 技術力	業務目的の 達成度	業務に求め られる的確 な取りまと めがされて いるか？	100	50	評価細目チェック数 =0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」 〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」 〃=4⇒「1.0」					50.0	☒ ・業務上作成、提出すべき資料に漏れが無かった。 ☒ ・業務上作成する資料について、十分な理解の上 で、適切に取りまとめられていた。 ☒ ・業務上作成する資料が簡潔で理解しやすい表現と なっていた。 ☒ ・業務上、入手した情報を総合的に活用し、重要な 点が理解しやすく取りまとめられていた。
		小 計		100	50	③					50.0	
	管理 技術力	業務実施体制の的確性		100	50	評価細目チェック数 =0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」 〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」 〃=4⇒「1.0」					50.0	☒ ・業務計画書等、必要書類が遅滞なく提出されてい た。 ☒ ・当該業務に必要な資格取得者が適切に配置されて いた。 ☒ ・業務計画書に示された業務組織計画に基づく実施 体制により、業務が適切に履行された。 ☒ ・履行期間を通じて安定的で十分な業務実施体制が 確保されていた。
		小 計		100	50	⑥					50.0	
	計					100	⑪					100.0

評価項目		評価の視点		配点		得点率					得点	評価細目
						標準						
				重み	実点	1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	専門技術力	目的と内容の理解	当該業務の主旨を十分に理解しているか？	10	6	評価細目チェック数 =0⇒「0.2」 =1⇒「0.4」 =2⇒「0.6」 =3⇒「0.8」 =4⇒「1.0」					6.0	☒ ・当該業務の目的、内容が理解されていた。 ☒ ・業務計画書に記載された内容を的確に理解していた。 ☒ ・業務計画書の実施方法等に、業務内容を具体化する記述があった。 ☒ ・提出資料等に当該業務の特徴、注意すべき事項などが適切に記述されていた。
		小計		10	6	①					6.0	
		的確な履行	法令・技術基準の知識は十分か？	20	12	評価細目チェック数 =0⇒「0.2」 =1⇒「0.4」 =2⇒「0.6」 =3⇒「0.8」 =4⇒「1.0」					12.0	☒ ・業務に必要な法律・政令・通達等が十分に理解されていた。 ☒ ・業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 ☒ ・特記仕様書等に示された当該業務固有の条件が十分に理解されていた。 ☒ ・業務上必要となる、図面及び技術的資料について留意すべき、専門的知識を十分有していた。
			業務内容についての判断は的確か？	20	12	評価細目チェック数 =0⇒「0」 =1⇒「0.2」 =2⇒「0.4」 =3⇒「0.6」 =4⇒「0.8」 =5⇒「1.0」					12.0	☒ ・業務着手時点において、業務に必要な資料等が整備されていた。 ☒ ・業務遂行段階で、業務に必要な資料収集がなされていた。 ☒ ・業務遂行段階で、当該業務に有意な情報が自主的に提供された。 ☒ ・業務遂行段階において発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 ☒ ・業務（現場）で発生した諸問題に対して十分対応できる能力を有していた。
		小計		40	24	①					24	
	業務目的の達成度	必要事項が適切に記載されているか？	20	12	評価細目チェック数 =0⇒「0.2」 =1⇒「0.4」 =2⇒「0.6」 =3⇒「0.8」 =4⇒「1.0」					12.0	☒ ・契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ☒ ・調査職員からの指示事項が、漏れなく実施された。 ☒ ・業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 ☒ ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し十分な業務成果が得られた。	
		業務に求められる的確な取りまとめがされているか？	30	18	評価細目チェック数 =0⇒「0.2」 =1⇒「0.4」 =2⇒「0.6」 =3⇒「0.8」 =4⇒「1.0」					18.0	☒ ・業務上作成、提出すべき資料に漏れが無かった。 ☒ ・業務上作成する資料について、十分な理解の上で、適切に取りまとめられていた。 ☒ ・業務上作成する資料が簡潔で理解しやすい表現となっていた。 ☒ ・業務上、入手した情報を総合的に活用し、重要な点が理解しやすく取りまとめられていた。	
		小計		50	30	① ②					30	
	専門技術力 計			100	60	④					60	
	管理技術力	業務実施体制の的確性	40	14	評価細目チェック数 =0⇒「0.2」 =1⇒「0.4」 =2⇒「0.6」 =3⇒「0.8」 =4⇒「1.0」					14.0	☒ ・業務上作成する資料が期限内に提出されていた。 ☒ ・提出された資料について、管理技術者が内容を適切に把握していた。 ☒ ・履行期間を通じて安定的で十分な業務実施体制が確保されていた。 ☒ ・成果品の品質確保のためのチェック体制が構築され、有効に機能していた。	

(5) 積算技術業務等 ① 〔主任調査員用〕

(2/2)

評価項目		評価の 視点		配点		得 点 率					得点	評価細目
						優 標 準 劣						
				重み	実点	1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス 評価	管理 技術力	打合せ内容 の理解	発注者との 打ち合わせ は適切か？	20	7	評価細目チェック数 =0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.6」 〃=2⇒「1.0」					7.0	☒ ・打合せ記録が適切に整理され、遅滞なく作成されていた。 ☒ ・受注者内の意思疎通が正確で、指示や打ち合わせ事項が的確に業務に反映された。
		指揮系統の 迅速性 確実性	情報伝達の 基本は守ら れている か？	40	14	評価細目チェック数 =0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」 〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」 〃=4⇒「1.0」					14.0	☒ ・関係者間の情報伝達が遅滞なく、確実に交わされていた。 ☒ ・情報伝達の誤認等による問題が発生しなかった。 ☒ ・当該業務に関する社内の情報伝達内容が書類により記録されていた。 ☒ ・問題が発生した場合のバックアップ体制が確立していた。又は、対応が迅速に行われた。
	管理技術力 計			100	35	⑧					35	
	取組姿勢	責任感、 積極性	100	5	評価細目チェック数 =0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」 〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」 〃=4⇒「1.0」					5.0	☒ ・管理技術者、担当技術者として、責任逃れの言動は無かった。 ☒ ・打合せにおいて確認・解決すべき事項について見逃しがなかった。 ☒ ・業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。 ☒ ・業務の内容・精度を向上させる新たな取組が自主的になされた。	
	取組姿勢 計			100	5	⑨					5	
計					100	⑩					100	

(5) 積算技術業務等 ②〔総括調査員用〕

(1/1)

評価項目	評価の 視点	配点		得 点 率					得点	評価細目
				優 標 準 劣						
		重み	実点	1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
業務執行に係る過失に伴う減点	業務執行上の過失		-15	評価細目チェック数 1 つ毎に 3 点減点					0	☐ ・業務執行上、指摘又は指導等を行ったが、改善されなかった。 ☐ ・関係者から苦情が寄せられる等、問題が認められた。又は、問題発生時の情報連絡等、対応が適切に行われなかった。 ☐ ・業務処理のミスにより大きな手戻りが生じた。 ☐ ・業務実施体制に問題があった。 ☐ ・その他（理由： ）
	中立性・公平性に係る過失		-3	評価細目チェック数 1 つで 3 点減点（チェックは 1 つまで）					0	☐ ・中立性・公平性に関して、第三者から苦情があり、請負者に帰する過失があった。 ☐ ・その他（理由： ）
	守秘性に係る過失		-3	評価細目チェック数 1 つで 3 点減点（チェックは 1 つまで）					0	☐ 業務に関する情報漏洩があり、受注者の責任によるもと発注者が判断した。 ☐ ・その他（理由： ）
計			-21	⑫					0	

(5) 積算技術業務等 ③ [検査職員用]

(1/1)

評価項目		評価の視点		配点		得点率					得点	評価細目
						優標準劣						
				重み	実点	1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	専門技術力	業務目的の達成度	業務に求められる確かな取りまとめがされているか？	100	50	評価細目チェック数 =0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」 〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」 〃=4⇒「1.0」					50	☒ ・業務上作成、提出すべき資料に漏れが無かった。 ☒ ・業務上作成する資料について、十分な理解の上で、適切に取りまとめられていた。 ☒ ・業務上作成する資料が簡潔で理解しやすい表現となっていた。 ☒ ・業務上、入手した情報を総合的に活用し、重要な点が理解しやすく取りまとめられていた。
		小 計		100	50	③					50	
	管理技術力	業務実施体制の的確性		100	50	評価細目チェック数 =0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」 〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」 〃=4⇒「1.0」					50	☒ ・業務上作成する資料が期限内に提出されていた。 ☒ ・提出された資料について、管理技術者が内容を適切に把握していた。 ☒ ・履行期間を通じて安定的で十分な業務実施体制が確保されていた。 ☒ ・成果品の品質確保のためのチェック体制が構築され、有効に機能していた。
		小 計		100	50	⑥					50	
	計				100		⑪					100

(1) 地質調査、単純調査等業務、測量作業

○は、評価対象外
 ●は、必須評価項目
 △は、選択評価項目
 ◎は、評価者の得点割合を示している。

注： 1.「担当技術者」は、それぞれ3人までとする。
 2.各評価項目の「評価点④、⑫、⑬、⑭」は、小数第二位を四捨五入して表示している。
 3.「⑤小計」は、小数第一位を四捨五入し整数とする。

(2) 調査業務、計画業務

評価項目			評価の視点	主任調査員							総括調査員							検査職員							評定点 (注2)	業務評定(注2)				管理技術者				技術者評定(注2)				照査技術者							
				配点	得点割合					得点	評定点 (注2)	配点	得点割合					得点	評定点 (注2)	配点	得点割合					得点	評定点 (注2)	加重平均点の算出		評定点⑬	加重平均点の算出		評定点⑬	加重平均点の算出		評定点⑬	加重平均点の算出								
					1.0	0.8	0.6	0.4	0.2				1.0	0.8	0.6	0.4	0.2				1.0	0.8	0.6	0.4				0.2	④ 満点評定点⑬		④ (%)	④ 満点評定点⑭		④ (%)	④ 満点評定点⑭		④ (%)	④ 満点評定点⑭	④ (%)						
専門技術力	提案力 改善力	業務着手段階における業務結実度の考慮	○	20	◎				20.0																	④=①=①'×2/21	④	2	9.5 / 9.5	④÷⑫×⑭	2	9.5 / 9.5	④÷⑫×⑭	2	15.4 / 15.4										
		業務遂行段階における提案	○	40	◎				40.0																																				
		業務遂行上必要となる課題の提案	○	20	◎				20.0																																				
		業務内容等改善の提案	○	20	◎				20.0																																				
		小計	／	100					①=100.0	①=9.5	／								／							④=9.5	／	9.5	100.0	／	9.5	100.0	／	15.4	100.0	／									
	業務執行技術力	目的と内容の理解	○	20	◎				20.0		○	100	◎					100.0		○	50	◎				50.0		④=①'×4/21×1/10+②'×4/21×5/10+③'×4/21×4/10	④	4	19.0 / 19.0	④÷⑫×⑭	4	19.0 / 19.0	④÷⑫×⑭	4	30.8 / 30.8								
		必要情報の把握	○	20	◎				20.0																																				
		検討項目、検討手法	○	20	◎				20.0																																				
		打ち合わせ資料の内容	○	20	◎				20.0																																				
		十分な技術力	○	20	◎				20.0														○	50	◎				50.0		③=100.0	③=7.6	④=19.0	／	19.0	100.0	／	19.0	100.0	／	30.8	100.0	／		
	施工時への配慮 (設計時評価、設計業務を対象に評定する。イ、ロのいずれかを選択する。)	イ、『概略設計』『予備設計』の場合	施工に関する一般的な知識																																										
			施工条件等の把握																																										
		ロ、『詳細設計』の場合	小計	／																																									
			施工に関する一般的な知識																																										
			施工条件等の把握																																										
	コスト把握能力 (設計業務を対象に評定する。)	小計	コスト把握能力																																										
			／																																										
	管理技術力	工程管理能力	実施手順、工程計画	○	30	◎				30.0																	④=①=①'×2/21	④	2	9.5 / 9.5	④÷⑫×⑭	2	9.5 / 9.5												
			実施体制	○	10	◎				10.0																																			
			打合せ内容の理解、記録	○	20	◎				20.0																																			
工程管理			○	40	◎				40.0																																				
小計			／	100					①=100.0	①=9.5	／								／							④=9.5	／	9.5	100.0	／	9.5	100.0	／												
品質管理能力		ミス防止の実施	○	100	◎				100.0																	④=①=①'×2/21	④	2	9.5 / 9.5	④÷⑫×⑭	2	9.5 / 9.5					④÷⑫×⑭	2	66.7 / 66.7						
		小計	／	100					①=100.0	①=9.5	／								／							④=9.5	／	9.5	100.0	／	9.5	100.0	／				66.7	100.0							
迅速性 弾力性 調整能力		当初計画の変更	○	40	◎				40.0																	④=①=①'×1/21	④	1	4.8 / 4.8	④÷⑫×⑭	1	4.8 / 4.8													
		関連事業者間の調整	○	30	◎				30.0																																				
		地元住民との合意形成	○	30	◎				30.0																																				
説明力 協調性 ﾌﾚｷｼﾍﾞﾝｼｮﾝｶﾞ	小計	理解しやすい説明・ﾌﾚｷｼﾍﾞﾝｼｮﾝ(資料)	○	30	◎				30.0										○	100	◎				100.0		④=①'×1/21×1/10+③'×1/21×9/10	④	1	4.8 / 4.8	④÷⑫×⑭	1	4.8 / 4.8	④÷⑫×⑭	1	7.7 / 7.7									
		理解しやすい説明・ﾌﾚｷｼﾍﾞﾝｼｮﾝ(対応)	○	30	◎				30.0																																				
		説明を補う努力	○	20	◎				20.0																																				
		円滑な業務遂行への努力	○	20	◎				20.0																																				
	取組姿勢	小計		／	100					①=100.0	①=0.5	／							100						③=100.0	③=4.3	④=4.8	／	4.8	100.0	／	4.8	100.0	／	7.7	100.0	／								
責任感、積極性			○	100	◎				100.0																	④=①'×2/21×1/10+②'×2/21×9/10	④	2	9.5 / 9.5	④÷⑫×⑭	2	9.5 / 9.5	④÷⑫×⑭	2	15.4 / 15.4										
成果品の品質	小計	責任感、積極性、倫理観								○	100	◎				100.0																													
		／	100						①=100.0	①=1.0	／	100					②=100.0	②=8.6	／						④=9.5	／	9.5	100.0	／	9.5	100.0	／	15.4	100.0	／										
目的の達成度		○	40	◎				40.0										○	40	◎				40.0		④=①'×7/21×1/10+③'×7/21×9/10	④	7	33.3 / 33.3	④÷⑫×⑭	7	33.3 / 33.3	④÷⑫×⑭	4	30.8 / 30.8	④÷⑫×⑭	1	33.3 / 33.3							
的確なとりまとめ		○	30	◎				30.0											○	30	◎				30.0																				
結果評価	小計	ミスの有無	○	30	◎				30.0										○	30	◎				30.0																				
		／	100						①=100.0	①=3.3	／							③=100.0	③=30.0	④=33.3	／	33.3	100.0	／	33.3	100.0	／	33.3	100.0	／	30.8	100.0	／	33.3	100.0	／									
評定者の評定点（総括調査員の業務執行上の過失の減点は含んでいない。）																																													
⑤小計（注3）																																													
業務執行に係る過失に伴う減点	⑥業務執行上の過失									0														0				0				0				0									
	⑦守秘性に伴う過失									0														0				0				0				0									
⑧事故等による減点（業務遂行段階を対象とする）																																													
⑨成果品に、受託者の責任に起因する瑕疵が存在し、契約図書に記された手続きに従い、瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合の減点（軽微なミスの修正を除く）																																													
⑩その他																																													
総合評定点の算定			総合評定点総合評定点⑪=⑤+⑥+⑦+⑧+⑨+⑩																					100				100				100				100									
所見			(主任調査員)							(総括調査員)							(検査職員)							■は、評定対象外 ○は、必須評定項目 △は、選択評定項目 ◎は、評定者の得点割合を示している。 注： 1.「担当技術者」は、それぞれ3人までとする。 2.各評価項目の「評定点④、⑫、⑬、⑭」は、小数第二位を四捨五入して表示している。 3.「⑤小計」は、小数第一位を四捨五入し整数とする。																					

(3) 設計業務

評価項目		評価の視点	主任調査員							総括調査員							検査職員							評定点 (注2)	業務評定(注2)			管理技術者 担当技術者(注1)			技術者評定(注2)			照査技術者																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
			配点	得点割合					得点	評定点 (注2)	配点	得点割合					得点	評定点 (注2)	配点	得点割合					得点	評定点 (注2)	評定点④	加重平均点の算出		評定点③	加重平均点の算出		評定点③	加重平均点の算出		評定点③	加重平均点の算出																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
				1.0	0.8	基準 0.6	0.4	0.2				1.0	0.8	基準 0.6	0.4	0.2				1.0	0.8	基準 0.6	0.4					0.2	満点評定点⑩		④ / ⑩ (%)	④÷ ⑩× ⑭		満点評定点⑬	⑬ / ⑭ (%)		④÷ ⑩× ⑯	満点評定点⑮	⑮ / ⑯ (%)	④÷ ⑩× ⑱	満点評定点⑰	⑰ / ⑱ (%)	④÷ ⑩× ⑲	満点評定点⑳	⑳ / ㉑ (%)	④÷ ⑩× ㉒																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
専門技術力	提案力 改善力	業務着手段階における 意図特性等の考慮	○	20	◎																				④=①= ①'×2/24	④	2	8.3 / 8.3	④÷ ⑩× ⑭	2	8.3 / 8.3	④÷ ⑩× ⑭	2	12.5 / 12.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		業務遂行段階における提案	○	40	◎																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		業務遂行上必要となる課題の提 案	○	20	◎																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		業務内容等改善の提案	○	20	◎																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		小 計	/	100																					④= 8.3	/	8.3	100.0	/	8.3	100.0	/	12.5	100.0	/																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	業務執行技術力	目的と内容の理解	○	20	◎																					④= ①'×4/24 ×1/10+②' ×4/24× 5/10+③' ×4/24× 4/10	④	4	16.7 / 16.7	④÷ ⑩× ⑭	4	16.7 / 16.7	④÷ ⑩× ⑭	4	25.0 / 25.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		必要情報の把握	○	20	◎																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		検討項目、検討手法	○	20	◎																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		打ち合わせ資料の内容	○	20	◎																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		十分な技術力	○	20	◎																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	施工時への配慮 (設計時評価、 設計業務を 対象に評定する。 イ、ロのいずれか を選択する。)	イ、『概略設計』 『予備設計』 の場合	施工に関する一般的な知識	△	60	◎																				④=①= ①'×1/24	④	1	4.2 / 4.2	④÷ ⑩× ⑭	1	4.2 / 4.2	④÷ ⑩× ⑭	1	6.3 / 6.3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			施工条件等の把握	△	40	◎																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			小 計	/	100																					④= 4.2	/	4.2	100.0	/	4.2	100.0	/	6.3	100.0	/																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
			ロ、『詳細設計』 の場合	施工に関する一般的な知識	△	40	◎																				④=①= ①'×1/24	④	1	4.2 / 4.2	④÷ ⑩× ⑭	1	4.2 / 4.2	④÷ ⑩× ⑭	1	6.3 / 6.3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
				施工条件等の把握	△	30	◎																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		施工計画 (施工方法、仮設備計画)		△	30	◎																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		小 計		/	100																					④= 4.2	/	4.2	100.0	/	4.2	100.0	/	6.3	100.0	/																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		コスト把握能力 (設計業務を対象に評定する。)		コスト把握能力	△	100	◎																				④=①= ①'×1/24	④	1	4.2 / 4.2	④÷ ⑩× ⑭	1	4.2 / 4.2	④÷ ⑩× ⑭	1	6.3 / 6.3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
			小 計	/	100																					④= 4.2	/	4.2	100.0	/	4.2	100.0	/	6.3	100.0	/																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		工程管理能力	実施手順、工程計画	○	30	◎																					④=①= ①'×2/24	④	2	8.3 / 8.3	④÷ ⑩× ⑭	2	8.3 / 8.3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
実施体制	○		10	◎																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
打合せ内容の理解、記録	○		20	◎																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
工程管理	○		40	◎																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
小 計	/		100																					④= 8.3	/	8.3	100.0	/	8.3	100.0	/																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
品質管理能力	ミス防止の実施		○	100	◎																					④=①= ①'×2/24	④	2	8.3 / 8.3	④÷ ⑩× ⑭	2	8.3 / 8.3				④÷ ⑩× ⑭	2	66.7 / 66.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	小 計		/	100																					④= 8.3	/	8.3	100.0	/	8.3	100.0	/		66.7	100.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
迅速性 弾力性 調整能力	当初計画の変更		○	40	◎																				④=①= ①'×1/24	④	1	4.2 / 4.2	④÷ ⑩× ⑭	1	4.2 / 4.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	関連事業者間の調整		○	30	◎																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	地元住民との合意形成		○	30	◎																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	小 計	/	100																					④= 4.2	/	4.2	100.0	/	4.2	100.0	/																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
説明力 協調性 プレゼンテーション力	理解しやすい説明・プレゼンテーション (資料)	○	30	◎																				④= ①'×1/24 ×1/10+③' ×1/24× 9/10	④	1	4.2 / 4.2	④÷ ⑩× ⑭	1	4.2 / 4.2	④÷ ⑩× ⑭	1	6.3 / 6.3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	理解しやすい説明・プレゼンテーション (対応)	○	30	◎																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	説明を補う努力	○	20	◎																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	円滑な業務遂行への努力	○	20	◎																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	小 計	/	100																					③= 100.0	③= 3.8	④= 4.2	/	4.2	100.0	/	4.2	100.0	/	6.3	100.0	/																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
取組姿勢	責任感 積極性 倫理観	責任感、積極性	○	100	◎																				④=①'× 2/24×1/10 +②'× 2/24×9/10	④	2	8.3 / 8.3	④÷ ⑩× ⑭	2	8.3 / 8.3	④÷ ⑩× ⑭	2	12.5 / 12.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		責任感、積極性、倫理観																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		小 計	/	100																					④= 8.3	/	8.3	100.0	/	8.3	100.0	/	12.5	100.0	/																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
結果 評価	成果品の品質	目的の達成度	○	40	◎																				④= ①'×8/24 ×1/10+③' ×8/24× 9/10	④	8	33.3 / 33.3	④÷ ⑩× ⑭	8	33.3 / 33.3	④÷ ⑩× ⑭	5	31.3 / 31.3	④÷ ⑩× ⑭	1	33.3 / 33.3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		的確なとりまとめ	○	30	◎																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		ミスの有無	○	30	◎																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		小 計	/	100																					③= 100.0	③= 30.0	④= 33.3	/	33.3	100.0	/	33.3	100.0	/	33.3	100.0	/																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
評定者の評定点（総括調査員の業務執行上の過失の減点は含んでいない。）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													

(4) 工事管理業務等

評価項目		評価の視点	主任調査員										総括調査員										検査職員										評定点 (注2)	業務評定(注2)			技術者評定(注2)											
			配点	得点割合						得点	評定点 (注2)	配点	得点割合						得点	評定点 (注2)	配点	加重平均点の算出			評定点	加重平均点の算出			評定点	加重平均点の算出																		
				1.0	0.8	0.6	0.4	0.2	0.0				1.0	0.8	0.6	0.4	0.2	1.0				0.8	0.6	0.4		0.2	得点	評定点 (注2)		満点	評点	(%)		満点	評点	(%)	満点	評点	(%)	満点	評点	(%)						
プロセス評価	専門技術力	目的と内容の理解	業務主旨の理解	○ ※	6	◎					①= 6.0	①= 6.0														6.0	6	6.0 / 6.0	6.0	6	6.0 / 6.0																	
		的確な履行	法令・技術基準の知識	○ ※	12	◎					③= 12.0	③= 12.0																6	6.0 / 6.0																			
			業務内容についての判断	○ ※	12	◎					①= 12.0	①= 12.0																36	36.0 / 36.0	36.0	36	36.0 / 36.0																
			関係者とのコミュニケーション	○ ※	12	◎					①= 12.0	①= 12.0																	36	36.0 / 36.0																		
	業務目的の達成度	小計	/	36						36.0	36.0	/															36	100.0		36	100.0																	
		必要事項の記載	○ ※	12	◎					①= 12.0	①= 12.0																18	18.0 / 18.0	18.0	18	18.0 / 18.0																	
		的確な取りまとめ	○ ※	6	◎					②= 6.0	②= 6.0							○ ※	50	◎					③= 50.0	③= 50.0	評定点=①+②×1/2+③×3/50	18.0	18	18.0 / 18.0	18.0	18	18.0 / 18.0															
	小計	/	18						18.0	18.0	/							50								50.0	50.0		18	100.0		18	100.0															
	専門技術力 計			/	60					④= 60.0	④= 60.0	/							50																													
	管理技術力	業務実施体制的的確性	業務実施体制的的確性	○ ※	14	◎					⑤= 14.0	⑤= 14.0							○ ※	50	◎					⑥= 50.0	⑥= 50.0	評定点=(⑤×1/2+⑥×7/50)	14.0	14	14.0 / 14.0	14.0	14	14.0 / 14.0														
打ち合わせの理解度		打ち合わせの理解度	○ ※	7	◎					⑦= 7.0	⑦= 7.0																7.0	7	7.0 / 7.0	7.0	7	7.0 / 7.0																
																											7	100.0		7	100.0																	
指揮系統の迅速性、確実性		指揮命令の迅速性、確実性	○ ※	14	◎					⑦= 14.0	⑦= 14.0																	14.0	14	14.0 / 14.0	14.0	14	14.0 / 14.0															
管理技術力 計			/	35					⑧= 21.0	⑧= 21.0	/							50						⑥= 50.0	⑥= 50.0																							
取組姿勢	責任感、積極性	責任感、積極性	○ ※	5	◎					⑩= 5.0	⑨= 5.0																5.0	5	5.0 / 5.0	5.0	5	5.0 / 5.0																
	取組姿勢 計		/	5						⑩= 5.0	⑩= 5.0	/																																				
評定者の評定点（総括調査員の業務執行上の過失の減点は含んでいない。）																																																
⑮小計（注3）																																																
業務執行に係る過失に伴う減点	業務執行上の過失												0																				0			0			0									
	中立性、公平性に係る過失												0																				0			0												
	守秘性にかかる過失												0																				0			0												
	⑯小計												0																				0			0			0									
⑰事故等による減点（業務遂行段階を対象とする）																																																
⑱瑕疵修補又は損害賠償による減点																																																
⑲その他																																																
総合評定点の算定			⑳総合評定点=㉔+⑮+⑰+⑱+⑲																														100			100			100									
所見 （※必ず記載すること）			（主任調査員）										（総括調査員）										（検査職員）										■ は、評定対象外 ○ は、必須評定項目 △ は、選択評定項目 ※1 は、加点評価項目 ◎ は、評定者の得点割合を示している。 注： 1. 「管理技術者」「担当技術者」は、従事した全ての者とする。 2. 各評価項目の評定点は少数第二位を四捨五入して表示している。 3. 小計は、少数第一位を四捨五入し整数とする。															

(5) 積算技術等業務

評価項目		評価の視点	主任調査員										総括調査員										検査職員										評定点 (注2)	業務評定(注2)			技術者評定(注2)						照査技術者										
			配点	得点割合						得点	評定点 (注2)	配点	得点割合						得点	評定点 (注2)	配点	得点割合			得点	評定点 (注2)	管理技術者(注1)			担当技術者(注1)				照査技術者																			
				1.0	0.8	基準 0.6	0.4	0.2	0.0				1.0	0.8	基準 0.6	0.4	0.2	1.0				0.8	基準 0.6	0.4			0.2	重み 満点評定点	評点 (%)	満点評定点	重み 満点評定点	評点 (%)		満点評定点	重み 満点評定点	評点 (%)	満点評定点	重み 満点評定点	評点 (%)	満点評定点													
プロセス評価	専門技術力	目的と内容の理解	業務主旨の理解	○ ※	6	◎					①= 6.0	①= 6.0													6.0	6	6.0 / 6.0	6.0	6	6.0 / 6.0																							
		的確な履行	法令・技術基準の知識	○ ※	12	◎					①= 12.0	①= 12.0														24.0	24	24.0 / 24.0	24.0	24	24.0 / 24.0																						
			業務内容についての判断	○ ※	12	◎					①= 12.0	①= 12.0															24.0	24	24.0 / 24.0	24.0	24	24.0 / 24.0																					
			関係者とのコミュニケーション																																																		
	業務目的の達成度	小 計	／	24						24.0	24.0	／															24	100%		24	100%																						
		必要事項の記載	○ ※	12	◎					①= 12.0	①= 12.0																30.0	30	30.0 / 30.0	30.0	30	30.0 / 30.0																					
		的確な取りまとめ	○ ※	18	◎					②= 18.0	②= 18.0							○ ※	50	◎						③= 50.0	③= 50.0	評定点=①+②×1/2+③×9/50	30.0	30	30.0 / 30.0	30.0	30	30.0 / 30.0																			
	小 計	／	30						30.0	30.0	／							50									30	100%		30	100%																						
	専門技術力 計			／	60					④= 60.0	④= 60.0	／							50																																		
	管理技術力	業務実施体制の的確性	業務実施体制の的確性	○ ※	14	◎					⑤= 14.0	⑤= 14.0	／							○ ※	50	◎					⑥= 50.0	⑥= 50.0	評定点=⑤×1/2+⑥×7/50	14.0	14	14.0 / 14.0	14.0	14	14.0 / 14.0																		
打ち合わせの理解度		打ち合わせの理解度	○ ※	7	◎					⑦= 7.0	⑦= 7.0														7.0	7	7.0 / 7.0	7.0	7	7.0 / 7.0																							
指揮系統の迅速性、確実性		指揮命令の迅速性、確実性	○ ※	14	◎						⑦= 14.0	⑦= 14.0															14.0	14	14.0 / 14.0	14.0	14	14.0 / 14.0																					
管理技術力 計			／	21						⑧= 35.0	⑧= 35.0	／							50																																		
取組姿勢	責任感、積極性	責任感、積極性	○ ※	5	◎					⑩= 5.0	⑨= 5.0															5.0	5	5.0 / 5.0	5.0	5	5.0 / 5.0																						
取組姿勢 計			／	5						⑩= 5.0	⑩= 5.0	／																																									
評定者の評定点（総括調査員の業務執行上の過失の減点は含んでいない。）																																																					
⑯小計（注3）																								100 100	100 / 100 100%		100 100	100 / 100 100%		100 100	100 / 100 100%		100 100	100 / 100 100%																			
業務執行に係る過失に伴う減点	業務執行上の過失												0																				0																				
	中立性、公平性に係る過失												0																				0																				
	守秘性にかかる過失												0																				0																				
	⑰小計												0																				0																				
⑰事故等による減点（業務遂行段階を対象とする）																																																					
⑱瑕疵修補又は損害賠償による減点																																																					
⑲その他																																																					
総合評定点の算定				⑳総合評定点=⑫+⑮+⑰+⑱+⑲																													100			100						100											
所 見 （※必ず記載すること）				（主任調査員）										（総括調査員）										（完了検査官）										■ は、評定対象外 ○ は、必須評定項目 △ は、選択評定項目 ※1 は、加点評価項目 ◎ は、評定者の得点割合を示している。 注： 1. 「管理技術者」「担当技術者」は、従事した全ての者とする。 2. 各評価項目の評定点は少数第二位を四捨五入して表示している。 3. 小計は、少数第一位を四捨五入し整数とする。																			

採点表

業 務 情 報			
発 注 者	()		
業 務 名 称	()		
発 注 方 式	()		
業 務 分 類	(1) ※創意工夫の余地が大きい業務は1、小さい業務は2を入力する。		
調査員比率	総 括	(0.30)	その他調査員 (0.70)
各分野比率	建築意匠	(0.300)	建築構造 (0.150) 建築積算 (0.100)
(0か数字を記入)	電気設備	(0.150)	電気積算 (0.075)
	機械設備	(0.150)	機械積算 (0.075)
受 注 者	()		
協力事務所	()		
評 定 点 (業 務)			
	基礎点	(65.0)	
	総合点	(65.0)	
評 定 点 (管 理 技 術 者)			
	管理技術者	(65.0)	
評 定 点 (分 野 別)			
	意 匠	(65.0)	
	構 造	(65.0)	
	建築積算	(65.0)	
	電気設備	(65.0)	
	電気設備積算	(65.0)	
	機械設備	(65.0)	
	機械設備積算	(65.0)	
評 定 点 (オ プ シ ョ ン) ※任意使用			
	総合点	オプション点	評定点(オプション)
	(65.0)	+	() = (65.0)

集計表（その１：項目別集計）

業務名

受注者名

評定点（総合点）※ 65.0

（事故等による減点 点／瑕疵修補又は損害賠償等による減点 点）

評価項目		評価の視点		指標	得点		配点
業務の実施能力	業務実施体制	業務態勢、自主管理	基礎	0	0.00	／	1.00
	管理技術者の能力	業務の全体把握、工程管理、取組姿勢、責任感の強さ、説明力（プレゼンテーション力）、協調性	基礎	0	0.00	／	2.00
	主任担当技術者の能力	他分野との調整、工程管理、取組姿勢、責任感の強さ、説明力（プレゼンテーション力）、協調性	基礎	0	0.00	／	2.00
業務の実施状況	業務履行中の説明資料（途中成果物）に関する評価	記載の程度、途中成果物の内容	基礎	0	0.00	／	4.00
	調整及び説明、対応の迅速性	基礎：打合せ内容の理解、記録、指示・協議事項への対応 創意工夫：設計提案等の説明（プレゼンテーション力）	基礎	0	0.00	／	2.00
			創意工夫	0	0.00	／	1.00
	与条件の理解、業務への反映（設計提案）	基礎：与条件の理解、円滑な業務遂行、技術的検討、仕様書・基準類の理解、施工に関する一般的な知識 創意工夫：創意工夫、積極的な提案、専門的な知識、法令等の理解、特定行政庁等との調整	基礎	0	0.00	／	4.00
			創意工夫	0	0.00	／	3.00
業務目的の達成度	業務目的の達成度	記載の程度、成果物の内容	基礎	0	0.00	／	20.00
	課題への対応	課題（物理的条件、社会的条件、要望、コスト）への対応	創意工夫	0	0.00	／	8.00

※	0.00	／	35.00
	0.00	／	12.00

0.00	／	35.00
------	---	-------

（表の見方）

- 1）評定点は65点を標準として加減点最大±35点で算出している。
- 2）加減点数の項目別の配点は、業務内容によって異なる。
- 3）本業務の受託者が得点した点数を項目別に指標化している。
- 4）指標は0を標準（加減点なし）とし、-100から+100までの整数で表示している。

※（評定点）と（65＋項目別の得点の合計）は四捨五入の関係等で一致しない場合がある。

新採点表 得点

評価項目		評価の視点		創意工夫の余地 業務 大きい 小さい		総括調査員	主任調査員または調査員									
							各分野									
							建築			電気設備		機械設備				
							意匠	構造	積算	電気設備	積算	機械設備	積算			
配点		直接評価		配点		①	②-1	②-2	②-3	②-4	②-5	②-6	②-7			
		総括調査員評定点、主任調査員と各分野評定点の合計の比率				0.3	0.7									
		各分野比率				—	0.3	0.15	0.1	0.15	0.075	0.15	0.075			
業務実施能力 （創意工夫が必要な業務） ／5 （その他の業務） ／5	5	業務実施体制	1	実施体制、自主管理	1	●	●	0	0	0	0	0	0	0		
		管理技術者の能力	2	業務の全体把握	0.5	●	●	0	0	0	0	0	0	0	0	
	（業務全体に関する評価）		工程管理	0.5	●	●	0		0	0	0	0	0			
			取組姿勢、責任感の強さ	0.5	●	●	0		0	0	0	0	0			
			説明力（プレゼンテーション力）、協調性	0.5	●	●	0		0	0	0	0	0			
	5						0	0	0	0	0	0	0	0		
		主任担当技術者の能力		2	他分野との調整	0.5	●	●	0	0	0	0	0	0	0	
		（担当分野に関する評価）		工程管理	0.5	●	●	0		0	0	0	0	0		
				取組姿勢、責任感の強さ	0.5	●	●	0		0	0	0	0	0		
				説明力（プレゼンテーション力）、協調性	0.5	●	●	0		0	0	0	0	0		
	業務の実施状況 （創意工夫が必要な業務） ／14 （その他の業務） ／10	14	業務履行中の説明資料	4	記載の程度	2	●	●	0	0	0	0	0	0	0	
			（途中成果物）に関する評価		途中成果物の内容	2	●	●		0	0	0	0	0	0	0
		10	調整及び説明、対応の迅速性	3	打合せ内容の理解、記録	1	●	●	0	0	0	0	0	0	0	0
			指示、協議事項への対応	1	●	●	0	0		0	0	0	0	0		
			設計提案等の説明（プレゼンテーション力）	1	●		—	0	0	—	0	—	—			
与条件の理解、業務への反映（設計提案）			7	与条件の理解、円滑な業務遂行、技術的検討	1.5	●	●	0	0	0	0	0	0	0	0	
					仕様書、基準類の理解	1.5	●		●	0	0	0	0	0	0	0
			施工に関する一般的な知識	1	●	●	0		0	0	0	0	0	0		
			創意工夫、積極的な提案	1.5	●		—		0	0	—	0	—	—		
			専門的な知識、法令等の理解、特定行政庁等との調整	1.5	●		—	0	0	—	0	—	0	—		
業務目的の達成度 （創意工夫が必要な業務） ／28 （その他の業務） ／20		12	業務目的の達成度	8	記載の程度	4	●	●	0	0	0	0	0	0	0	
					成果物の内容	4	●	●	0	0	0	—	0	—	0	—
		8	課題への対応	4	物理的条件、社会的条件	2	●		0	0	0	—	0	—	0	—
					要望、コスト	2	●			0	0	—	0	—	0	—
調査職員評定点の計算	各分野得点			①		0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	各分野配点			②		8.1	7.83	3.915	1.33	3.915	0.9975	3.915	0.9975			
	総括調査員評定点、総合評定点、各分野評定点（65+35×①÷②）			③		65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0			
	調査職員得点（Σ①）			④		0										
	調査職員配点（Σ②）		31	（創意工夫が必要な業務）	⑤	31										
			23	（その他の業務）												
調査職員評定点（65+35×④÷⑤）			⑥		65.0											

評価項目		評価の視点				検査職員							
						各分野							
						建築			電気設備		機械設備		
						意匠 ③-1	構造 ③-2	積算 ③-3	電気設備 ③-4	積算 ③-5	機械設備 ③-6	積算 ③-7	
配点		配点				0.3	0.15	0.1	0.15	0.075	0.15	0.075	
業務目的の達成度 (創意工夫が必要な業務) (その他の業務)	16	業務目的の達成度	12	記載の程度	4	●	●	0	0	0	0	0	0
		成果物の内容		4	●	●	0	0	—	0	—	0	—
	12	資料等の整理、指示、協議 事項への対応		4	●	●	0	0	0	0	0	0	0
		課題への対応	4	物理的条件、社会的条件	2	●		0	0	—	0	—	0
	要望、コスト		2	●		0	0	—	0	—	0	—	
検査職員評定点の計算		各分野得点		⑦				0	0	0	0	0	0
		各分野配点		⑧				5.6	2.8	0.8	2.8	0.6	2.8
		各分野評定点 (65+35×⑦÷⑧)		⑨				65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0
		検査職員得点 (Σ⑦)		⑩		0							
		検査職員配点 (Σ⑧)	16	(創意工夫が必要な業務)	⑪		16						
			12	(その他の業務)									
		検査職員評定点 (65+35×⑩÷⑪)		⑫		65.0							

新採点表 得点配分

評価項目		評価の視点		創意工夫の 余地		総括調査員	主任調査員または調査員									
							各分野									
							建築			電気設備		機械設備				
							意匠	構造	積算	電気設備	積算	機械設備	積算			
配点		直接評価		配点		①	②-1	②-2	②-3	②-4	②-5	②-6	②-7			
		総括調査員評定点、主任調査員と各分野評定点の合計の比率					0.7									
		各分野比率					—	0.3	0.15	0.1	0.15	0.075	0.15	0.075		
業務の実施能力 (創意工夫が必要な業務) ／5 (その他の業務) ／5	5	業務実施体制	1	実施体制、自主管理	1	●	●	0.3	0.21	0.105	0.07	0.105	0.0525	0.105	0.0525	
		管理技術者の能力	2	業務の全体把握	0.5	●	●	0.6	0.105	0.0525	0.035	0.0525	0.02625	0.0525	0.02625	
	(業務全体に関する評価)		工程管理	0.5	●	●	0.105		0.0525	0.035	0.0525	0.02625	0.0525	0.02625		
			取組姿勢、責任感の強さ	0.5	●	●	0.105		0.0525	0.035	0.0525	0.02625	0.0525	0.02625		
			説明力（プレゼンテーション力）、協調性	0.5	●	●	0.105		0.0525	0.035	0.0525	0.02625	0.0525	0.02625		
	5						0.6	0.42	0.21	0.14	0.21	0.105	0.21	0.105		
		主任担当技術者の能力		2	他分野との調整	0.5	●	●	0.6	0.105	0.0525	0.035	0.0525	0.02625	0.0525	0.02625
		(担当分野に関する評価)		工程管理	0.5	●	●	0.105		0.0525	0.035	0.0525	0.02625	0.0525	0.02625	
				取組姿勢、責任感の強さ	0.5	●	●	0.105		0.0525	0.035	0.0525	0.02625	0.0525	0.02625	
				説明力（プレゼンテーション力）、協調性	0.5	●	●	0.105		0.0525	0.035	0.0525	0.02625	0.0525	0.02625	
業務の実施状況 (創意工夫が必要な業務) ／14 (その他の業務) ／10		14	業務履行中の説明資料	4	記載の程度	2	●	●	1.2	0.42	0.21	0.14	0.21	0.105	0.21	0.105
	(途中成果物)に関する評価		途中成果物の内容	2	●	●	0.42	0.21		0.14	0.21	0.105	0.21	0.105		
	調整及び説明、対応の迅速性		3	打合せ内容の理解、記録	1	●	●	0.6	0.21	0.105	0.07	0.105	0.0525	0.105	0.0525	
			指示、協議事項への対応	1	●	●	0.21		0.105	0.07	0.105	0.0525	0.105	0.0525		
	10			設計提案等の説明（プレゼンテーション力）	1	●	●	—	0.4	0.2	—	0.2	—	0.2	—	
		与条件の理解、業務への反映（設計提案）	7	与条件の理解、円滑な業務遂行、技術的検討	1.5	●	●	1.2	0.315	0.1575	0.105	0.1575	0.07875	0.1575	0.07875	
				仕様書、基準類の理解	1.5	●	●		0.315	0.1575	0.105	0.1575	0.07875	0.1575	0.07875	
				施工に関する一般的な知識	1	●	●		0.21	0.105	0.07	0.105	0.0525	0.105	0.0525	
				創意工夫、積極的な提案	1.5	●	●		0.6	0.3	—	0.3	—	0.3	—	
				専門的な知識、法令等の理解、特定行政庁等との調整	1.5	●	●		0.6	0.3	—	0.3	—	0.3	—	
業務目的の達成度 (創意工夫が必要な業務) ／28 (その他の業務) ／20		12	業務目的の達成度	8	記載の程度	4	●	●	1.2	0.84	0.42	0.28	0.42	0.21	0.42	0.21
			成果物の内容	4	●	●	1.2	1.12	0.56	—	0.56	—	0.56	—		
	4			課題への対応	4	物理的条件、社会的条件	2	●	1.2	0.56	0.28	—	0.28	—	0.28	—
				要望、コスト	2	●	●	0.56		0.28	—	0.28	—	0.28	—	
	8															
調査職員評定点の計算	各分野得点				①											
	各分野配点				②	8.1	7.83	3.915	1.33	3.915	0.9975	3.915	0.9975			
	総括調査員評定点、総合評定点、各分野評定点（65＋35×①÷②）				③											
	調査職員得点（Σ①）				④											
	調査職員配点（Σ②）				31	(創意工夫が必要な業務)		⑤	31							
					23	(その他の業務)										
調査職員評定点（65＋35×④÷⑤）				⑥												

評価項目		評価の視点				検査職員										
						各分野										
						建築			電気設備		機械設備					
						意匠 ③-1	構造 ③-2	積算 ③-3	電気設備 ③-4	積算 ③-5	機械設備 ③-6	積算 ③-7				
配点		配点				0.3	0.15	0.1	0.15	0.075	0.15	0.075				
	各分野比率															
業務目的の達成度 (創意工夫が必要な業務) (その他の業務)	16	業務目的の達成度	12	記載の程度	4	●	●	1.2	0.6	0.4	0.6	0.3	0.6	0.3		
				成果物の内容	4	●	●	1.6	0.8	—	0.8	—	0.8	—		
	12			資料等の整理、指示、協議 事項への対応	4	●	●	1.2	0.6	0.4	0.6	0.3	0.6	0.3		
		4		課題への対応	4	物理的条件、社会的条件	2	●	●	0.8	0.4	—	0.4	—	0.4	—
				要望、コスト	2	●	●	0.8	0.4	—	0.4	—	0.4	—		
検査職員評定点の計算	各分野得点		⑦													
	各分野配点		⑧				5.6	2.8	0.8	2.8	0.6	2.8	0.6			
	各分野評定点（6 5 + 3 5 × ⑦ ÷ ⑧）		⑨													
	検査職員得点（Σ ⑦）		⑩													
	検査職員配点（Σ ⑧）		16		(創意工夫が必要な業務)		⑪		16							
	12		(その他の業務)													
検査職員評定点（6 5 + 3 5 × ⑩ ÷ ⑪）				⑫												

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目				
			優	やや	普通	やや	劣						
			1.0	0.5	0	-0.5	-1.0						
業務実施能力	業務実施体制	実施体制 自主管理	0.3	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 契約図書に基づき、実施体制を含む業務計画書等が期限までに提出された ☐ 提出された実施体制は、業務を適切に遂行できるような構成及び人員配置となっていた ☒ 業務計画書等に示された実施体制により、業務が履行されていた ☐ 第三者(管理技術者、担当者以外)によるチェックを行うなど自主的な品質管理の努力がされていた			
	管理技術者の能力	管理技術者としての責務	0.6	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.75) =2⇒『やや劣』(得点率-0.5) =3⇒『やや劣』(得点率-0.25) =4⇒『普通』(得点率±0) =5⇒『やや優』(得点率0.25) =6⇒『やや優』(得点率0.5) =7⇒『やや優』(得点率0.75) =8⇒『優』(得点率1)					0	☒ 業務の目的、内容及び業務の実施状況を把握していた ☐ 業務の目的、内容及び業務の実施状況を踏まえ、適時に適切な業務実施の方針を提示した。 ☒ 業務全体について、必要な工程管理を行った ☐ 発注者が十分な時間的余裕を持って実施状況の確認を行えるような工程管理を行った ☒ 打合せ等に参加し、状況を把握しつつ業務を統轄した。 ☐ 打合せ時などで自ら発言・提案を行うなどして、積極的に配下の担当者を統率した。 ☒ 発注者に業務上必要な説明を行った ☐ 発注者が理解しやすいよう工夫して説明を行い、関係者と協調して成果をとりまとめた			
	主任担当技術者の能力	主任担当技術者の役割	0.6	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.75) =2⇒『やや劣』(得点率-0.5) =3⇒『やや劣』(得点率-0.25) =4⇒『普通』(得点率±0) =5⇒『やや優』(得点率0.25) =6⇒『やや優』(得点率0.5) =7⇒『やや優』(得点率0.75) =8⇒『優』(得点率1)					0	☒ 担当分野に関して、他の分野との調整を図った。 ☐ 担当分野に関して、他の分野との調整が適切に行われ、十分な成果が得られた ☒ 担当分野について、必要な工程管理を行った ☐ 発注者が十分な時間的余裕を持って実施状況の確認を行えるような工程管理を行った ☒ 打合せ等に参加し、状況を把握しつつ担当業務を行った ☐ 打合せ等などで自ら発言・提案を行うなどして、積極的に業務を行った。 ☒ 発注者に業務上必要な説明を行った ☐ 発注者が理解しやすいよう工夫して説明を行い、関係者と協調して成果をとりまとめた			
	小 計		1.5	0 / ±100					0				
業務の実施状況	業務履行中の説明資料 (途中成果物)に関する評価	業務履行中の説明資料 (途中成果物)に関する評価	1.2	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 途中成果物は、理解しうる表現で最低限の記載(書き込み)があった。 ☐ 途中成果物には十分な記載(書き込み)があり、理解しやすいように表現されていた。 ☒ 工程に影響を及ぼすような重大なミス(手戻り、差替え)は無く、業務目的に沿った内容であった ☐ ミスはほとんど無く、発注者の意図が十分反映された内容となっていた。			
	調整及び説明 対応の迅速性	調整及び説明 対応の迅速性	0.6	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 打合せの結果や、発注者からの指示・協議事項に関する対応がなされた ☐ 打合せの結果や、発注者からの指示・協議事項に関する対応が迅速に行われた。 ☒ 打合せの結果や、発注者からの指示・協議事項への対応は、発注者の意図に沿ったものであった ☐ 打合せの結果や、発注者からの指示・協議事項への対応は、発注者の意図に十分応えるものであった			
	与条件の理解 業務への反映 (設計提案)	与条件の理解 業務への反映 (設計提案)	1.2	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 与条件や必要な項目についての検討がなされた ☐ 検討の内容は、業務の目的や内容に沿ったもので、発注者の意図に応えるものであった ☒ 業務を行う上で必要となる基準や法令類や施工方法等に関する知識を有していた ☐ 上記の知識が、設計内容に十分反映されていた。			
	小 計		3	0 / ±100					0				
業務目的の達成度	業務目的の達成度	記載の程度	1.2	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 成果物には最低限の記載(書き込み)があった ☐ 成果物には十分な記載(書き込み)があった ☒ 成果物の内容が理解しうる表現であった ☐ 成果物は内容が理解しやすいよう表現が工夫されていた			
		成果物の内容	1.2	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 成果物の内容は、妥当なコストで、契約図書に示された所要性能を満たしていた ☐ 成果物の内容は、発注意図に照らして、運用コストを含めたコストの最適化や利用上の使い勝手に配慮されたものであった ☒ 成果物の内容は、安全対策、環境施策への対応に配慮されていた。 ☐ 成果物の内容に、安全対策、環境施策への対応が十分反映されていた。			
	課題への対応	物理的条件 社会的条件 要望 コスト	1.2	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☐ ※評価しない ☒ 設計と条件、要望等に対する解決策に創意工夫が見られた ☐ 採用された創意工夫は、発注意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった ☒ 工事費について、バランスのとれたコスト配分がなされていた ☐ 事業予算に対して、費用対効果の増大が図られた			
				得点率 0					0				
小 計			3.6	0 / ±100					0				
合 計			8.1	0 / ±100					0				
評 定 点			0 / 8.1 × 35 + 65 =					65					

※各評価細目は、2細目ずつの組合せとなっており、下段をチェックする場合は上段もチェックする必要がある。下段のみチェックしようとすると、ERRORが出る。

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			優	やや	普通	やや	劣		
			1.0	0.5	0	-0.5	-1.0		
業務実施能力	業務実施体制	0.21	評価細目チェック数 =0⇒「劣」(得点率-1) =1⇒「やや劣」(得点率-0.5) =2⇒「普通」(得点率±0) =3⇒「やや優」(得点率0.5) =4⇒「優」(得点率1)					0	☒ 業務履行当初において、各業務分担に業務を遂行するうえで必要最低限の人員配置がされていた ☐ 配置された人員は業務を効率的あるいは円滑に遂行出来る能力・人員数が確保されていた ☒ 業務計画書等に示された実施体制により、業務が履行されていた ☐ 第三者(管理技術者、担当者以外)によるチェックを行うなど自主的な品質管理の努力がされていた
	業務の全体把握	0.105	評価細目チェック数 =0⇒「劣」(得点率-1) =1⇒「やや劣」(得点率-0.5) =2⇒「普通」(得点率±0) =3⇒「やや優」(得点率0.5) =4⇒「優」(得点率1)					0	☒ 業務の目的及び内容を把握していた ☐ 業務の目的及び内容に沿った適切な方針を提示した ☒ 業務の実施状況を把握していた ☐ 業務の実施状況に応じて、適時に適切な方針を提示した
	工程管理	0.105	評価細目チェック数 =0⇒「劣」(得点率-1) =1⇒「やや劣」(得点率-0.5) =2⇒「普通」(得点率±0) =3⇒「やや優」(得点率0.5) =4⇒「優」(得点率1)					0	☒ 当初提出された業務工程表には、契約図書に示された業務内容が漏れなく記載されていた ☐ 当初提出された業務工程表の計画内容には妥当性があった ☒ 必要な工程管理を行った ☐ 発注者が十分な時間的余裕をもって実施状況の確認を行える工程管理を行った
	取組姿勢 責任感の強さ	0.105	評価細目チェック数 =0⇒「劣」(得点率-1) =1⇒「やや劣」(得点率-0.5) =2⇒「普通」(得点率±0) =3⇒「やや優」(得点率0.5) =4⇒「優」(得点率1)					0	☒ 打合せ等に参加した ☐ 打合せ時の発言や提案が積極的になされた ☒ 業務を統轄した ☐ 強い責任感を持って、主体的に業務を統轄した
	説明力 (プレゼンテーション力) 協調性	0.105	評価細目チェック数 =0⇒「劣」(得点率-1) =1⇒「やや劣」(得点率-0.5) =2⇒「普通」(得点率±0) =3⇒「やや優」(得点率0.5) =4⇒「優」(得点率1)					0	☒ 業務の実施方針等に対する説明がなされた ☐ 説明された実施方針等は、わかりやすく、適切な内容であった ☒ 発注者の意図を理解する姿勢が見られた ☐ 発注者の意図を理解し、関係者と協調して業務を履行した
	他分野との調整	0.105	評価細目チェック数 =0⇒「劣」(得点率-1) =1⇒「やや劣」(得点率-0.5) =2⇒「普通」(得点率±0) =3⇒「やや優」(得点率0.5) =4⇒「優」(得点率1)					0	☒ 担当分野に関して、他の分野との調整を図った ☐ 他の分野との調整はすみやかに行われた ☒ 他の分野との調整の結果、業務上の対応が図られた ☐ 他の分野との調整の結果、的確で十分な対応が図られた。
	工程管理	0.105	評価細目チェック数 =0⇒「劣」(得点率-1) =1⇒「やや劣」(得点率-0.5) =2⇒「普通」(得点率±0) =3⇒「やや優」(得点率0.5) =4⇒「優」(得点率1)					0	☒ 当初提出された業務工程表(分野別)には、契約図書に示された業務内容が漏れなく記載されていた ☐ 当初提出された業務工程表(分野別)の計画内容には妥当性があった ☒ 担当分野について必要な工程管理を行った ☐ 発注者が十分な時間的余裕をもって実施状況の確認を行える工程管理を行った
	取組姿勢 責任感の強さ	0.105	評価細目チェック数 =0⇒「劣」(得点率-1) =1⇒「やや劣」(得点率-0.5) =2⇒「普通」(得点率±0) =3⇒「やや優」(得点率0.5) =4⇒「優」(得点率1)					0	☒ 打合せ等に参加した ☐ 打合せ等において、発言や提案が積極的になされた ☒ 担当分野の成果物の取りまとめを行った ☐ 成果物の取りまとめについて、業務期間を通して、責任を持った一貫した対応がなされていた
	説明力 (プレゼンテーション力) 協調性	0.105	評価細目チェック数 =0⇒「劣」(得点率-1) =1⇒「やや劣」(得点率-0.5) =2⇒「普通」(得点率±0) =3⇒「やや優」(得点率0.5) =4⇒「優」(得点率1)					0	☒ 分野別の業務の実施方針等に対する説明がされた ☐ 説明された実施方針等は、わかりやすく、適切な内容であった ☒ 発注者の意図を理解する姿勢が見られた ☐ 発注者の意図を理解し、関係者と協調して業務を履行した
	小計	1.05	0 / ±100					0	
業務の実施状況	業務履行中の説明資料 (途中成果物)に関する評価	0.42	評価細目チェック数 =0⇒「劣」(得点率-1) =1⇒「やや劣」(得点率-0.5) =2⇒「普通」(得点率±0) =3⇒「やや優」(得点率0.5) =4⇒「優」(得点率1)					0	☒ 途中成果物には審査できる最低限の記載(書き込み)があった ☐ 途中成果物には十分な記載(書き込み)があった ☒ 途中成果物の内容が理解しうる表現であった ☐ 途中成果物は内容が理解しやすいよう表現が工夫されていた
	途中成果物の内容	0.42	評価細目チェック数 =0⇒「劣」(得点率-1) =1⇒「やや劣」(得点率-0.5) =2⇒「普通」(得点率±0) =3⇒「やや優」(得点率0.5) =4⇒「優」(得点率1)					0	☒ 工程に影響を及ぼすような重大なミス(手戻り、差替え)は無かった ☐ ミスは簡易に修正出来る軽微なもののみであった、又はほとんど無かった ☒ 途中成果物は概ね業務の目的、内容に沿ったものであった ☐ 途中成果物は発注者の意図が十分反映されていた
	打合せ内容の理解、記録	0.21	評価細目チェック数 =0⇒「劣」(得点率-1) =1⇒「やや劣」(得点率-0.5) =2⇒「普通」(得点率±0) =3⇒「やや優」(得点率0.5) =4⇒「優」(得点率1)					0	☒ 打合せごとに打合せ記録簿が作成された ☐ 打合せ記録簿は、迅速かつ的確に作成された ☒ 打合せ後に対応(追加資料送付、進行状況連絡等)が図られた ☐ 打合せ後の対応は、的確かつ十分に行われた
	指示、協議事項への対応	0.21	評価細目チェック数 =0⇒「劣」(得点率-1) =1⇒「やや劣」(得点率-0.5) =2⇒「普通」(得点率±0) =3⇒「やや優」(得点率0.5) =4⇒「優」(得点率1)					0	☒ 発注者からの指示・協議事項に対して、対応がなされた ☐ 発注者からの指示・協議事項に対して、対応は迅速に行われた ☒ 発注者からの指示・協議事項に関する対応の内容は、その意図に沿ったものであった ☐ 発注者からの指示・協議事項に関する対応の内容は、その意図に十分応えるものであった
	設計提案等の説明 (プレゼンテーション)	0.4	評価細目チェック数 =0⇒「劣」(得点率-1) =1⇒「やや劣」(得点率-0.5) =2⇒「普通」(得点率±0) =3⇒「やや優」(得点率0.5) =4⇒「優」(得点率1)					0	☒ 説明資料が準備されていた ☐ 説明資料は、代替案と比較した結果を示すなど、分かり易く適切な内容であった ☒ 提案の趣旨や内容が理解しうる説明であった ☐ 提案の趣旨や内容が、その妥当性を含めて容易に理解できる説明であった
									☐ ※評価しない

評価項目		評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
				優	やや	普通	やや	劣			
				1.0	0.5	0	-0.5	-1.0			
業務の実施状況	与条件の理解 業務への反映 (設計提案)	設計と条件の理解 円滑な業務執行 技術的検討	0.315	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 当初の与条件を含め、業務の各段階で必要な情報の収集が図られていた	
				得点率 0						☐ 与条件等の情報が理解・分析され、業務の履行に活かされていた	
		仕様書 基準類の理解	0.315	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 業務の各段階で必要な検討がなされていた	
				得点率 0						☐ 検討内容は、業務の目的、内容に沿った、発注者の意図に応えるものとなっていた	
		施工に関する 一般的な知識	0.21	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 工事標準仕様書や各種基準、基本法令等(以下、「標準仕様書等」という。)を概ね理解していた	
	得点率 0					☐ 発注者側の指導が必要ないほど、標準仕様書等を十分に理解していた					
	創意工夫 積極的な提案		0.6	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 実施方針や検討成果は、標準仕様書等に概ね沿った内容となっていた	
				得点率 0						☐ 実施方針や検討成果は、発注者の指導が必要ないほど標準仕様書等を踏まえた内容となっていた	
		専門的な知識、法令等の 理解 特定行政庁等との調整	0.6	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 施工方法、仮設計画等に関する一般的な知識を有していた	
				得点率 0						☐ 施工方法、仮設計画等の選択に、上記の知識が活かされていた	
得点率 0					☐ 材料、機器等に関する一般的な知識を有していた						
小 計		3.7	0 / ±100					0	☐ 材料、機器等の選択に、上記の知識が活かされていた		
									☐ ※評価しない		
業務目的の達成度	業務目的の達成度	記載の程度	0.84	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 発注者の求めに応じて、成果物のレベルを向上させるための提案を行った	
				得点率 0						☐ 成果物のレベルを向上させるための提案が積極的に行われた	
		成果物の内容	1.12	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 業務の目的、内容に沿った提案がなされた	
				得点率 0						☐ 提案内容が採用させることによって、成果物のレベルが著しく向上した	
	課題への対応	物理的条件 社会的条件	0.56	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☐ ※評価しない	
				得点率 0						☒ 設計提案等に必要となる専門的な知識や法令等を十分に理解していた	
		要望 コスト	0.56	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☐ 設計提案等に必要となる専門的な知識や法令等が、提案内容に十分活かされていた	
				得点率 0						☒ 特定行政庁等の関係者との調整を行った	
		小 計		3.08	0 / ±100					0	☐ 特定行政庁等の関係者との調整を円滑かつ適切に行った
		合 計		7.83	0 / 100					0	
評 定 点			0 / 7.83 × 35 + 65 =					65.0			

※各評価細目は、2細目ずつの組合せとなっており、下段をチェックする場合は上段もチェックする必要がある。下段のみチェックしようとすると、ERRORが出る。

評価項目		評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
				優	やや	普通	やや	劣		
				1.0	0.5	0	-0.5	-1.0		
業務実施能力	業務実施体制	実施体制 自主管理	0.105	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	☒ 業務履行当初において、各業務分担に業務を遂行するうえで必要最低限の人員配置がされていた ☐ 配置された人員は業務を効率的あるいは円滑に遂行出来る能力・人員数が確保されていた ☒ 業務計画書等に示された実施体制により、業務が履行されていた ☐ 第三者(管理技術者、担当者以外)によるチェックを行うなど自主的な品質管理の努力がされていた
	管理技術者の能力 (業務全体に関する評価)	業務の全体把握	0.0525	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	☒ 業務の目的及び内容を把握していた ☐ 業務の目的及び内容に沿った適切な方針を提示した ☒ 業務の実施状況を把握していた ☐ 業務の実施状況に応じて、適時に適切な方針を提示した
		工程管理	0.0525	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	☒ 当初提出された業務工程表には、契約図書に示された業務内容が漏れなく記載されていた ☐ 当初提出された業務工程表の計画内容には妥当性があった ☒ 必要な工程管理を行った ☐ 発注者が十分な時間的余裕をもって実施状況の確認を行える工程管理を行った
		取組姿勢 責任感の強さ	0.0525	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	☒ 打合せ等に参加した ☐ 打合せ時の発言や提案が積極的になされた ☒ 業務を統轄した ☐ 強い責任感を持って、主体的に業務を統轄した
		説明力 (プレゼンテーション力) 協調性	0.0525	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	☒ 業務の実施方針等に対する説明がなされた ☐ 説明された実施方針等は、わかりやすく、適切な内容であった ☒ 発注者の意図を理解する姿勢が見られた ☐ 発注者の意図を理解し、関係者と協調して業務を履行した
	主任担当技術者の能力 (担当分野に関する評価)	他分野との調整	0.0525	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	☒ 担当分野に関して、他の分野との調整を図った ☐ 他の分野との調整はすみやかに行われた ☒ 他の分野との調整の結果、業務上の対応が図られた ☐ 他の分野との調整の結果、的確で十分な対応が図られた。
		工程管理	0.0525	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	☒ 当初提出された業務工程表(分野別)には、契約図書に示された業務内容が漏れなく記載されていた ☐ 当初提出された業務工程表(分野別)の計画内容には妥当性があった ☒ 担当分野について必要な工程管理を行った ☐ 発注者が十分な時間的余裕をもって実施状況の確認を行える工程管理を行った
		取組姿勢 責任感の強さ	0.0525	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	☒ 打合せ等に参加した ☐ 打合せ等において、発言や提案が積極的になされた ☒ 担当分野の成果物の取りまとめを行った ☐ 成果物の取りまとめについて、業務期間を通して、責任を持った一貫した対応がなされていた
		説明力 (プレゼンテーション力) 協調性	0.0525	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	☒ 分野別の業務の実施方針等に対する説明がされた ☐ 説明された実施方針等は、わかりやすく、適切な内容であった ☒ 発注者の意図を理解する姿勢が見られた ☐ 発注者の意図を理解し、関係者と協調して業務を履行した
	小 計		0.525	0 〃 ±100					0	
業務の実施状況	業務履行中の説明資料 (途中成果物)に関する 評価	記載の程度	0.21	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	☒ 途中成果物には審査できる最低限の記載(書き込み)があった ☐ 途中成果物には十分な記載(書き込み)があった ☒ 途中成果物の内容が理解しうる表現であった ☐ 途中成果物は内容が理解しやすいよう表現が工夫されていた
		途中成果物の内容	0.21	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	☒ 工程に影響を及ぼすような重大なミス(手戻り、差替え)は無かった ☐ ミスは簡易に修正出来る軽微なもののみであった、又はほとんど無かった ☒ 途中成果物は概ね業務の目的、内容に沿ったものであった ☐ 途中成果物は発注者の意図が十分反映されていた
	調整及び説明 対応の迅速性	打合せ内容の理解、記録	0.105	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	☒ 打合せごとに打合せ記録簿が作成された ☐ 打合せ記録簿は、迅速かつ的確に作成された ☒ 打合せ後に対応(追加資料送付、進行状況連絡等)が図られた ☐ 打合せ後の対応は、的確かつ十分に行われた
		指示、協議事項への対応	0.105	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	☒ 発注者からの指示・協議事項に対して、対応がなされた ☐ 発注者からの指示・協議事項に対して、対応は迅速に行われた ☒ 発注者からの指示・協議事項に関する対応の内容は、その意図に沿ったものであった ☐ 発注者からの指示・協議事項に関する対応の内容は、その意図に十分応えるものであった
		設計提案等の説明 (プレゼンテーション)	0.2	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	☐ ※評価しない ☒ 説明資料が準備されていた ☐ 説明資料は、代替案と比較した結果を示すなど、分かり易く適切な内容であった ☒ 提案の趣旨や内容が理解しうる説明であった ☐ 提案の趣旨や内容が、その妥当性を含めて容易に理解できる説明であった

採点表 ②-2主任調査員又は調査員用(各分野)〔構造〕

評価項目		評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
				優	やや	普通	やや	劣		
				1.0	0.5	0	-0.5	-1.0		
業務の実施状況	与条件の理解 業務への反映 (設計提案)	設計と条件の理解 円滑な業務執行 技術的検討	0.1575	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 当初の与条件を含め、業務の各段階で必要な情報の収集が図られていた
										☐ 与条件等の情報が理解・分析され、業務の履行に活かされていた
							☒ 業務の各段階で必要な検討がなされていた			
							☐ 検討内容は、業務の目的、内容に沿った、発注者の意図に応えるものとなっていた			
		仕様書 基準類の理解	0.1575	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 工事標準仕様書や各種基準、基本法令等(以下、「標準仕様書等」という。)を概ね理解していた
										☐ 発注者側の指導が必要ないほど、標準仕様書等を十分に理解していた
							☒ 実施方針や検討成果は、標準仕様書等に概ね沿った内容となっていた			
							☐ 実施方針や検討成果は、発注者の指導が必要ないほど標準仕様書等を踏まえた内容となっていた			
		施工に関する 一般的な知識	0.105	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 施工方法、仮設計画等に関する一般的な知識を有していた
										☐ 施工方法、仮設計画等の選択に、上記の知識が活かされていた
							☒ 材料、機器等に関する一般的な知識を有していた			
					☐ 材料、機器等の選択に、上記の知識が活かされていた					
							☐ ※評価しない			
創意工夫 積極的な提案	0.3	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 発注者の求めに応じて、成果物のレベルを向上させるための提案を行った		
								☐ 成果物のレベルを向上させるための提案が積極的に行われた		
					☒ 業務の目的、内容に沿った提案がなされた					
					☐ 提案内容が採用させることによって、成果物のレベルが著しく向上した					
							☐ ※評価しない			
専門的な知識、法令等の 理解 特定行政庁等との調整	0.3	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 設計提案等に必要となる専門的な知識や法令等を十分に理解していた		
								☐ 設計提案等に必要となる専門的な知識や法令等が、提案内容に十分活かされていた		
					☒ 特定行政庁等の関係者との調整を行った					
					☐ 特定行政庁等の関係者との調整を円滑かつ適切に行った					
小 計			1.85	0 / ±100					0	
業務目的の達成度	業務目的の達成度	記載の程度	0.42	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 成果物には審査できる最低限の記載(書き込み)があった
										☐ 成果物には十分な記載(書き込み)があった
							☒ 成果物の内容が理解しうる表現であった			
							☐ 成果物は内容が理解しやすいよう表現が工夫されていた			
		成果物の内容	0.56	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 成果物の内容は、妥当なコストで、契約図書に示された所要性能を満たしていた
						☐ 成果物の内容は、発注意図に照らして、運用コストを含めたコストの最適化や利用上の使い勝手に配慮されたものであった				
						☒ 成果物の内容は、安全対策、環境施策への対応に配慮されていた。				
						☐ 成果物の内容に、安全対策、環境施策への対応が十分反映されていた。				
								☐ ※評価しない		
	課題への対応	物理的条件 社会的条件	0.28	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 敷地条件等の物理的な与条件・制約条件に対する解決策に創意工夫が見られた
					☐ 採用された創意工夫は、発注意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった					
					☒ 敷地周辺への配慮、UDへの対応等の社会的与条件・制約条件に対する解決策に創意工夫が見られた					
					☐ 採用された創意工夫は、発注意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった					
要望 コスト	0.28	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 利用者の要望に対する解決策に創意工夫が見られた		
								☐ 採用された創意工夫は、発注意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった		
					☒ 工事費について、バランスのとれたコスト配分がなされていた					
					☐ 事業予算に対して、費用対効果の増大が図られた					
小 計			1.54	0 / ±100					0	
合 計			3.915	0 / ±100					0	
評 定 点				0 / 3.915 × 35 + 65 =					65.0	

※各評価細目は、2細目ずつの組合せとなっており、下段をチェックする場合は上段もチェックする必要がある。下段のみチェックしようとすると、ERRORが出る。

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			優	やや	普通	やや	劣		
			1.0	0.5	0	-0.5	-1.0		
業務実施能力	業務実施体制	実施体制 自主管理	0.07	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)	0	0	0	0	☒ 業務履行当初において、各業務分担に業務を遂行するうえで必要最低限の人員配置がされていた ☐ 配置された人員は業務を効率的あるいは円滑に遂行出来る能力・人員数が確保されていた ☒ 業務計画書等に示された実施体制により、業務が履行されていた ☐ 第三者(管理技術者、担当者以外)によるチェックを行うなど自主的な品質管理の努力がされていた
	管理技術者の能力 (業務全体に関する評価)	業務の全体把握	0.035	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)	0	0	0	0	☒ 業務の目的及び内容を把握していた ☐ 業務の目的及び内容に沿った適切な方針を提示した ☒ 業務の実施状況を把握していた ☐ 業務の実施状況に応じて、適時に適切な方針を提示した
		工程管理	0.035	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)	0	0	0	0	☒ 当初提出された業務工程表には、契約図書に示された業務内容が漏れなく記載されていた ☐ 当初提出された業務工程表の計画内容には妥当性があった ☒ 必要な工程管理を行った ☐ 発注者が十分な時間的余裕をもって実施状況の確認を行える工程管理を行った
		取組姿勢 責任感の強さ	0.035	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)	0	0	0	0	☒ 打合せ等に参加した ☐ 打合せ時の発言や提案が積極的になされた ☒ 業務を統轄した ☐ 強い責任感を持って、主体的に業務を統轄した
		説明力 (プレゼンテーション力) 協調性	0.035	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)	0	0	0	0	☒ 業務の実施方針等に対する説明がなされた ☐ 説明された実施方針等は、わかりやすく、適切な内容であった ☒ 発注者の意図を理解する姿勢が見られた ☐ 発注者の意図を理解し、関係者と協調して業務を履行した
		他分野との調整	0.035	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)	0	0	0	0	☒ 担当分野に関して、他の分野との調整を図った ☐ 他の分野との調整はすみやかに行われた ☒ 他の分野との調整の結果、業務上の対応が図られた ☐ 他の分野との調整の結果、的確で十分な対応が図られた。
	主任担当技術者の能力 (担当分野に関する評価)	工程管理	0.035	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)	0	0	0	0	☒ 当初提出された業務工程表(分野別)には、契約図書に示された業務内容が漏れなく記載されていた ☐ 当初提出された業務工程表(分野別)の計画内容には妥当性があった ☒ 担当分野について必要な工程管理を行った ☐ 発注者が十分な時間的余裕をもって実施状況の確認を行える工程管理を行った
		取組姿勢 責任感の強さ	0.035	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)	0	0	0	0	☒ 打合せ等に参加した ☐ 打合せ等において、発言や提案が積極的になされた ☒ 担当分野の成果物の取りまとめを行った ☐ 成果物の取りまとめについて、業務期間を通して、責任を持った一貫した対応がなされていた
		説明力 (プレゼンテーション力) 協調性	0.035	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)	0	0	0	0	☒ 分野別の業務の実施方針等に対する説明がされた ☐ 説明された実施方針等は、わかりやすく、適切な内容であった ☒ 発注者の意図を理解する姿勢が見られた ☐ 発注者の意図を理解し、関係者と協調して業務を履行した
		小計	0.35	0	／	±100	0	0	
業務の実施状況	業務履行中の説明資料 (途中成果物)に関する評価	記載の程度	0.14	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)	0	0	0	0	☒ 途中成果物には審査できる最低限の記載(書き込み)があった ☐ 途中成果物には十分な記載(書き込み)があった ☒ 途中成果物の内容が理解しうる表現であった ☐ 途中成果物は内容が理解しやすいよう表現が工夫されていた
		途中成果物の内容	0.14	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)	0	0	0	0	☒ 工程に影響を及ぼすような重大なミス(手戻り、差替え)は無かった ☐ ミスは簡易に修正出来る軽微なもののみであった、又はほとんど無かった ☒ 途中成果物は概ね業務の目的、内容に沿ったものであった ☐ 途中成果物は発注者の意図が十分反映されていた
	調整及び説明 対応の迅速性	打合せ内容の理解、記録	0.07	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)	0	0	0	0	☒ 打合せごとに打合せ記録簿が作成された ☐ 打合せ記録簿は、迅速かつ的確に作成された ☒ 打合せ後に対応(追加資料送付、進行状況連絡等)が図られた ☐ 打合せ後の対応は、的確かつ十分に行われた
		指示、協議事項への対応	0.07	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)	0	0	0	0	☒ 発注者からの指示・協議事項に対して、対応がなされた ☐ 発注者からの指示・協議事項に対して、対応は迅速に行われた ☒ 発注者からの指示・協議事項に関する対応の内容は、その意図に沿ったものであった ☐ 発注者からの指示・協議事項に関する対応の内容は、その意図に十分応えるものであった
		小計	0.35	0	／	±100	0	0	
		小計	0.35	0	／	±100	0	0	

採点表 ②-3主任調査員又は調査員用(各分野)〔建築積算〕

評価項目		評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
				優	やや	普通	やや	劣		
				1.0	0.5	0	-0.5	-1.0		
業務の実施状況	与条件の理解 業務への反映	設計と条件の理解 円滑な業務執行 技術的検討	0.105	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 当初の与条件を含め、業務の各段階で必要な情報の収集が図られていた
										☐ 与条件等の情報が理解・分析され、業務の履行に活かされていた
							☒ 業務の各段階で必要な検討がなされていた			
							☐ 検討内容は、業務の目的、内容に沿った、発注者の意図に応えるものとなっていた			
		仕様書 基準類の理解	0.105	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 工事標準仕様書や各種基準、基本法令等(以下、「標準仕様書等」という。)を概ね理解していた
					☐ 発注者側の指導が必要ないほど、標準仕様書等を十分に理解していた					
					☒ 実施方針や検討成果は、標準仕様書等に概ね沿った内容となっていた					
					☐ 実施方針や検討成果は、発注者の指導が必要ないほど標準仕様書等を踏まえた内容となっていた					
施工に関する 一般的な知識	0.07	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 施工方法、仮設計画等に関する一般的な知識を有していた		
								☐ 施工方法、仮設計画等の選択に、上記の知識が活かされていた		
					☒ 材料、機器等に関する一般的な知識を有していた					
					☐ 材料、機器等の選択に、上記の知識が活かされていた					
小 計			0.7	0 / ±100					0	
業務目的の達成度	業務目的の達成度	記載の程度	0.28	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 成果物には審査できる最低限の記載(書き込み)があった
										☐ 成果物には十分な記載(書き込み)があった
										☒ 成果物の内容が理解しうる表現であった
							☐ 成果物は内容が理解しやすいよう表現が工夫されていた			
小 計			0.28	0 / ±100					0	
合 計			1.33	0 / ±100					0	
評 定 点				0 / 1.33 × 35 + 65 =					65.0	

※各評価細目は、2細目ずつの組合せとなっており、下段をチェックする場合は上段もチェックする必要がある。下段のみチェックしようとすると、ERRORが出る。

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			優	やや	普通	やや	劣		
			1.0	0.5	0	-0.5	-1.0		
業務実施能力	業務実施体制	実施体制 自主管理	0.105	評価細目チェック数 =0⇒「劣」(得点率-1) =1⇒「やや劣」(得点率-0.5) =2⇒「普通」(得点率±0) =3⇒「やや優」(得点率0.5) =4⇒「優」(得点率1)	0	0	0	0	☒ 業務履行当初において、各業務分担に業務を遂行するうえで必要最低限の人員配置がされていた ☐ 配置された人員は業務を効率的あるいは円滑に遂行出来る能力・人員数が確保されていた ☒ 業務計画書等に示された実施体制により、業務が履行されていた ☐ 第三者(管理技術者、担当者以外)によるチェックを行うなど自主的な品質管理の努力がされていた
	管理技術者の能力 (業務全体に関する評価)	業務の全体把握	0.0525	評価細目チェック数 =0⇒「劣」(得点率-1) =1⇒「やや劣」(得点率-0.5) =2⇒「普通」(得点率±0) =3⇒「やや優」(得点率0.5) =4⇒「優」(得点率1)	0	0	0	0	☒ 業務の目的及び内容を把握していた ☐ 業務の目的及び内容に沿った適切な方針を提示した ☒ 業務の実施状況を把握していた ☐ 業務の実施状況に応じて、適時に適切な方針を提示した
		工程管理	0.0525	評価細目チェック数 =0⇒「劣」(得点率-1) =1⇒「やや劣」(得点率-0.5) =2⇒「普通」(得点率±0) =3⇒「やや優」(得点率0.5) =4⇒「優」(得点率1)	0	0	0	0	☒ 当初提出された業務工程表には、契約図書に示された業務内容が漏れなく記載されていた ☐ 当初提出された業務工程表の計画内容には妥当性があった ☒ 必要な工程管理を行った ☐ 発注者が十分な時間的余裕をもって実施状況の確認を行える工程管理を行った
		取組姿勢 責任感の強さ	0.0525	評価細目チェック数 =0⇒「劣」(得点率-1) =1⇒「やや劣」(得点率-0.5) =2⇒「普通」(得点率±0) =3⇒「やや優」(得点率0.5) =4⇒「優」(得点率1)	0	0	0	0	☒ 打合せ等に参加した ☐ 打合せ時の発言や提案が積極的になされた ☒ 業務を統轄した ☐ 強い責任感を持って、主体的に業務を統轄した
		説明力 (プレゼンテーション力) 協調性	0.0525	評価細目チェック数 =0⇒「劣」(得点率-1) =1⇒「やや劣」(得点率-0.5) =2⇒「普通」(得点率±0) =3⇒「やや優」(得点率0.5) =4⇒「優」(得点率1)	0	0	0	0	☒ 業務の実施方針等に対する説明がなされた ☐ 説明された実施方針等は、わかりやすく、適切な内容であった ☒ 発注者の意図を理解する姿勢が見られた ☐ 発注者の意図を理解し、関係者と協調して業務を履行した
		他分野との調整	0.0525	評価細目チェック数 =0⇒「劣」(得点率-1) =1⇒「やや劣」(得点率-0.5) =2⇒「普通」(得点率±0) =3⇒「やや優」(得点率0.5) =4⇒「優」(得点率1)	0	0	0	0	☒ 担当分野に関して、他の分野との調整を図った ☐ 他の分野との調整はすみやかに行われた ☒ 他の分野との調整の結果、業務上の対応が図られた ☐ 他の分野との調整の結果、的確で十分な対応が図られた。
	主任担当技術者の能力 (担当分野に関する評価)	工程管理	0.0525	評価細目チェック数 =0⇒「劣」(得点率-1) =1⇒「やや劣」(得点率-0.5) =2⇒「普通」(得点率±0) =3⇒「やや優」(得点率0.5) =4⇒「優」(得点率1)	0	0	0	0	☒ 当初提出された業務工程表(分野別)には、契約図書に示された業務内容が漏れなく記載されていた ☐ 当初提出された業務工程表(分野別)の計画内容には妥当性があった ☒ 担当分野について必要な工程管理を行った ☐ 発注者が十分な時間的余裕をもって実施状況の確認を行える工程管理を行った
		取組姿勢 責任感の強さ	0.0525	評価細目チェック数 =0⇒「劣」(得点率-1) =1⇒「やや劣」(得点率-0.5) =2⇒「普通」(得点率±0) =3⇒「やや優」(得点率0.5) =4⇒「優」(得点率1)	0	0	0	0	☒ 打合せ等に参加した ☐ 打合せ等において、発言や提案が積極的になされた ☒ 担当分野の成果物の取りまとめを行った ☐ 成果物の取りまとめについて、業務期間を通して、責任を持った一貫した対応がなされていた
		説明力 (プレゼンテーション力) 協調性	0.0525	評価細目チェック数 =0⇒「劣」(得点率-1) =1⇒「やや劣」(得点率-0.5) =2⇒「普通」(得点率±0) =3⇒「やや優」(得点率0.5) =4⇒「優」(得点率1)	0	0	0	0	☒ 分野別の業務の実施方針等に対する説明がされた ☐ 説明された実施方針等は、わかりやすく、適切な内容であった ☒ 発注者の意図を理解する姿勢が見られた ☐ 発注者の意図を理解し、関係者と協調して業務を履行した
		小計	0.525	0	／	±100	0	0	
業務の実施状況	業務履行中の説明資料 (途中成果物)に関する評価	記載の程度	0.21	評価細目チェック数 =0⇒「劣」(得点率-1) =1⇒「やや劣」(得点率-0.5) =2⇒「普通」(得点率±0) =3⇒「やや優」(得点率0.5) =4⇒「優」(得点率1)	0	0	0	0	☒ 途中成果物には審査できる最低限の記載(書き込み)があった ☐ 途中成果物には十分な記載(書き込み)があった ☒ 途中成果物の内容が理解しうる表現であった ☐ 途中成果物は内容が理解しやすいよう表現が工夫されていた
		途中成果物の内容	0.21	評価細目チェック数 =0⇒「劣」(得点率-1) =1⇒「やや劣」(得点率-0.5) =2⇒「普通」(得点率±0) =3⇒「やや優」(得点率0.5) =4⇒「優」(得点率1)	0	0	0	0	☒ 工程に影響を及ぼすような重大なミス(手戻り、差替え)はなかった ☐ ミスは簡易に修正出来る軽微なもののみであった、又はほとんどなかった ☒ 途中成果物は概ね業務の目的、内容に沿ったものであった ☐ 途中成果物は発注者の意図が十分反映されていた
	調整及び説明 対応の迅速性	打合せ内容の理解、記録	0.105	評価細目チェック数 =0⇒「劣」(得点率-1) =1⇒「やや劣」(得点率-0.5) =2⇒「普通」(得点率±0) =3⇒「やや優」(得点率0.5) =4⇒「優」(得点率1)	0	0	0	0	☒ 打合せごとに打合せ記録簿が作成された ☐ 打合せ記録簿は、迅速かつ的確に作成された ☒ 打合せ後に対応(追加資料送付、進行状況連絡等)が図られた ☐ 打合せ後の対応は、的確かつ十分に行われた
		指示、協議事項への対応	0.105	評価細目チェック数 =0⇒「劣」(得点率-1) =1⇒「やや劣」(得点率-0.5) =2⇒「普通」(得点率±0) =3⇒「やや優」(得点率0.5) =4⇒「優」(得点率1)	0	0	0	0	☒ 発注者からの指示・協議事項に対して、対応がなされた ☐ 発注者からの指示・協議事項に対して、対応は迅速に行われた ☒ 発注者からの指示・協議事項に関する対応の内容は、その意図に沿ったものであった ☐ 発注者からの指示・協議事項に関する対応の内容は、その意図に十分応えるものであった
		設計提案等の説明 (プレゼンテーション)	0.2	評価細目チェック数 =0⇒「劣」(得点率-1) =1⇒「やや劣」(得点率-0.5) =2⇒「普通」(得点率±0) =3⇒「やや優」(得点率0.5) =4⇒「優」(得点率1)	0	0	0	0	☒ ※評価しない
				評価細目チェック数 =0⇒「劣」(得点率-1) =1⇒「やや劣」(得点率-0.5) =2⇒「普通」(得点率±0) =3⇒「やや優」(得点率0.5) =4⇒「優」(得点率1)	0	0	0	0	☒ 説明資料が準備されていた ☐ 説明資料は、代替案と比較した結果を示すなど、分かり易く適切な内容であった ☒ 提案の趣旨や内容が理解しうる説明であった ☐ 提案の趣旨や内容が、その妥当性を含めて容易に理解できる説明であった

評価項目		評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
				優	やや	普通	やや	劣		
				1.0	0.5	0	-0.5	-1.0		
業務の実施状況	与条件の理解 業務への反映 (設計提案)	設計と条件の理解 円滑な業務執行 技術的検討	0.1575	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 当初の与条件を含め、業務の各段階で必要な情報の収集が図られていた
				得点率 0						☐ 与条件等の情報が理解・分析され、業務の履行に活かされていた
		仕様書 基準類の理解	0.1575	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 業務の各段階で必要な検討がなされていた
				得点率 0						☐ 検討内容は、業務の目的、内容に沿った、発注者の意図に応えるものとなっていた
		施工に関する 一般的な知識	0.105	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 工事標準仕様書や各種基準、基本法令等(以下、「標準仕様書等」という。)を概ね理解していた
				得点率 0						☐ 発注者側の指導が必要ないほど、標準仕様書等を十分に理解していた
										☒ 実施方針や検討成果は、標準仕様書等に概ね沿った内容となっていた
										☐ 実施方針や検討成果は、発注者の指導が必要ないほど標準仕様書等を踏まえた内容となっていた
									0	☒ 施工方法、仮設計画等に関する一般的な知識を有していた
										☐ 施工方法、仮設計画等の選択に、上記の知識が活かされていた
								☒ 材料、機器等に関する一般的な知識を有していた		
								☐ 材料、機器等の選択に、上記の知識が活かされていた		
								☐ ※評価しない		
	創意工夫 積極的な提案	0.3	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 発注者の求めに応じて、成果物のレベルを向上させるための提案を行った	
			得点率 0						☐ 成果物のレベルを向上させるための提案が積極的に行われた	
										☒ 業務の目的、内容に沿った提案がなされた
										☐ 提案内容が採用させることによって、成果物のレベルが著しく向上した
								☐ ※評価しない		
	専門的な知識、法令等の 理解 特定行政庁等との調整	0.3	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 設計提案等に必要となる専門的な知識や法令等を十分に理解していた	
			得点率 0						☐ 設計提案等に必要となる専門的な知識や法令等が、提案内容に十分活かされていた	
										☒ 特定行政庁等の関係者との調整を行った
										☐ 特定行政庁等の関係者との調整を円滑かつ適切に行った
小 計		1.85	0 / ±100					0		
業務目的の達成度	業務目的の達成度	記載の程度	0.42	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 成果物には審査できる最低限の記載(書き込み)があった
				得点率 0						☐ 成果物には十分な記載(書き込み)があった
		成果物の内容	0.56	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 成果物の内容が理解しうる表現であった
				得点率 0						☐ 成果物は内容が理解しやすいよう表現が工夫されていた
									☐ ※評価しない	
	課題への対応	物理的条件 社会的条件	0.28	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 成果物の内容は、妥当なコストで、契約図書に示された所要性能を満たしていた
				得点率 0						☐ 成果物の内容は、発注意図に照らして、運用コストを含めたコストの最適化や利用上の使い勝手に配慮されたものであった
		要望 コスト	0.28	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 成果物の内容は、安全対策、環境施策への対応に配慮されていた
				得点率 0						☐ 成果物の内容に、安全対策、環境施策への対応が十分反映されていた
									☐ ※評価しない	
小 計		1.54	0 / ±100					0		
合 計		3.915	0 / ±100					0		
評 定 点			0 / 3.915 × 35 + 65 =					65.0		

※各評価細目は、2細目ずつの組合せとなっており、下段をチェックする場合は上段もチェックする必要がある。下段のみチェックしようとすると、ERRORが出る。

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			優	やや	普通	やや	劣		
			1.0	0.5	0	-0.5	-1.0		
業務実施能力	業務実施体制	実施体制 自主管理	0.0525	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)	0	0	0	0	☒ 業務履行当初において、各業務分担に業務を遂行するうえで必要最低限の人員配置がされていた ☐ 配置された人員は業務を効率的あるいは円滑に遂行出来る能力・人員数が確保されていた ☒ 業務計画書等に示された実施体制により、業務が履行されていた ☐ 第三者(管理技術者、担当者以外)によるチェックを行うなど自主的な品質管理の努力がされていた
	管理技術者の能力 (業務全体に関する評価)	業務の全体把握	0.0263	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)	0	0	0	0	☒ 業務の目的及び内容を把握していた ☐ 業務の目的及び内容に沿った適切な方針を提示した ☒ 業務の実施状況を把握していた ☐ 業務の実施状況に応じて、適時に適切な方針を提示した
		工程管理	0.0263	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)	0	0	0	0	☒ 当初提出された業務工程表には、契約図書に示された業務内容が漏れなく記載されていた ☐ 当初提出された業務工程表の計画内容には妥当性があった ☒ 必要な工程管理を行った ☐ 発注者が十分な時間的余裕をもって実施状況の確認を行える工程管理を行った
		取組姿勢 責任感の強さ	0.0263	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)	0	0	0	0	☒ 打合せ等に参加した ☐ 打合せ時の発言や提案が積極的になされた ☒ 業務を統轄した ☐ 強い責任感を持って、主体的に業務を統轄した
		説明力 (プレゼンテーション力) 協調性	0.0263	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)	0	0	0	0	☒ 業務の実施方針等に対する説明がなされた ☐ 説明された実施方針等は、わかりやすく、適切な内容であった ☒ 発注者の意図を理解する姿勢が見られた ☐ 発注者の意図を理解し、関係者と協調して業務を履行した
		他分野との調整	0.0263	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)	0	0	0	0	☒ 担当分野に関して、他の分野との調整を図った ☐ 他の分野との調整はすみやかに行われた ☒ 他の分野との調整の結果、業務上の対応が図られた ☐ 他の分野との調整の結果、的確で十分な対応が図られた
	主任担当技術者の能力 (担当分野に関する評価)	工程管理	0.0263	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)	0	0	0	0	☒ 当初提出された業務工程表(分野別)には、契約図書に示された業務内容が漏れなく記載されていた ☐ 当初提出された業務工程表(分野別)の計画内容には妥当性があった ☒ 担当分野について必要な工程管理を行った ☐ 発注者が十分な時間的余裕をもって実施状況の確認を行える工程管理を行った
		取組姿勢 責任感の強さ	0.0263	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)	0	0	0	0	☒ 打合せ等に参加した ☐ 打合せ等において、発言や提案が積極的になされた ☒ 担当分野の成果物の取りまとめを行った ☐ 成果物の取りまとめについて、業務期間を通して、責任を持った一貫した対応がなされていた
		説明力 (プレゼンテーション力) 協調性	0.0263	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)	0	0	0	0	☒ 分野別の業務の実施方針等に対する説明がされた ☐ 説明された実施方針等は、わかりやすく、適切な内容であった ☒ 発注者の意図を理解する姿勢が見られた ☐ 発注者の意図を理解し、関係者と協調して業務を履行した
		小計	0.2625	0	／	±100	0	0	
業務の実施状況	業務履行中の説明資料 (途中成果物)に関する評価	記載の程度	0.105	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)	0	0	0	0	☒ 途中成果物には審査できる最低限の記載(書き込み)があった ☐ 途中成果物には十分な記載(書き込み)があった ☒ 途中成果物の内容が理解しうる表現であった ☐ 途中成果物は内容が理解しやすいよう表現が工夫されていた
		途中成果物の内容	0.105	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)	0	0	0	0	☒ 工程に影響を及ぼすような重大なミス(手戻り、差替え)は無かった ☐ ミスは簡易に修正出来る軽微なもののみであった、又はほとんど無かった ☒ 途中成果物は概ね業務の目的、内容に沿ったものであった ☐ 途中成果物は発注者の意図が十分反映されていた
	調整及び説明 対応の迅速性	打合せ内容の理解、記録	0.0525	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)	0	0	0	0	☒ 打合せごとに打合せ記録簿が作成された ☐ 打合せ記録簿は、迅速かつ的確に作成された ☒ 打合せ後に対応(追加資料送付、進行状況連絡等)が図られた ☐ 打合せ後の対応は、的確かつ十分に行われた
		指示、協議事項への対応	0.0525	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)	0	0	0	0	☒ 発注者からの指示・協議事項に対して、対応がなされた ☐ 発注者からの指示・協議事項に対して、対応は迅速に行われた ☒ 発注者からの指示・協議事項に関する対応の内容は、その意図に沿ったものであった ☐ 発注者からの指示・協議事項に関する対応の内容は、その意図に十分応えるものであった
		小計	0.2625	0	／	±100	0	0	
		小計	0.2625	0	／	±100	0	0	

評価項目		評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
				優	やや	普通	やや	劣			
				1.0	0.5	0	-0.5	-1.0			
業務の実施状況	与条件の理解 業務への反映	設計と条件の理解 円滑な業務執行 技術的検討	0.0788	評価細目チェック数 =0⇒「劣」(得点率-1) =1⇒「やや劣」(得点率-0.5) =2⇒「普通」(得点率±0) =3⇒「やや優」(得点率0.5) =4⇒「優」(得点率1)					0	☒ 当初の与条件を含め、業務の各段階で必要な情報の収集が図られていた	
				得点率 0						☐ 与条件等の情報が理解・分析され、業務の履行に活かされていた	
		仕様書 基準類の理解	0.0788	評価細目チェック数 =0⇒「劣」(得点率-1) =1⇒「やや劣」(得点率-0.5) =2⇒「普通」(得点率±0) =3⇒「やや優」(得点率0.5) =4⇒「優」(得点率1)					0	☒ 業務の各段階で必要な検討がなされていた	
				得点率 0						☐ 検討内容は、業務の目的、内容に沿った、発注者の意図に応えるものとなっていた	
		施工に関する 一般的な知識	0.0525	評価細目チェック数 =0⇒「劣」(得点率-1) =1⇒「やや劣」(得点率-0.5) =2⇒「普通」(得点率±0) =3⇒「やや優」(得点率0.5) =4⇒「優」(得点率1)					0	☒ 工事標準仕様書や各種基準、基本法令等(以下、「標準仕様書等」という。)を概ね理解していた	
				得点率 0						☐ 発注者側の指導が必要ないほど、標準仕様書等を十分に理解していた	
小 計		0.525	0 / ±100					0	☒ 実施方針や検討成果は、標準仕様書等に概ね沿った内容となっていた		
									☐ 実施方針や検討成果は、発注者の指導が必要ないほど標準仕様書等を踏まえた内容となっていた		
業務目的の達成度	業務目的の達成度	記載の程度	0.21	評価細目チェック数 =0⇒「劣」(得点率-1) =1⇒「やや劣」(得点率-0.5) =2⇒「普通」(得点率±0) =3⇒「やや優」(得点率0.5) =4⇒「優」(得点率1)					0	☒ 施工方法、仮設計画等に関する一般的な知識を有していた	
				得点率 0						☐ 施工方法、仮設計画等の選択に、上記の知識が活かされていた	
		小 計		0.21	0 / ±100					0	☒ 材料、機器等に関する一般的な知識を有していた
											☐ 材料、機器等の選択に、上記の知識が活かされていた
合 計		0.9975	0 / ±100					0			
評 定 点			0 / 0.9975 × 35 + 65 =					65.0			

※各評価細目は、2細目ずつの組合せとなっており、下段をチェックする場合は上段もチェックする必要がある。下段のみチェックしようとすると、ERRORが出る。

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			優	やや	普通	やや	劣		
			1.0	0.5	0	-0.5	-1.0		
業務実施能力	業務実施体制	実施体制 自主管理	0.105	評価細目チェック数 =0⇒「劣」(得点率-1) =1⇒「やや劣」(得点率-0.5) =2⇒「普通」(得点率±0) =3⇒「やや優」(得点率0.5) =4⇒「優」(得点率1)	0	0	0	0	☒ 業務履行当初において、各業務分担に業務を遂行するうえで必要最低限の人員配置がされていた ☐ 配置された人員は業務を効率的あるいは円滑に遂行出来る能力・人員数が確保されていた ☒ 業務計画書等に示された実施体制により、業務が履行されていた ☐ 第三者(管理技術者、担当者以外)によるチェックを行うなど自主的な品質管理の努力がされていた
	管理技術者の能力 (業務全体に関する評価)	業務の全体把握	0.0525	評価細目チェック数 =0⇒「劣」(得点率-1) =1⇒「やや劣」(得点率-0.5) =2⇒「普通」(得点率±0) =3⇒「やや優」(得点率0.5) =4⇒「優」(得点率1)	0	0	0	0	☒ 業務の目的及び内容を把握していた ☐ 業務の目的及び内容に沿った適切な方針を提示した ☒ 業務の実施状況を把握していた ☐ 業務の実施状況に応じて、適時に適切な方針を提示した
		工程管理	0.0525	評価細目チェック数 =0⇒「劣」(得点率-1) =1⇒「やや劣」(得点率-0.5) =2⇒「普通」(得点率±0) =3⇒「やや優」(得点率0.5) =4⇒「優」(得点率1)	0	0	0	0	☒ 当初提出された業務工程表には、契約図書に示された業務内容が漏れなく記載されていた ☐ 当初提出された業務工程表の計画内容には妥当性があった ☒ 必要な工程管理を行った ☐ 発注者が十分な時間的余裕をもって実施状況の確認を行える工程管理を行った
		取組姿勢 責任感の強さ	0.0525	評価細目チェック数 =0⇒「劣」(得点率-1) =1⇒「やや劣」(得点率-0.5) =2⇒「普通」(得点率±0) =3⇒「やや優」(得点率0.5) =4⇒「優」(得点率1)	0	0	0	0	☒ 打合せ等に参加した ☐ 打合せ時の発言や提案が積極的になされた ☒ 業務を統轄した ☐ 強い責任感を持って、主体的に業務を統轄した
		説明力 (プレゼンテーション力) 協調性	0.0525	評価細目チェック数 =0⇒「劣」(得点率-1) =1⇒「やや劣」(得点率-0.5) =2⇒「普通」(得点率±0) =3⇒「やや優」(得点率0.5) =4⇒「優」(得点率1)	0	0	0	0	☒ 業務の実施方針等に対する説明がなされた ☐ 説明された実施方針等は、わかりやすく、適切な内容であった ☒ 発注者の意図を理解する姿勢が見られた ☐ 発注者の意図を理解し、関係者と協調して業務を履行した
		他分野との調整	0.0525	評価細目チェック数 =0⇒「劣」(得点率-1) =1⇒「やや劣」(得点率-0.5) =2⇒「普通」(得点率±0) =3⇒「やや優」(得点率0.5) =4⇒「優」(得点率1)	0	0	0	0	☒ 担当分野に関して、他の分野との調整を図った ☐ 他の分野との調整はすみやかに行われた ☒ 他の分野との調整の結果、業務上の対応が図られた ☐ 他の分野との調整の結果、的確で十分な対応が図られた
	主任担当技術者の能力 (担当分野に関する評価)	工程管理	0.0525	評価細目チェック数 =0⇒「劣」(得点率-1) =1⇒「やや劣」(得点率-0.5) =2⇒「普通」(得点率±0) =3⇒「やや優」(得点率0.5) =4⇒「優」(得点率1)	0	0	0	0	☒ 当初提出された業務工程表(分野別)には、契約図書に示された業務内容が漏れなく記載されていた ☐ 当初提出された業務工程表(分野別)の計画内容には妥当性があった ☒ 担当分野について必要な工程管理を行った ☐ 発注者が十分な時間的余裕をもって実施状況の確認を行える工程管理を行った
		取組姿勢 責任感の強さ	0.0525	評価細目チェック数 =0⇒「劣」(得点率-1) =1⇒「やや劣」(得点率-0.5) =2⇒「普通」(得点率±0) =3⇒「やや優」(得点率0.5) =4⇒「優」(得点率1)	0	0	0	0	☒ 打合せ等に参加した ☐ 打合せ等において、発言や提案が積極的になされた ☒ 担当分野の成果物の取りまとめを行った ☐ 成果物の取りまとめについて、業務期間を通して、責任を持った一貫した対応がなされていた
		説明力 (プレゼンテーション力) 協調性	0.0525	評価細目チェック数 =0⇒「劣」(得点率-1) =1⇒「やや劣」(得点率-0.5) =2⇒「普通」(得点率±0) =3⇒「やや優」(得点率0.5) =4⇒「優」(得点率1)	0	0	0	0	☒ 分野別の業務の実施方針等に対する説明がされた ☐ 説明された実施方針等は、わかりやすく、適切な内容であった ☒ 発注者の意図を理解する姿勢が見られた ☐ 発注者の意図を理解し、関係者と協調して業務を履行した
		小計	0.525	0	／	±100	0	0	
業務の実施状況	業務履行中の説明資料 (途中成果物)に関する評価	記載の程度	0.21	評価細目チェック数 =0⇒「劣」(得点率-1) =1⇒「やや劣」(得点率-0.5) =2⇒「普通」(得点率±0) =3⇒「やや優」(得点率0.5) =4⇒「優」(得点率1)	0	0	0	0	☒ 途中成果物には審査できる最低限の記載(書き込み)があった ☐ 途中成果物には十分な記載(書き込み)があった ☒ 途中成果物の内容が理解しうる表現であった ☐ 途中成果物は内容が理解しやすいよう表現が工夫されていた
		途中成果物の内容	0.21	評価細目チェック数 =0⇒「劣」(得点率-1) =1⇒「やや劣」(得点率-0.5) =2⇒「普通」(得点率±0) =3⇒「やや優」(得点率0.5) =4⇒「優」(得点率1)	0	0	0	0	☒ 工程に影響を及ぼすような重大なミス(手戻り、差替え)はなかった ☐ ミスは簡易に修正出来る軽微なもののみであった、又はほとんどなかった ☒ 途中成果物は概ね業務の目的、内容に沿ったものであった ☐ 途中成果物は発注者の意図が十分反映されていた
	調整及び説明 対応の迅速性	打合せ内容の理解、記録	0.105	評価細目チェック数 =0⇒「劣」(得点率-1) =1⇒「やや劣」(得点率-0.5) =2⇒「普通」(得点率±0) =3⇒「やや優」(得点率0.5) =4⇒「優」(得点率1)	0	0	0	0	☒ 打合せごとに打合せ記録簿が作成された ☐ 打合せ記録簿は、迅速かつ的確に作成された ☒ 打合せ後に対応(追加資料送付、進行状況連絡等)が図られた ☐ 打合せ後の対応は、的確かつ十分に行われた
		指示、協議事項への対応	0.105	評価細目チェック数 =0⇒「劣」(得点率-1) =1⇒「やや劣」(得点率-0.5) =2⇒「普通」(得点率±0) =3⇒「やや優」(得点率0.5) =4⇒「優」(得点率1)	0	0	0	0	☒ 発注者からの指示・協議事項に対して、対応がなされた ☐ 発注者からの指示・協議事項に対して、対応は迅速に行われた ☒ 発注者からの指示・協議事項に関する対応の内容は、その意図に沿ったものであった ☐ 発注者からの指示・協議事項に関する対応の内容は、その意図に十分応えるものであった
		設計提案等の説明 (プレゼンテーション)	0.2	評価細目チェック数 =0⇒「劣」(得点率-1) =1⇒「やや劣」(得点率-0.5) =2⇒「普通」(得点率±0) =3⇒「やや優」(得点率0.5) =4⇒「優」(得点率1)	0	0	0	0	☐ ※評価しない
				評価細目チェック数 =0⇒「劣」(得点率-1) =1⇒「やや劣」(得点率-0.5) =2⇒「普通」(得点率±0) =3⇒「やや優」(得点率0.5) =4⇒「優」(得点率1)					☒ 説明資料が準備されていた ☐ 説明資料は、代替案と比較した結果を示すなど、分かり易く適切な内容であった ☒ 提案の趣旨や内容が理解しうる説明であった ☐ 提案の趣旨や内容が、その妥当性を含めて容易に理解できる説明であった

評価項目		評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
				優	やや	普通	やや	劣		
				1.0	0.5	0	-0.5	-1.0		
業務の実施状況	与条件の理解 業務への反映 (設計提案)	設計と条件の理解 円滑な業務執行 技術的検討	0.1575	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 当初の与条件を含め、業務の各段階で必要な情報の収集が図られていた
				得点率 0						☐ 与条件等の情報が理解・分析され、業務の履行に活かされていた
		仕様書 基準類の理解	0.1575	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 業務の各段階で必要な検討がなされていた
				得点率 0						☐ 検討内容は、業務の目的、内容に沿った、発注者の意図に応えるものとなっていた
		施工に関する 一般的な知識	0.105	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 工事標準仕様書や各種基準、基本法令等(以下、「標準仕様書等」という。)を概ね理解していた
				得点率 0						☐ 発注者側の指導が必要ないほど、標準仕様書等を十分に理解していた
										☒ 実施方針や検討成果は、標準仕様書等に概ね沿った内容となっていた
										☐ 実施方針や検討成果は、発注者の指導が必要ないほど標準仕様書等を踏まえた内容となっていた
										☒ 施工方法、仮設計画等に関する一般的な知識を有していた
										☐ 施工方法、仮設計画等の選択に、上記の知識が活かされていた
								☒ 材料、機器等に関する一般的な知識を有していた		
								☐ 材料、機器等の選択に、上記の知識が活かされていた		
								☐ ※評価しない		
	創意工夫 積極的な提案	0.3	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 発注者の求めに応じて、成果物のレベルを向上させるための提案を行った	
			得点率 0						☐ 成果物のレベルを向上させるための提案が積極的に行われた	
										☒ 業務の目的、内容に沿った提案がなされた
										☐ 提案内容が採用させることによって、成果物のレベルが著しく向上した
								☐ ※評価しない		
	専門的な知識、法令等の 理解 特定行政庁等との調整	0.3	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 設計提案等に必要となる専門的な知識や法令等を十分に理解していた	
			得点率 0						☐ 設計提案等に必要となる専門的な知識や法令等が、提案内容に十分活かされていた	
										☒ 特定行政庁等の関係者との調整を行った
										☐ 特定行政庁等の関係者との調整を円滑かつ適切に行った
小 計		1.85	0 / ±100					0		
業務目的の達成度	業務目的の達成度	記載の程度	0.42	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 成果物には審査できる最低限の記載(書き込み)があった
				得点率 0						☐ 成果物には十分な記載(書き込み)があった
		成果物の内容	0.56	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 成果物の内容が理解しうる表現であった
				得点率 0						☐ 成果物は内容が理解しやすいよう表現が工夫されていた
									☒ 成果物の内容は、妥当なコストで、契約図書に示された所要性能を満たしていた	
									☐ 成果物の内容は、発注意図に照らして、運用コストを含めたコストの最適化や利用上の使い勝手に配慮されたものであった	
									☒ 成果物の内容は、安全対策、環境施策への対応に配慮されていた。	
									☐ 成果物の内容に、安全対策、環境施策への対応が十分反映されていた。	
									☐ ※評価しない	
	課題への対応	物理的条件 社会的条件	0.28	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 敷地条件等の物理的な与条件・制約条件に対する解決策に創意工夫が見られた
得点率 0					☐ 採用された創意工夫は、発注意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった					
要望 コスト		0.28	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 敷地周辺への配慮、UDへの対応等の社会的与条件・制約条件に対する解決策に創意工夫が見られた	
			得点率 0						☐ 採用された創意工夫は、発注意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった	
								☒ 利用者の要望に対する解決策に創意工夫が見られた		
								☐ 採用された創意工夫は、発注意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった		
								☒ 工事費について、バランスのとれたコスト配分がなされていた		
								☐ 事業予算に対して、費用対効果の増大が図られた		
小 計		1.54	0 / ±100					0		
合 計		3.915	0 / ±100					0		
評 定 点			0 / 3.915 × 35 + 65 =					65.0		

※各評価細目は、2細目ずつの組合せとなっており、下段をチェックする場合は上段もチェックする必要がある。下段のみチェックしようとすると、ERRORが出る。

評価項目		評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
				優	やや	普通	やや	劣		
				1.0	0.5	0	-0.5	-1.0		
業務実施能力	業務実施体制	実施体制 自主管理	0.0525	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	☒ 業務履行当初において、各業務分担に業務を遂行するうえで必要最低限の人員配置がされていた ☐ 配置された人員は業務を効率的あるいは円滑に遂行出来る能力・人員数が確保されていた ☒ 業務計画書等に示された実施体制により、業務が履行されていた ☐ 第三者(管理技術者、担当者以外)によるチェックを行うなど自主的な品質管理の努力がされていた
	管理技術者の能力 (業務全体に関する評価)	業務の全体把握	0.0263	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	☒ 業務の目的及び内容を把握していた ☐ 業務の目的及び内容に沿った適切な方針を提示した ☒ 業務の実施状況を把握していた ☐ 業務の実施状況に応じて、適時に適切な方針を提示した
		工程管理	0.0263	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	☒ 当初提出された業務工程表には、契約図書に示された業務内容が漏れなく記載されていた ☐ 当初提出された業務工程表の計画内容には妥当性があった ☒ 必要な工程管理を行った ☐ 発注者が十分な時間的余裕をもって実施状況の確認を行える工程管理を行った
		取組姿勢 責任感の強さ	0.0263	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	☒ 打合せ等に参加した ☐ 打合せ時の発言や提案が積極的になされた ☒ 業務を統轄した ☐ 強い責任感を持って、主体的に業務を統轄した
		説明力 (プレゼンテーション力) 協調性	0.0263	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	☒ 業務の実施方針等に対する説明がなされた ☐ 説明された実施方針等は、わかりやすく、適切な内容であった ☒ 発注者の意図を理解する姿勢が見られた ☐ 発注者の意図を理解し、関係者と協調して業務を履行した
	主任担当技術者の能力 (担当分野に関する評価)	他分野との調整	0.0263	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	☒ 担当分野に関して、他の分野との調整を図った ☐ 他の分野との調整はすみやかに行われた ☒ 他の分野との調整の結果、業務上の対応が図られた ☐ 他の分野との調整の結果、的確で十分な対応が図られた
		工程管理	0.0263	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	☒ 当初提出された業務工程表(分野別)には、契約図書に示された業務内容が漏れなく記載されていた ☐ 当初提出された業務工程表(分野別)の計画内容には妥当性があった ☒ 担当分野について必要な工程管理を行った ☐ 発注者が十分な時間的余裕をもって実施状況の確認を行える工程管理を行った
		取組姿勢 責任感の強さ	0.0263	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	☒ 打合せ等に参加した ☐ 打合せ等において、発言や提案が積極的になされた ☒ 担当分野の成果物の取りまとめを行った ☐ 成果物の取りまとめについて、業務期間を通して、責任を持った一貫した対応がなされていた
		説明力 (プレゼンテーション力) 協調性	0.0263	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	☒ 分野別の業務の実施方針等に対する説明がされた ☐ 説明された実施方針等は、わかりやすく、適切な内容であった ☒ 発注者の意図を理解する姿勢が見られた ☐ 発注者の意図を理解し、関係者と協調して業務を履行した
	小計			0.2625	0 / ±100					0
業務の実施状況	業務履行中の説明資料 (途中成果物)に関する評価	記載の程度	0.105	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	☒ 途中成果物には審査できる最低限の記載(書き込み)があった ☐ 途中成果物には十分な記載(書き込み)があった ☒ 途中成果物の内容が理解しうる表現であった ☐ 途中成果物は内容が理解しやすいよう表現が工夫されていた
		途中成果物の内容	0.105	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	☒ 工程に影響を及ぼすような重大なミス(手戻り、差替え)は無かった ☐ ミスは簡易に修正出来る軽微なもののみであった、又はほとんど無かった ☒ 途中成果物は概ね業務の目的、内容に沿ったものであった ☐ 途中成果物は発注者の意図が十分反映されていた
	調整及び説明 対応の迅速性	打合せ内容の理解、記録	0.0525	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	☒ 打合せごとに打合せ記録簿が作成された ☐ 打合せ記録簿は、迅速かつ的確に作成された ☒ 打合せ後に対応(追加資料送付、進行状況連絡等)が図られた。 ☐ 打合せ後の対応は、的確かつ十分に行われた
		指示、協議事項への対応	0.0525	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 0					0	☒ 発注者からの指示・協議事項に対して、対応がなされた ☐ 発注者からの指示・協議事項に対して、対応は迅速に行われた ☒ 発注者からの指示・協議事項に関する対応の内容は、その意図に沿ったものであった ☐ 発注者からの指示・協議事項に関する対応の内容は、その意図に十分応えるものであった

採点表 ②-7主任調査員又は調査員用(各分野)〔機械設備積算〕

評価項目		評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
				優	やや	普通	やや	劣		
				1.0	0.5	0	-0.5	-1.0		
業務の実施状況	与条件の理解 業務への反映	設計と条件の理解 円滑な業務執行 技術的検討	0.0788	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 当初の与条件を含め、業務の各段階で必要な情報の収集が図られていた
										☐ 与条件等の情報が理解・分析され、業務の履行に活かされていた
							☒ 業務の各段階で必要な検討がなされていた			
							☐ 検討内容は、業務の目的、内容に沿った、発注者の意図に応えるものとなっていた			
		仕様書 基準類の理解	0.0788	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 工事標準仕様書や各種基準、基本法令等(以下、「標準仕様書等」という。)を概ね理解していた
										☐ 発注者側の指導が必要ないほど、標準仕様書等を十分に理解していた
						☒ 実施方針や検討成果は、標準仕様書等に概ね沿った内容となっていた				
					☐ 実施方針や検討成果は、発注者の指導が必要ないほど標準仕様書等を踏まえた内容となっていた					
施工に関する 一般的な知識	0.0525	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 施工方法、仮設計画等に関する一般的な知識を有していた		
								☐ 施工方法、仮設計画等の選択に、上記の知識が活かされていた		
								☒ 材料、機器等に関する一般的な知識を有していた		
小 計			0.525	0 / ±100					0	☐ 材料、機器等の選択に、上記の知識が活かされていた
業務目的の達成度	業務目的の達成度	記載の程度	0.21	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 成果物には審査できる最低限の記載(書き込み)があった
										☐ 成果物には十分な記載(書き込み)があった
										☒ 成果物の内容が理解しうる表現であった
	小 計			0.21	0 / ±100					0
合 計			0.9975	0 / ±100					0	
評 定 点				0 / 0.9975 × 35 + 65 =					65.0	

※各評価細目は、2細目ずつの組合せとなっており、下段をチェックする場合は上段もチェックする必要がある。下段のみチェックしようとすると、ERRORが出る。

採点表 ③-1検査職員用(各分野)〔意匠〕

評価項目		評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
				優	やや	普通	やや	劣		
				1.0	0.5	0	-0.5	-1.0		
業務目的の達成度	記載の程度	1.2	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 成果物には審査できる最低限の記載(書き込み)があった	
									☐ 成果物には十分な記載(書き込み)があった	
									☒ 成果物の内容が理解しうる表現であった	
	成果物の内容	1.6	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 成果物の内容は、妥当なコストで、契約図書に示された所要性能を満たしていた	
									☐ 成果物の内容は、発注意図に照らして、運用コストを含めたコストの最適化や利用上の使い勝手に配慮されたものであった	
									☒ 成果物の内容は、安全対策、環境施策への対応に配慮されていた。	
	資料等の整理 指示、協議事項への対応	1.2	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☐ 成果物の内容に、安全対策、環境施策への対応が十分反映されていた。	
									☒ 打合せ記録簿等の必要な書類が揃っていた	
									☐ 打合せ記録簿等の内容は理解しやすいよう表現が工夫されていた	
									0	☒ 発注者からの指示・協議事項に対する対応が図られていた
						☐ 発注者からの指示・協議事項に対する対応は迅速で、内容は的確なものであった				
					☐ ※評価しない					
課題への対応	物理的条件 社会的条件	0.8	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 敷地条件等の物理的な与条件・制約条件に対する解決策に創意工夫が見られた	
									☐ 採用された創意工夫は、発注意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった	
	要望 コスト	0.8	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 敷地周辺への配慮、UDへの対応等の社会的与条件・制約条件に対する解決策に創意工夫が見られた	
									☐ 採用された創意工夫は、発注意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった	
合 計			5.6	0 / ±100					0	
評 定 点				0 / 5.6× 35 + 65 =					65.0	

※各評価細目は、2細目ずつの組合せとなり、下段をチェックする場合は上段もチェックする必要がある。下段のみチェックしようとすると、ERRORが出る。

採点表 ③-2検査職員用(各分野)〔構造〕

評価項目		評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
				優	やや	普通	やや	劣		
				1.0	0.5	0	-0.5	-1.0		
業務目的の達成度	業務目的の達成度	記載の程度	0.6	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 成果物には審査できる最低限の記載(書き込み)があった
										☐ 成果物には十分な記載(書き込み)があった
							☒ 成果物の内容が理解しうる表現であった			
							☐ 成果物は内容が理解しやすいよう表現が工夫されていた			
	成果物の内容	0.8	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 成果物の内容は、妥当なコストで、契約図書に示された所要性能を満たしていた	
									☐ 成果物の内容は、発注意図に照らして、運用コストを含めたコストの最適化や利用上の使い勝手に配慮されたものであった	
						☒ 成果物の内容は、安全対策、環境施策への対応に配慮されていた。				
						☐ 成果物の内容に、安全対策、環境施策への対応が十分反映されていた。				
	資料等の整理 指示、協議事項への対応	0.6	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 打合せ記録簿等の必要な書類が揃っていた	
									☐ 打合せ記録簿等の内容は理解しやすいよう表現が工夫されていた	
					☒ 発注者からの指示・協議事項に対する対応が図られていた					
					☐ 発注者からの指示・協議事項に対する対応は迅速で、内容は的確なものであった					
								☐ ※評価しない		
課題への対応	物理的条件 社会的条件	0.4	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 敷地条件等の物理的な与条件・制約条件に対する解決策に創意工夫が見られた	
									☐ 採用された創意工夫は、発注意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった	
						☒ 敷地周辺への配慮、UDへの対応等の社会的与条件・制約条件に対する解決策に創意工夫が見られた				
						☐ 採用された創意工夫は、発注意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった				
課題への対応	要望 コスト	0.4	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 利用者の要望に対する解決策に創意工夫が見られた	
									☐ 採用された創意工夫は、発注意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった	
						☒ 工事費について、バランスのとれたコスト配分がなされていた				
						☐ 事業予算に対して、費用対効果の増大が図られた				
合 計			2.8	0 / ±100					0	
評 定 点				0 / 2.8× 35 + 65 =					65.0	

※各評価細目は、2細目ずつの組合せとなっており、下段をチェックする場合は上段もチェックする必要がある。下段のみチェックしようとすると、ERRORが出る。

採点表 ③-3検査職員用(各分野)〔建築積算〕

評価項目		評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
				優	やや	普通	やや	劣		
				1.0	0.5	0	-0.5	-1.0		
業務目的の達成度	業務目的の達成度	記載の程度	0.4	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 成果物には審査できる最低限の記載(書き込み)があった
										☐ 成果物には十分な記載(書き込み)があった
						☒ 成果物の内容が理解しうる表現であった				
						☐ 成果物は内容が理解しやすいよう表現が工夫されていた				
業務目的の達成度	資料等の整理 指示、協議事項への対応	0.4	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 打合せ記録簿等の必要な書類が揃っていた	
									☐ 打合せ記録簿等の内容は理解しやすいよう表現が工夫されていた	
						☒ 発注者からの指示・協議事項に対する対応が図られていた				
						☐ 発注者からの指示・協議事項に対する対応は迅速で、内容は的確なものであった				
合 計			0.8	0 / ±100					0	
評 定 点				0 / 0.8 × 35 + 65 =					65.0	

※各評価細目は、2細目ずつの組合せとなっており、下段をチェックする場合は上段もチェックする必要がある。下段のみチェックしようとすると、ERRORが出る。

評価項目		評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
				優	やや	普通	やや	劣		
				1.0	0.5	0	-0.5	-1.0		
業務目的の達成度	記載の程度	0.6	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 成果物には審査できる最低限の記載(書き込み)があった	
									☐ 成果物には十分な記載(書き込み)があった	
									☒ 成果物の内容が理解しうる表現であった	
	成果物の内容	0.8	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 成果物の内容は、妥当なコストで、契約図書に示された所要性能を満たしていた	
									☐ 成果物の内容は、発注意図に照らして、運用コストを含めたコストの最適化や利用上の使い勝手に配慮されたものであった	
									☒ 成果物の内容は、安全対策、環境施策への対応に配慮されていた。	
	資料等の整理 指示、協議事項への対応	0.6	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☐ 成果物の内容に、安全対策、環境施策への対応が十分反映されていた。	
									☒ 打合せ記録簿等の必要な書類が揃っていた	
									☐ 打合せ記録簿等の内容は理解しやすいよう表現が工夫されていた	
						☒ 発注者からの指示・協議事項に対する対応が図られていた				
						☐ 発注者からの指示・協議事項に対する対応は迅速で、内容は的確なものであった				
					☐ ※評価しない					
課題への対応	物理的条件 社会的条件	0.4	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 敷地条件等の物理的な与条件・制約条件に対する解決策に創意工夫が見られた	
									☐ 採用された創意工夫は、発注意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった	
	要望 コスト	0.4	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 敷地周辺への配慮、UDへの対応等の社会的与条件・制約条件に対する解決策に創意工夫が見られた	
					☐ 採用された創意工夫は、発注意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった					
合 計		2.8	0 / ±100					0		
評 定 点			0 / 2.8× 35 + 65 =					65.0		

※各評価細目は、2細目ずつの組合せとなっており、下段をチェックする場合は上段もチェックする必要がある。下段のみチェックしようとすると、ERRORが出る。

採点表 ③-5検査職員用(各分野)〔電気設備積算〕

評価項目		評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
				優	やや	普通	やや	劣		
				1.0	0.5	0	-0.5	-1.0		
業務目的の達成度	業務目的の達成度	記載の程度	0.3	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 成果物には審査できる最低限の記載(書き込み)があった ☐ 成果物には十分な記載(書き込み)があった ☒ 成果物の内容が理解しうる表現であった ☐ 成果物は内容が理解しやすいよう表現が工夫されていた
		資料等の整理 指示、協議事項への対応	0.3	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 打合せ記録簿等の必要な書類が揃っていた ☐ 打合せ記録簿等の内容は理解しやすいよう表現が工夫されていた ☒ 発注者からの指示・協議事項に対する対応が図られていた ☐ 発注者からの指示・協議事項に対する対応は迅速で、内容は的確なものであった
	合 計		0.6	0 / ±100					0	
	評 定 点			0 / 0.6 × 35 + 65 =					65.0	

※各評価細目は、2細目ずつの組合せとなっており、下段をチェックする場合は上段もチェックする必要がある。下段のみチェックしようとすると、ERRORが出る。

評価項目		評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
				優	やや	普通	やや	劣		
				1.0	0.5	0	-0.5	-1.0		
業務目的の達成度	記載の程度	0.6	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 成果物には審査できる最低限の記載(書き込み)があった	
			得点率 0						☐ 成果物には十分な記載(書き込み)があった	
	成果物の内容	0.8	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 成果物の内容が理解しうる表現であった	
			得点率 0						☐ 成果物は内容が理解しやすいよう表現が工夫されていた	
	資料等の整理 指示、協議事項への対応	0.6	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 成果物の内容は、妥当なコストで、契約図書に示された所要性能を満たしていた	
			得点率 0						☐ 成果物の内容は、発注意図に照らして、運用コストを含めたコストの最適化や利用上の使い勝手に配慮されたものであった	
								☒ 成果物の内容は、安全対策、環境施策への対応に配慮されていた。		
								☐ 成果物の内容に、安全対策、環境施策への対応が十分反映されていた。		
								☒ 打合せ記録簿等の必要な書類が揃っていた		
								☐ 打合せ記録簿等の内容は理解しやすいよう表現が工夫されていた		
							☒ 発注者からの指示・協議事項に対する対応が図られていた			
							☐ 発注者からの指示・協議事項に対する対応は迅速で、内容は的確なものであった			
							☐ ※評価しない			
課題への対応	物理的条件 社会的条件	0.4	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 敷地条件等の物理的な与条件・制約条件に対する解決策に創意工夫が見られた	
			得点率 0						☐ 採用された創意工夫は、発注意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった	
	要望 コスト	0.4	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 敷地周辺への配慮、UDへの対応等の社会的与条件・制約条件に対する解決策に創意工夫が見られた	
			得点率 0						☐ 採用された創意工夫は、発注意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった	
							☒ 利用者の要望に対する解決策に創意工夫が見られた			
							☐ 採用された創意工夫は、発注意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった			
							☒ 工事費について、バランスのとれたコスト配分がなされていた			
							☐ 事業予算に対して、費用対効果の増大が図られた			
合 計			2.8	0 / ±100					0	
評 定 点				0 / 2.8 × 35 + 65 =					65.0	

※各評価細目は、2細目ずつの組合せとなっており、下段をチェックする場合は上段もチェックする必要がある。下段のみチェックしようとすると、ERRORが出る。

採点表 ③-7検査職員用(各分野)〔機械設備積算〕

評価項目		評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
				優	やや	普通	やや	劣		
				1.0	0.5	0	-0.5	-1.0		
業務目的の達成度	業務目的の達成度	記載の程度	0.3	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 成果物には審査できる最低限の記載(書き込み)があった ☐ 成果物には十分な記載(書き込み)があった ☒ 成果物の内容が理解しうる表現であった ☐ 成果物は内容が理解しやすいよう表現が工夫されていた
				得点率 0						
	資料等の整理 指示、協議事項への対応	0.3	評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)					0	☒ 打合せ記録簿等の必要な書類が揃っていた ☐ 打合せ記録簿等の内容は理解しやすいよう表現が工夫されていた ☒ 発注者からの指示・協議事項に対する対応が図られていた ☐ 発注者からの指示・協議事項に対する対応は迅速で、内容は的確なものであった	
			得点率 0							
合 計			0.6	0 / ±100					0	
評 定 点				0 / 0.6 × 35 + 65 =					65.0	

※各評価細目は、2細目ずつの組合せとなっており、下段をチェックする場合は上段もチェックする必要がある。下段のみチェックしようとすると、ERRORが出る。

(別紙第1)

国〇〇〇〇第 号
平成 年 月 日

契約の相手方
所在地
商号又は名称
代表者氏名 殿

(発注機関の長)

〇 〇 〇 〇 印

業 務 成 績 評 定 通 知 書

貴社が受注した業務について、業務成績評定要領に基づき評定した結果を通知します。
なお、評定の結果に疑問があるときは、当職に対してその疑問の旨を付して、この書面の通知を受けた日から起算して14日（「休日」を含む。）以内に書面により、説明を求めることができます。

疑問の旨に対する説明は、書面により郵送いたします。

なお、説明を求める場合の書面の送付先及び手続き等についての問い合わせ先は下記のとおりです。

記

- 1 業務の名称 〇 〇 〇 〇 業 務
- 2 履行期間 平成〇〇年〇〇月〇〇日～平成〇〇年〇〇月〇〇日
- 3 完了検査年月日 平成〇〇年〇〇月〇〇日
- 4 評定結果
評定点 〇 〇 点 項目別評定点は、別添のとおり
(修正評定点 〇 〇 点 【評定点が修正された場合のみ】)
- 5 送付先
〒〇〇〇〇－〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇丁目〇〇番地
国土交通省〇〇（発注機関名）〇〇〇〇 機関の業務担当課（担当課係）宛
TEL 〇〇〇－〇〇〇〇－〇〇〇〇（代） 内線〇〇〇〇
- 6 手続き等の問い合わせ先
〒〇〇〇〇－〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇丁目〇〇番地
国土交通省〇〇（発注機関名）〇〇〇〇 機関の契約担当課（担当）係
TEL 〇〇〇－〇〇〇〇－〇〇〇〇（代） 内線〇〇〇〇

(別紙第2)

国〇〇〇〇第 号
平成 年 月 日

契約の相手方
所在地
商号又は名称
代表者氏名 殿

発注機関の長
〇 〇 〇 〇 印

業務成績評定に係る説明書（回答）

平成 年 月 日付けで貴社から説明を求められました評定内容について、下記のとおり回答します。

本説明書に疑問があるときは、当職（注：事務所長からの場合は、「〇〇地方航空局長」と記載する。）に対してその疑問の旨を付して、この書面の回答を受けた日から起算して14日（「休日」を含む。）以内に書面により、再説明を求めることができます。

なお、再説明は 〇〇地方航空局で別途に設けられた航空局工事成績評定審査委員会の審議を経た上で行います。

疑問の旨に対する再説明は、書面により郵送いたします。

また、再説明を求める場合の書面の送付先及び手続き等についての問い合わせ先は下記のとおりです。

記

- 1 業務名 〇 〇 〇 〇 業務
- 2 疑問に対する回答
- 3 送付先
〒〇〇〇〇－〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇丁目〇〇番地
国土交通省〇〇（発注機関名）〇〇〇〇 （技術管理室・工事担当課の長）宛
- 4 手続き等の問い合わせ先
〒〇〇〇〇－〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇丁目〇〇番地
国土交通省〇〇（発注機関名）〇〇〇〇 （機関の契約担当課（担当）係
TEL 〇〇〇－〇〇〇〇－〇〇〇〇（代） 内線〇〇〇〇

(別紙第3)

国〇〇〇〇第 号
平成 年 月 日

契約の相手方

所在地

商号又は名称

代表者氏名

殿

発注機関の長

〇 〇 〇 〇 印

業務成績評定に係る再説明書（回答）

平成 年 月 日付けで貴社から再説明を求められた評定内容について、下記のとおり回答します。

記

1 業務の名称 〇 〇 〇 〇 業務

2 疑問に対する回答